

# 大田原市市民意識調査

## 報告書

令和3年3月

株式会社総合環境計画

## 【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	1
4. グラフ中の標記について	1
5. 回答結果に対するコメント等について	1
II. 調査の結果	2
回答者の属性等	2
問1 性別 (SA)	2
問2 年齢 (SA)	3
問3 居住地区 (SA)	5
問4 居住年数 (SA)	6
問5 職業 (SA)	6
問6 勤務先、通学先 (SA)	7
問7 家族構成 (SA)	7
問8 同居家族 (MA)	8
問9 世帯の合計収入	8
暮らし向きについて	9
問10 暮らし向きの変化	9
問11 暮らし向きが変化した理由	12
問12 今後の暮らし向きで不安に思うこと	18
大田原市の住み心地について	21
問13 大田原市の住み心地	21
問 13-1 大田原市の住み心地の理由	24
問14 大田原市での定住意向	27
問15 大田原市への愛着	30
行政への関心について	33
問16 行政への関心の程度	33
問17 行政に関する情報の入手法	36
問18 市についての必要な情報	40
大田原市の全般的な施策や事業等について	44
問19 分野ごとの施策について (満足度・重要度)	44
少子高齢化について	84
問20 人口が減少していくことについて	84
問21 少子化に歯止めをかけるための対策について	88
問22 ゆたかな老後を送るために必要なこと	91
今後のまちづくりについて	95
問23 市の活動への参加経験	95
問 23-1 参加したことがある、または参加したい市の活動	98
問 23-2 市の活動に参加したくない理由	102
問24 今後求める市の姿	105
問25 市の活性化のために期待される政策	110
III. 資料	115
意識調査調査票	116

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

本市では、令和 8（2026）年度を目標年度とした「おおたわら 国造りプラン」のまちの将来像として掲げる「知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら」の実現に向け、さまざまな施策・事業に取り組んでいます。

このたび、「おおたわら 国造りプラン」の実効性を確保するため、将来のまちづくりの方向性についてのお考えや市政についてのご意見・ご要望を市民の皆様にお伺いし、令和 4（2022）年度から 5 年間の市政運営の羅針盤となる「おおたわら 国造りプラン 後期基本計画」の基礎資料とするために、「大田原市 市民意識調査」を実施いたしました。

### 2. 調査の方法

- ◆調査地域 : 大田原市全域
- ◆調査対象 : 大田原市に居住する 18 歳以上の市民 3,000 人を無作為に抽出  
※居住地区別人口割合に合わせて、地区別にアンケート対象者を抽出
- ◆調査方法 : ①調査票の配布は郵送により実施  
②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択
  - ・調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送
  - ・PC より大田原市ホームページ内に掲載した回答フォームに回答
  - ・QR コードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答
- ◆調査時期 : 令和 2 年 11 月 18 日（水）～令和 2 年 12 月 16 日（水）

### 3. 回収状況

- ◆配布数 : 3,000 件
- ◆回収数 : ①1,435 件（※郵送による回収）  
② 220 件（※インターネットによる回収）  
合計 1,655 件（※無回答の回答票はなし。）
- ◆回収（回答）率：55.2%

### 4. グラフ中の標記について

- ◆グラフの基数は、特に標記のない限り総数（ $n=1,655$ ）です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。
- ◆回答率については、百分率で表示し、設問ごとに各回答を回答者総数で除した割合で、小数第 2 位を四捨五入集計しており、百分率の合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の質問については、すべての選択肢の比率を合計すると 100%を超えます。
- ◆各設問において、次の略称を使用しています。
  - SA：シングルアンサー（一つだけ選択回答）
  - xLA：リミテッドアンサー（x 以内選択回答）
  - MA：マルチアンサー（複数選択回答）

### 5. 回答結果に対するコメント等について

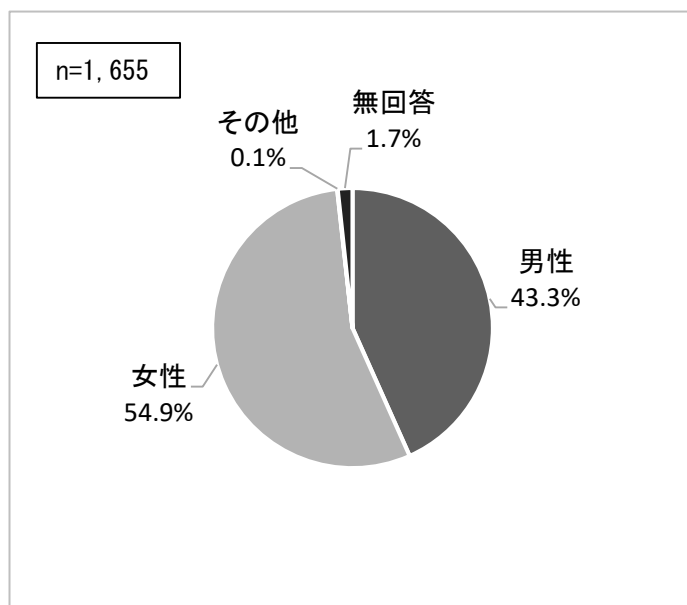
- ◆全体集計（GT 集計）結果に対するコメントを入れています。前回調査結果（平成 27 年度実施）と比較できる設問については、グラフ及びコメントを入れています。
- ◆「性別」「年齢」「居住地区」の 3 属性と各設問のクロス集計表を上げていますが（問 10 を除く）、全体集計結果と比べ 10%（10 ポイント）以上高い回答割合部分は網掛けしていますが、「性別-その他」「その他」「無回答」については除きます。

## Ⅱ. 調査の結果

### 回答者の属性等

#### 問1 性別 (SA)

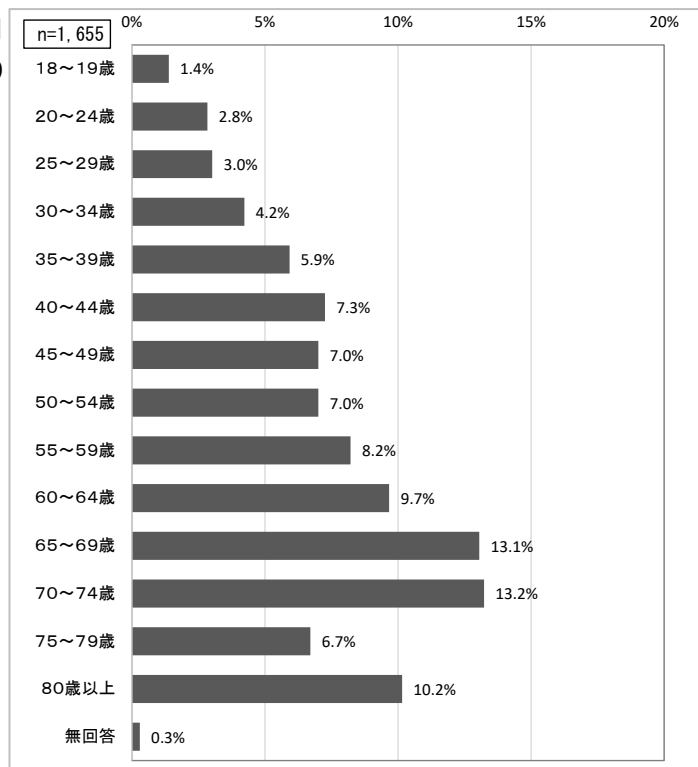
回答者の性別割合は、「男性」が43.3% (717人)、「女性」が54.9% (909人)、「その他」が0.1% (1人)となっています。



※「その他」…近年、性の多様性について理解や配慮を求める動きが広がっており、国や都道府県等において各種申請書等における性別欄の必要性や記載の方法について見直しが行われています。性と心の性が一致しないトランスジェンダーの方や自身の性自認が明確でない方の中には、性別の記入に当たり、心の性と異なる性別を記入することへの抵抗感により、精神的に苦痛を感じる方もいらっしゃいます。そのため、令和2年度市民意識調査では「男性」、「女性」に加え「その他」の選択肢を追加しました。また、「その他」の回答者が1名のため、「性別-その他」のクロス集計表が常に100%となることから、全体集計結果と比較し10% (10ポイント) 以上高い回答割合部分への網掛けは行っていません。

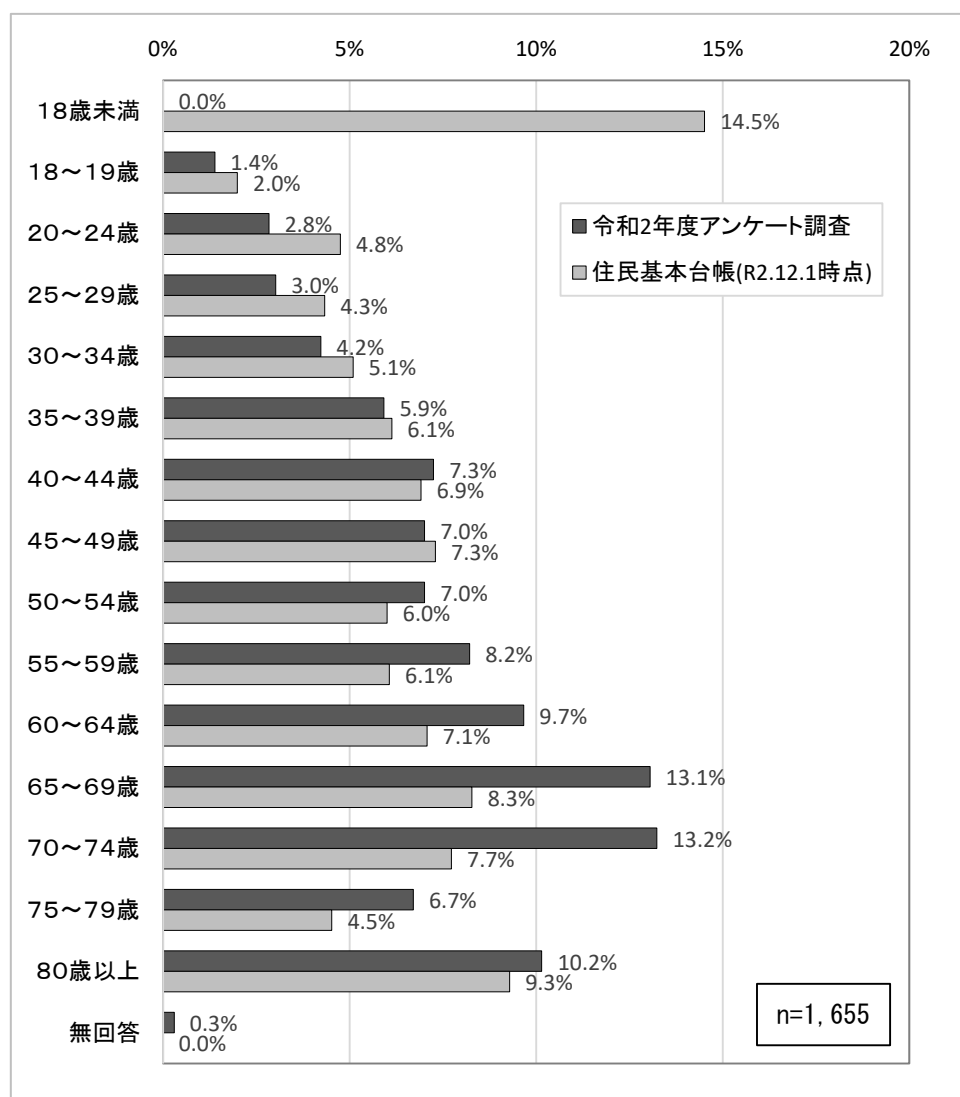
## 問2 年齢 (SA)

回答者の年齢別割合は、「70～74 歳」が 13.2%と最も高く、次いで「65～69 歳」が 13.1%、「80 歳以上」が 10.2%、「60～64 歳」が 9.7%と続いています。



市民意識アンケートの回答者と住民基本台帳（R2.12.1時点）の年齢構成比較

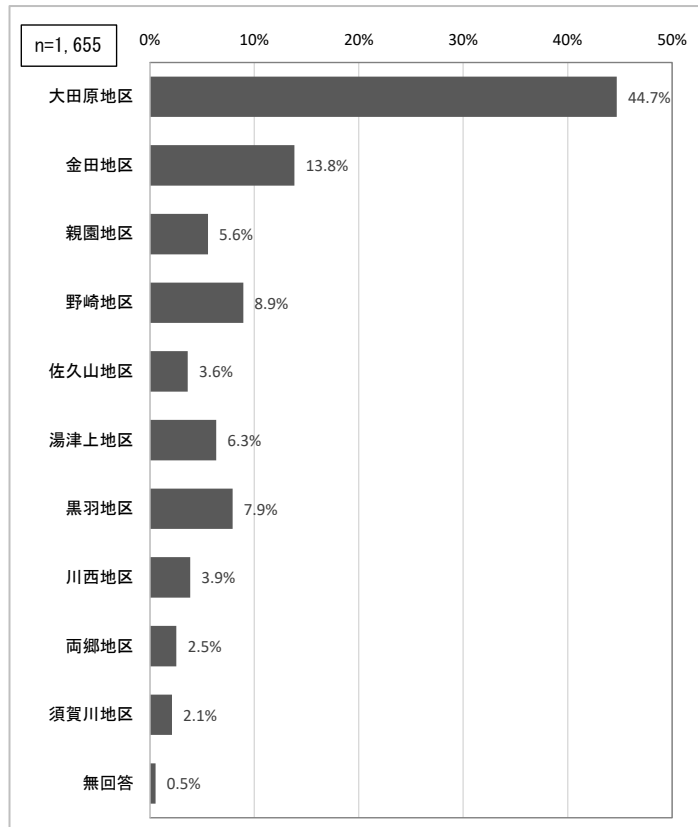
年齢構成比について「問2 年齢(SA)」と住民基本台帳(R2.12.1時点)を比較すると、『50歳以上』では、令和2年度アンケートが住民基本台帳の年齢構成よりも上回っており、特に「65～69歳」は4.8%、「70～74歳」は5.5%の差がある。また、『29歳未満』では、令和2年度アンケートが住民基本台帳の年齢構成よりも下回っていた。『30～49歳』については概ね年齢構成比と同様な回答割合となっている。



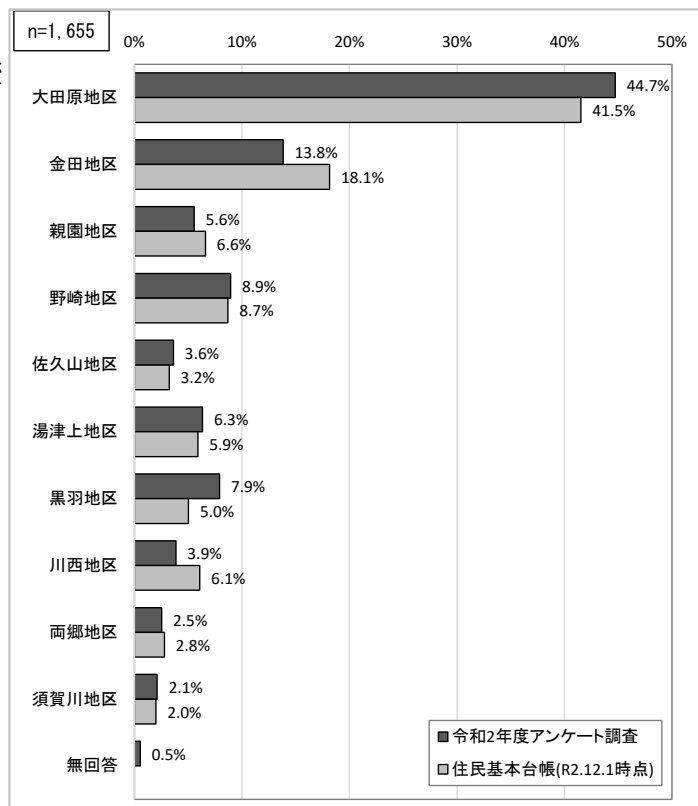
※住民基本台帳（R2.12.1時点）…住民基本台帳人口の年齢区分別構成比は次のとおり算出しました。  
 年齢区分別構成比＝年齢区分別人口／人口総数（18歳未満含む）

### 問3 居住地区（SA）

回答者の居住地区別割合は、「大田原地区」が44.7%と最も高く、次いで「金田地区」が13.8%、「野崎地区」が8.9%、「黒羽地区」が7.9%、「湯津上地区」が6.3%と続いています。



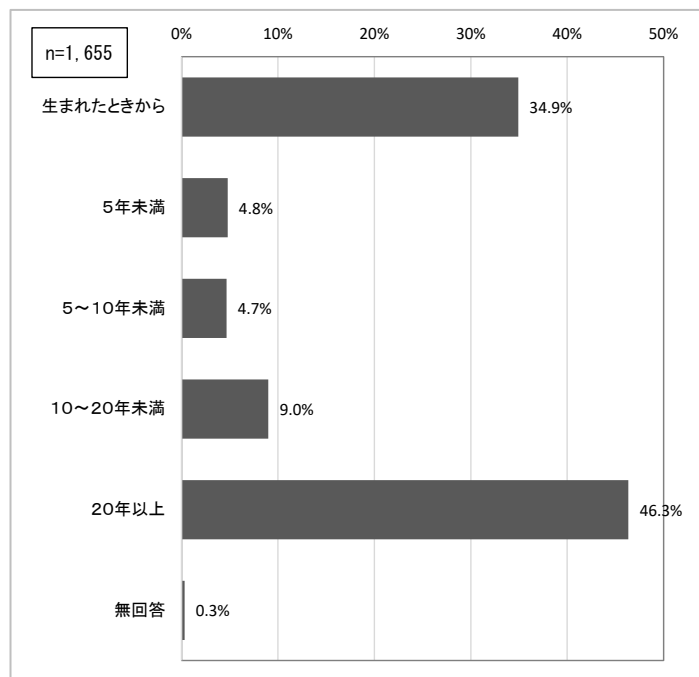
居住地区について「問3 居住地区7」と住民基本台帳（R2.12.1時点）を比較すると、概ね同じ傾向となっています。



※住民基本台帳（R2.12.1時点）…市が公表している住民基本台帳を基に居住地区別人口割合を算出しています。この住民基本台帳人口は問2と同様に、人口総数（18歳未満含む）となっています。

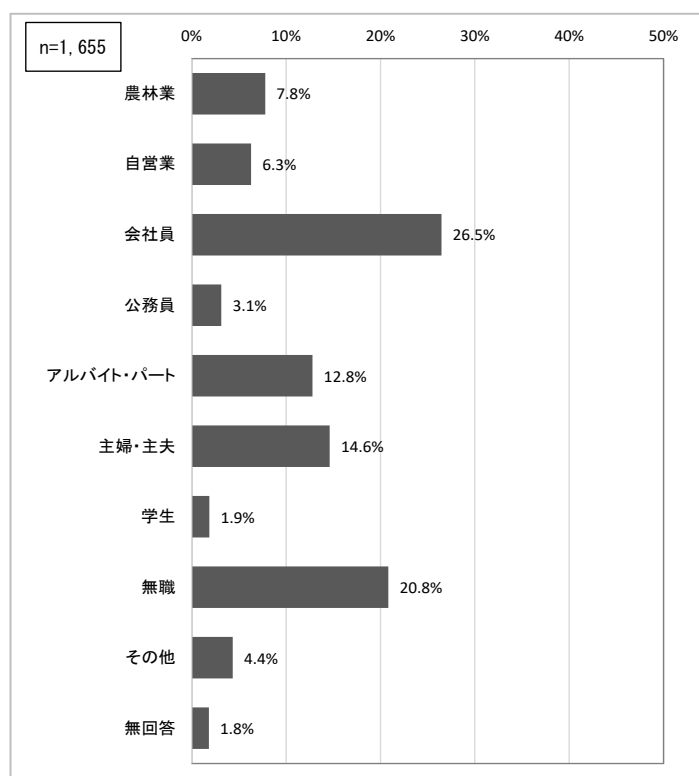
#### 問4 居住年数 (SA)

回答者の居住年数別割合は、「20年以上」が46.3%と最も高く、次いで「生れたときから」が34.9%、「10~20年未満」が9.0%と続いています。



#### 問5 職業 (SA)

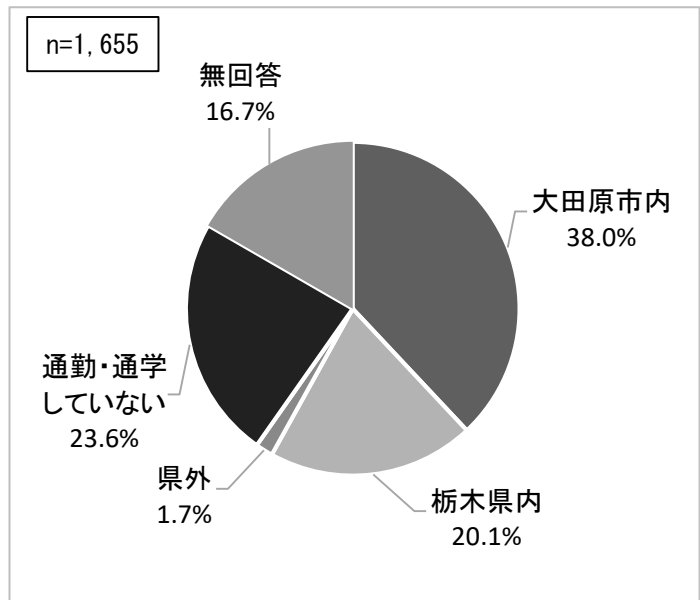
回答者の職業別割合は、「会社員」が26.5%と最も高く、次いで「無職」が20.8%、「主婦・主夫」が14.6%、「アルバイト・パート」が12.8%と続いています。





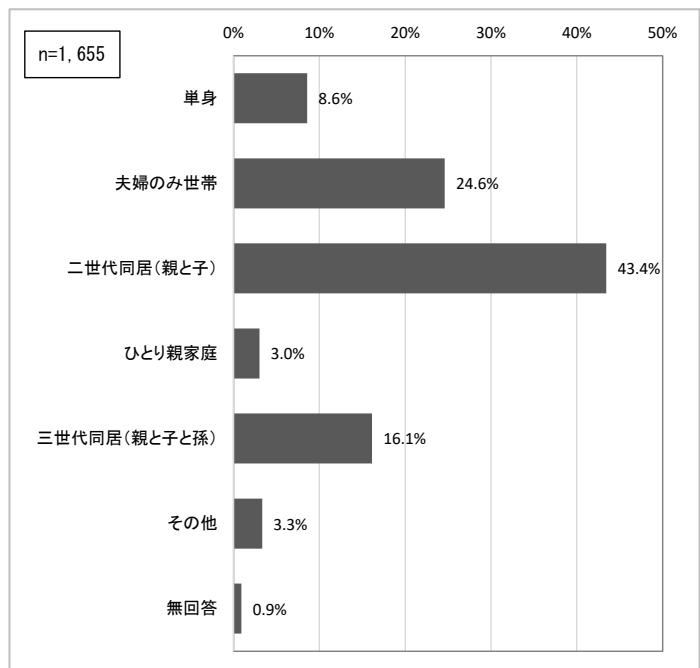
### 問6 勤務先、通学先 (SA)

回答者の勤務先、通学先別割合は、「大田原市内」が38.0%と最も高く、次いで「通勤・通学していない」が23.6%、「栃木県内」が20.1%、「県外」が1.7%と続いています。



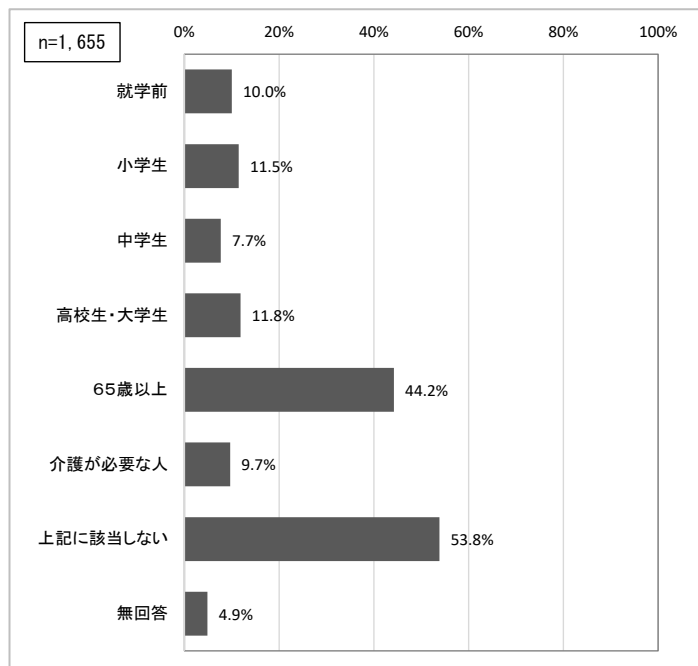
### 問7 家族構成 (SA)

回答者の家族構成別割合は、「二世世代同居 (親と子)」が43.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が24.6%、「三世世代同居 (親と子と孫)」が16.1%、「単身」が8.6%と続いています。



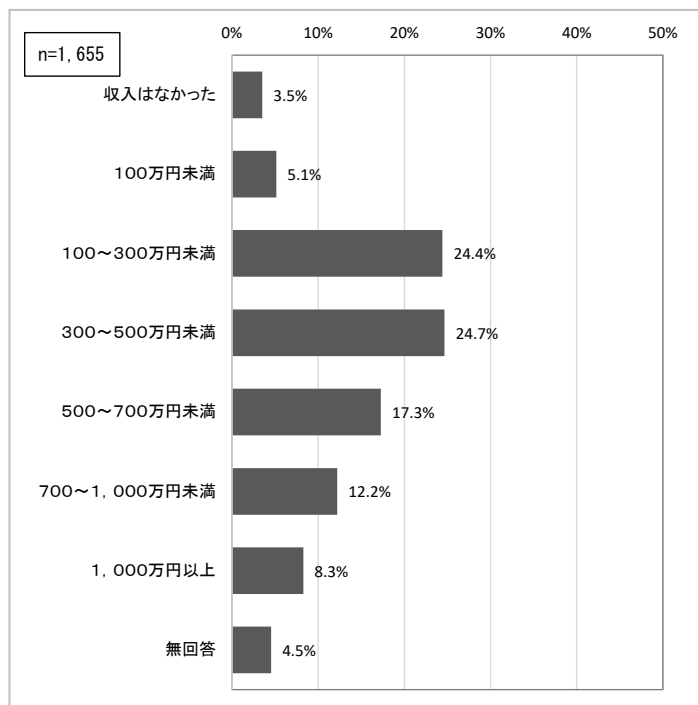
### 問8 同居家族 (MA)

回答者の同居家族の構成は、「上記に該当しない」が 53.8%と最も高く、次いで「65歳以上」が 44.2%、「高校生・大学生」が 11.8%、「小学生」が 11.5%と続いています。



### 問9 世帯の合計収入 (SA)

世帯の合計収入は、「300万円～500万円未満」が 24.7%となっており、次いで「100万円～300万円未満」が 24.4%、「500万円～700万円未満」が 17.3%、「700万円～1,000万円未満」が 12.2%と続いています。



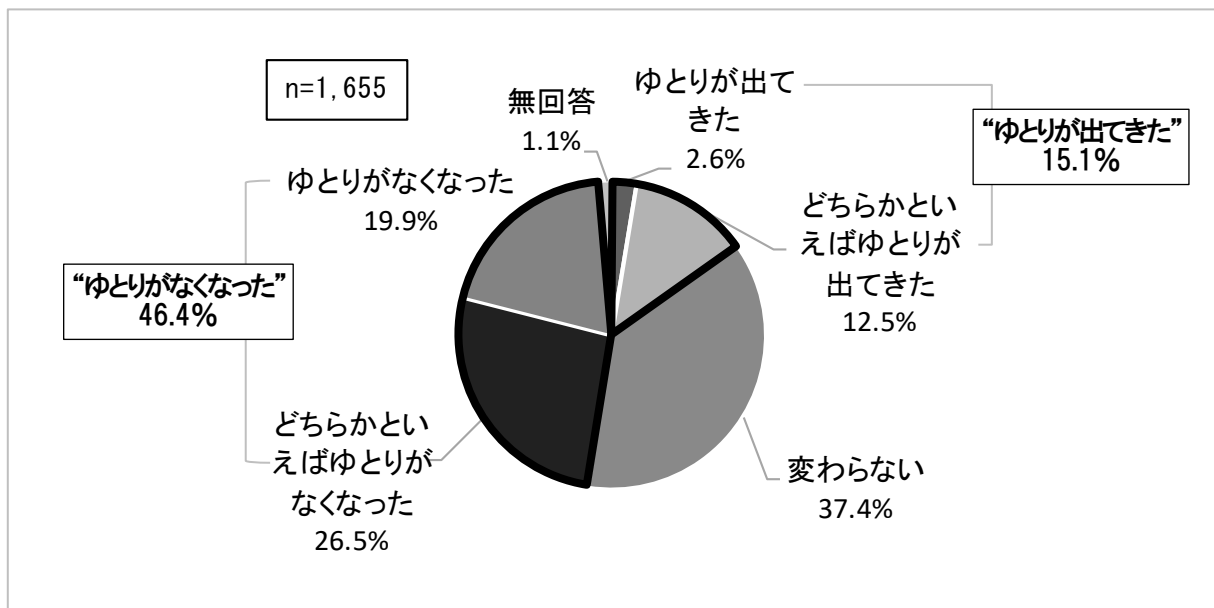
## 暮らし向きについて

問 10 5年前と比べて、あなたの暮らし向きはどう変わったと感じますか。  
当てはまる番号に1つ丸をつけてください。(SA)

5年前と比べた暮らし向きの変化について、「ゆとりが出てきた」は2.6%、「どちらかといえばゆとりが出てきた」は12.5%であり、これらを合わせた“ゆとりが出てきた”は15.1%となっています。

一方、「どちらかといえばゆとりがなくなった」は26.5%、「ゆとりがなくなった」は19.9%であり、これらを合わせた“ゆとりがなくなった”は46.4%となり、回答者の5割近くが暮らし向きが厳しくなったと感じています。

なお、「変わらない」は37.4%と4割近くになっています。



## 【性別】

(単位：%)

	ゆとりが出てきた	どちらかといえば ゆとりが出てきた	変わらない	どちらかといえば ゆとりがなくなった	ゆとりがなくなった	無回答
全体 (n=1,655)	2.6	12.5	37.4	26.5	19.9	1.1
男性 (n=717)	2.6	11.9	37.8	28.7	18.4	0.6
女性 (n=909)	2.6	13.0	37.2	24.8	21.2	1.2
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答 (n=28)	0.0	14.3	35.7	25.0	14.3	10.7

## 【年齢別】

(単位：%)

	ゆとりが出てきた	どちらかといえば ゆとりが出てきた	変わらない	どちらかといえば ゆとりがなくなった	ゆとりがなくなった	無回答
全体 (n=1,655)	2.6	12.5	37.4	26.5	19.9	1.1
18～19歳 (n=23)	0.0	13.0	60.9	17.4	8.7	0.0
20～24歳 (n=47)	2.1	14.9	36.2	25.5	19.1	2.1
25～29歳 (n=50)	6.0	28.0	36.0	18.0	12.0	0.0
30～34歳 (n=70)	7.1	22.9	31.4	25.7	12.9	0.0
35～39歳 (n=98)	2.0	17.3	29.6	33.7	17.3	0.0
40～44歳 (n=120)	1.7	12.5	40.8	20.0	25.0	0.0
45～49歳 (n=116)	4.3	12.1	34.5	30.2	17.2	1.7
50～54歳 (n=116)	0.9	22.4	36.2	21.6	19.0	0.0
55～59歳 (n=136)	2.2	15.4	39.7	22.1	19.1	1.5
60～64歳 (n=160)	3.8	10.0	35.6	30.0	20.6	0.0
65～69歳 (n=216)	1.4	7.4	40.7	29.2	21.3	0.0
70～74歳 (n=219)	2.3	9.6	38.4	26.5	21.5	1.8
75～79歳 (n=111)	0.9	6.3	36.9	27.9	27.0	0.9
80歳以上 (n=168)	3.6	7.1	38.1	28.6	19.6	3.0
無回答 (n=5)	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0

【居住地区別】

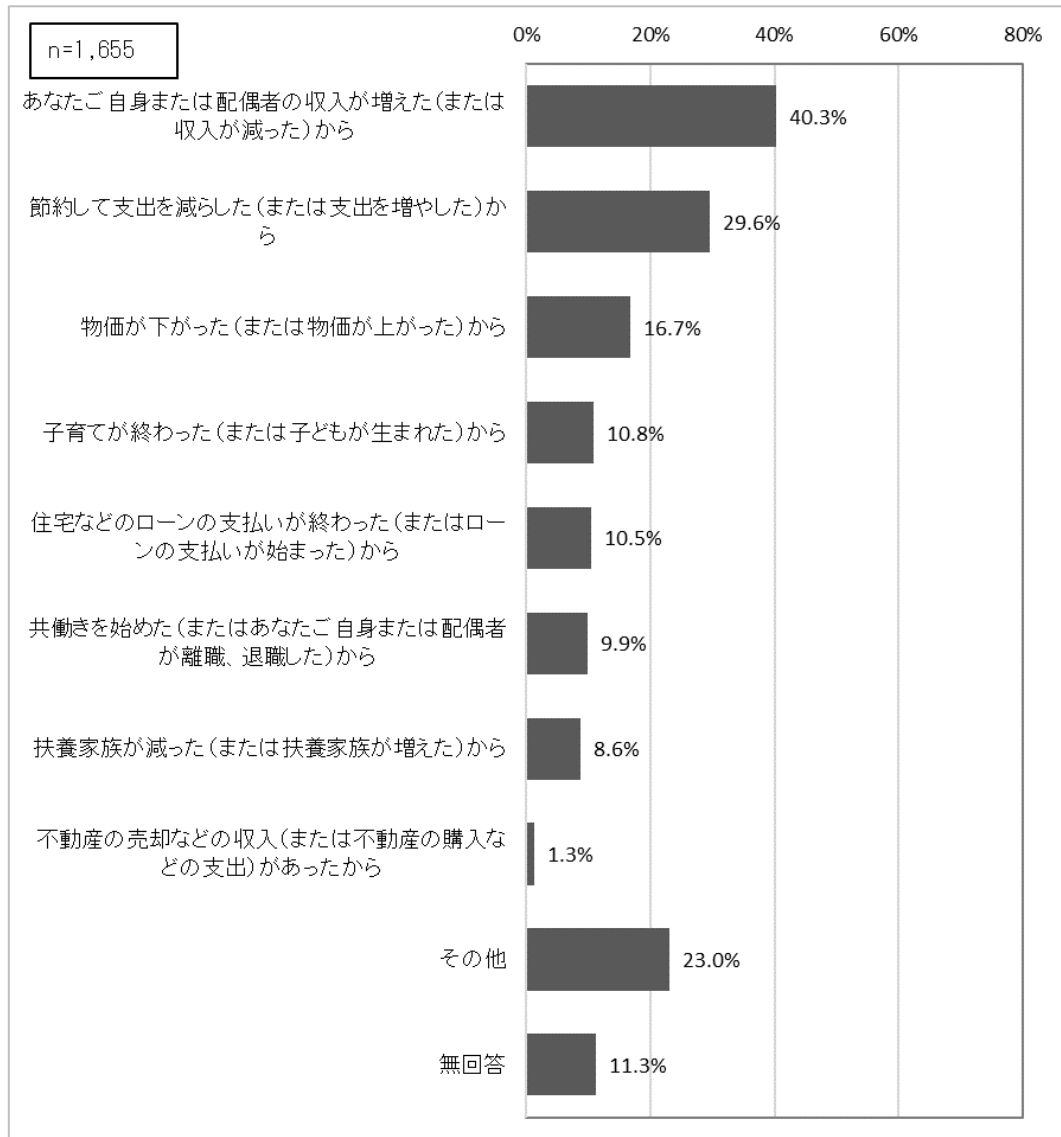
(単位：%)

	ゆとりが出てきた	どちらかといえば ゆとりが出てきた	変わらない	どちらかといえば ゆとりがなくなってきた	ゆとりがなくなってきた	無回答
全体 (n=1,655)	2.6	12.5	37.4	26.5	19.9	1.1
大田原地区 (n=740)	2.3	12.6	36.8	27.4	19.9	1.1
金田地区 (n=229)	1.7	14.4	39.3	24.9	18.8	0.9
親園地区 (n=92)	1.1	9.8	45.7	26.1	17.4	0.0
野崎地区 (n=148)	0.0	13.5	35.1	30.4	20.3	0.7
佐久山地区 (n=60)	5.0	11.7	41.7	28.3	13.3	0.0
湯津上地区 (n=105)	4.8	10.5	35.2	23.8	23.8	1.9
黒羽地区 (n=131)	3.1	11.5	44.3	24.4	16.0	0.8
川西地区 (n=64)	9.4	15.6	29.7	25.0	20.3	0.0
両郷地区 (n=42)	2.4	11.9	31.0	16.7	35.7	2.4
須賀川地区 (n=35)	5.7	11.4	28.6	28.6	22.9	2.9
無回答 (n=9)	0.0	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2

問 11 前問（問 10）で回答された理由はどれがあてはまりますか。  
 あてはまる番号に **2 つ丸をつけてください。**（2LA）

5 年前と比べて暮らし向きが変化した理由について、「あなたご自身または配偶者の収入が増えた（または収入が減った）から」が 40.3%と最も高くなっています。

次いで「節約して支出を減らした（または支出を増やした）から」が 29.6%、「物価が下がった（または物価が上がった）から」が 16.7%、「子育てが終わった（または子どもが生まれた）から」が 10.8%、「住宅などのローンの支払いが終わった（またはローンの支払いが始まった）から」が 10.5%と続いています。



【性別】

(単位：%)

	あなたご自身または収入が増えた (または収入が減った) から	共働きを始めた(またはあなたはご自身または配偶者が離職、退職した) から	不動産の売却などの収入(または不動産の購入などの支出)があったから	節約して支出を減らした (または支出を増やした) から	物価が下がった (または物価が上がった) から	子育てが終わった (または子どもが生まれた) から	扶養家族が減った (または扶養家族が増えた) から	住宅などのローンの支払いが終わった (またはローンの支払いが始まった) から	その他	無回答
全体 (n=1,655)	40.3	9.9	1.3	29.6	16.7	10.8	8.6	10.5	23.0	11.3
男性 (n=717)	40.4	9.5	1.5	35.1	19.1	10.2	8.9	11.3	22.0	9.5
女性 (n=909)	40.7	10.3	1.1	25.3	14.9	11.4	8.5	10.1	24.2	11.9
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答 (n=28)	25.0	7.1	0.0	28.6	17.9	3.6	7.1	0.0	7.1	39.3

【年齢別】

(単位：%)

	あなたご自身または収入が増えた (または収入が減った) から	共働きを始めた(またはあなたは 配偶者が離職、退職した) から	不動産の売却などの収入(または 購入などの支出)があったから	節約して支出を減らした (または支出を増やした) から	物価が下がった (または物価が上がった) から	子育てが終わった (または子どもが生まれた) から	扶養家族が減った (または扶養家族が増えた) から	住宅などのローンの支払いが 終わった(またはローンの支払い が始まった) から	その他	無回答
全体 (n=1,655)	40.3	9.9	1.3	29.6	16.7	10.8	8.6	10.5	23.0	11.3
18～19歳 (n=23)	34.8	8.7	0.0	30.4	8.7	8.7	4.3	8.7	52.2	8.7
20～24歳 (n=47)	38.3	10.6	0.0	36.2	23.4	2.1	2.1	12.8	29.8	14.9
25～29歳 (n=50)	58.0	6.0	2.0	36.0	20.0	12.0	4.0	8.0	28.0	2.0
30～34歳 (n=70)	61.4	27.1	1.4	32.9	11.4	11.4	2.9	7.1	15.7	5.7
35～39歳 (n=98)	44.9	14.3	3.1	22.4	14.3	17.3	7.1	23.5	23.5	4.1
40～44歳 (n=120)	48.3	15.0	1.7	25.8	12.5	12.5	7.5	15.8	20.0	8.3
45～49歳 (n=116)	50.0	6.9	0.0	34.5	20.7	9.5	8.6	15.5	24.1	5.2
50～54歳 (n=116)	44.0	9.5	0.9	22.4	16.4	18.1	12.9	12.9	25.9	6.9
55～59歳 (n=136)	38.2	6.6	0.7	20.6	14.7	22.8	14.0	14.7	20.6	11.8
60～64歳 (n=160)	47.5	18.8	0.0	26.3	13.1	15.0	13.1	10.0	23.1	3.8
65～69歳 (n=216)	38.4	12.0	0.9	29.2	16.7	7.4	14.4	7.9	21.3	12.0
70～74歳 (n=219)	34.2	5.9	2.7	32.0	21.5	5.0	6.4	7.8	22.4	16.0
75～79歳 (n=111)	28.8	2.7	1.8	33.3	17.1	8.1	4.5	5.4	18.9	22.5
80歳以上 (n=168)	23.2	1.8	1.2	38.7	18.5	4.2	3.6	3.0	25.6	20.2
無回答 (n=5)	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0



【居住地区別】

(単位：%)

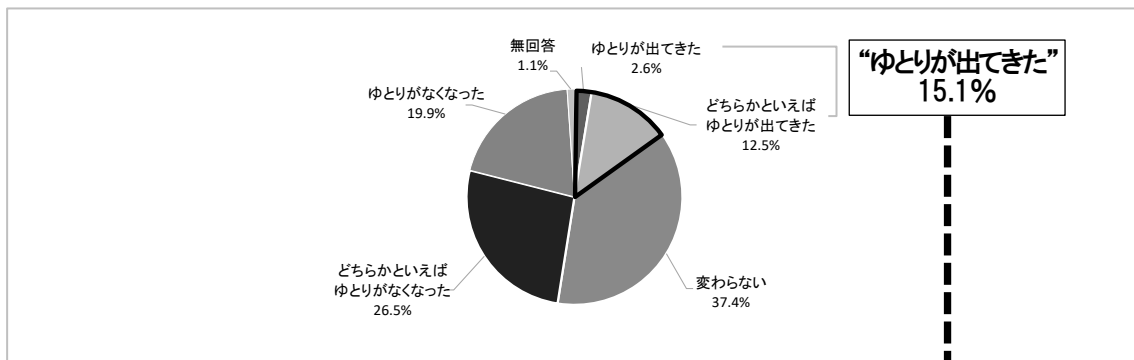
		あなたご自身または配偶者の収入が増えた (または収入が減った) から	共働きを始めた(またはあなたご自身または配偶者が離職、退職した) から	不動産の売却などの収入(または不動産の購入などの支出)があったから	節約して支出を減らした (または支出を増やした) から	物価が下がった (または物価が上がった) から	子育てが終わった (または子どもが生まれた) から	扶養家族が減った (または扶養家族が増えた) から	住宅などのローンの支払いが終わった (またはローンの支払いが始まった) から	その他	無回答
全体 (n=1,655)		40.3	9.9	1.3	29.6	16.7	10.8	8.6	10.5	23.0	11.3
大田原地区 (n=740)		44.1	11.4	1.1	29.5	15.3	11.1	7.7	12.2	22.7	9.3
金田地区 (n=229)		41.0	7.0	2.2	29.7	15.3	10.9	10.5	10.5	22.3	11.8
親園地区 (n=92)		37.0	5.4	2.2	31.5	20.7	7.6	14.1	14.1	15.2	15.2
野崎地区 (n=148)		39.2	10.1	1.4	28.4	20.9	9.5	4.1	11.5	27.7	12.2
佐久山地区 (n=60)		28.3	6.7	1.7	30.0	18.3	5.0	5.0	10.0	35.0	13.3
湯津上地区 (n=105)		32.4	6.7	1.0	34.3	18.1	11.4	5.7	4.8	22.9	14.3
黒羽地区 (n=131)		32.8	11.5	0.8	29.0	18.3	13.0	15.3	8.4	19.1	14.5
川西地区 (n=64)		45.3	10.9	0.0	23.4	14.1	18.8	7.8	9.4	25.0	9.4
両郷地区 (n=42)		26.2	16.7	0.0	35.7	19.0	7.1	4.8	2.4	23.8	19.0
須賀川地区 (n=35)		51.4	11.4	2.9	31.4	17.1	11.4	20.0	0.0	20.0	2.9
無回答 (n=9)		33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	44.4	22.2

(問 10) 暮らし向きの変化についての (問 11) その理由の整理  
 ※問 10と問 11 のクロス分析

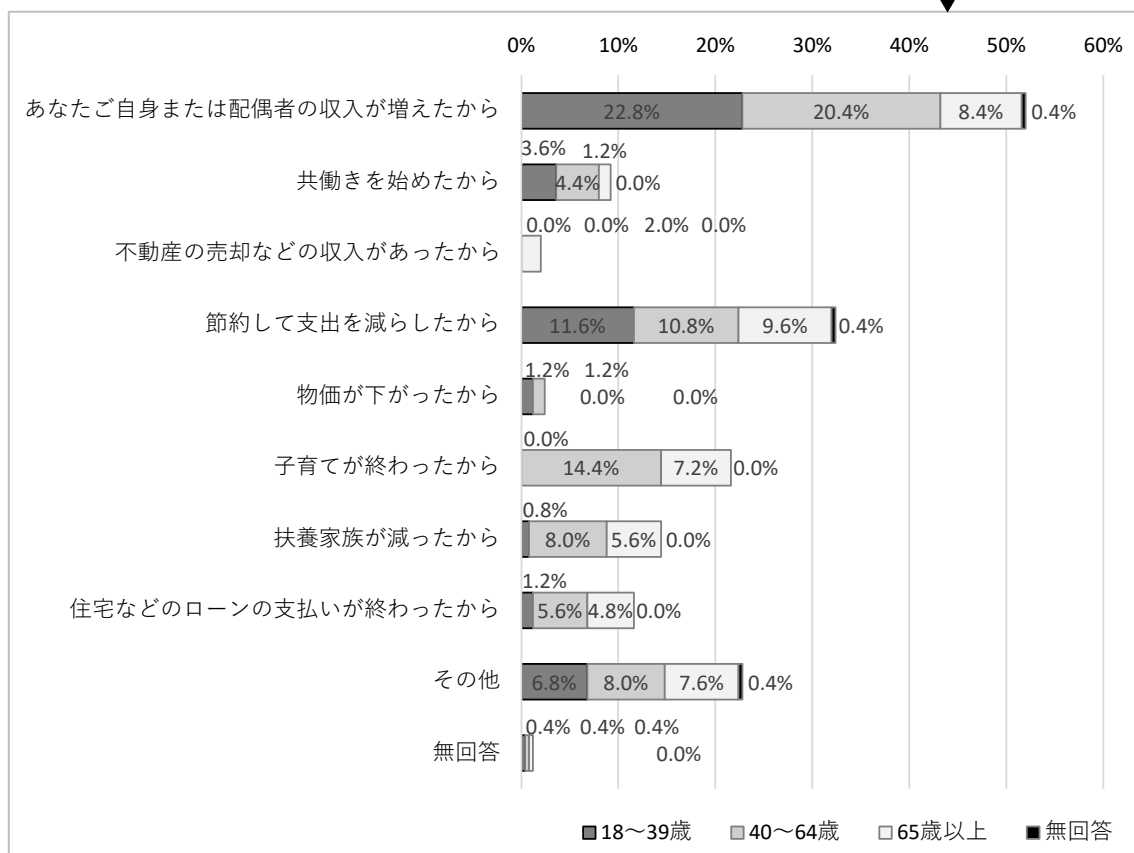
① “ゆとりがでてきた”

暮らし向きの変化について年齢 3 区分 (18~39 歳、40~64 歳、65 歳以上) 別にみると、18~39 歳では「収入の増加」が最も多く、次いで「節約して支出を減らした」、「共働きを始めたから」になっている。40~64 歳では、「収入の増加」が最も多く、次いで「子育てが終わったから」、「節約して支出を減らしたから」になっている。65 歳以上では、「節約して支出を減らしたから」が最も多く、「収入の増加」、「子育てが終わったから」となっている。

■ 問 10 暮らし向きについて 5 年前との比較 (再掲)



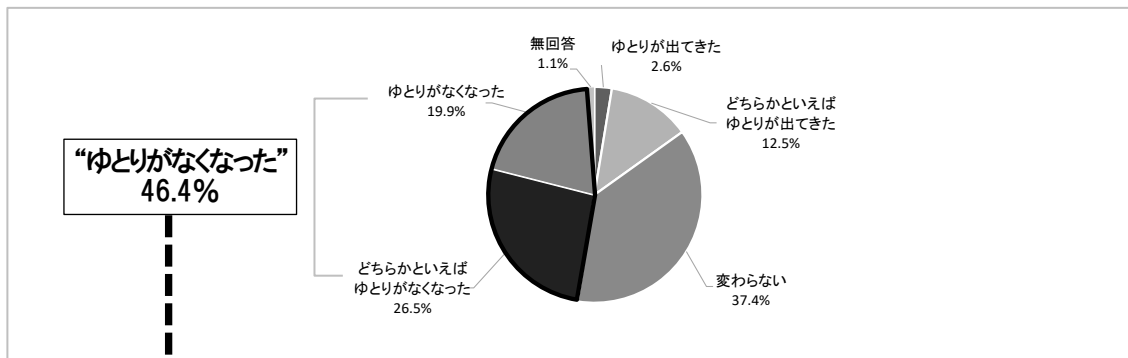
■ “ゆとりがでてきた” 理由の年齢別内訳



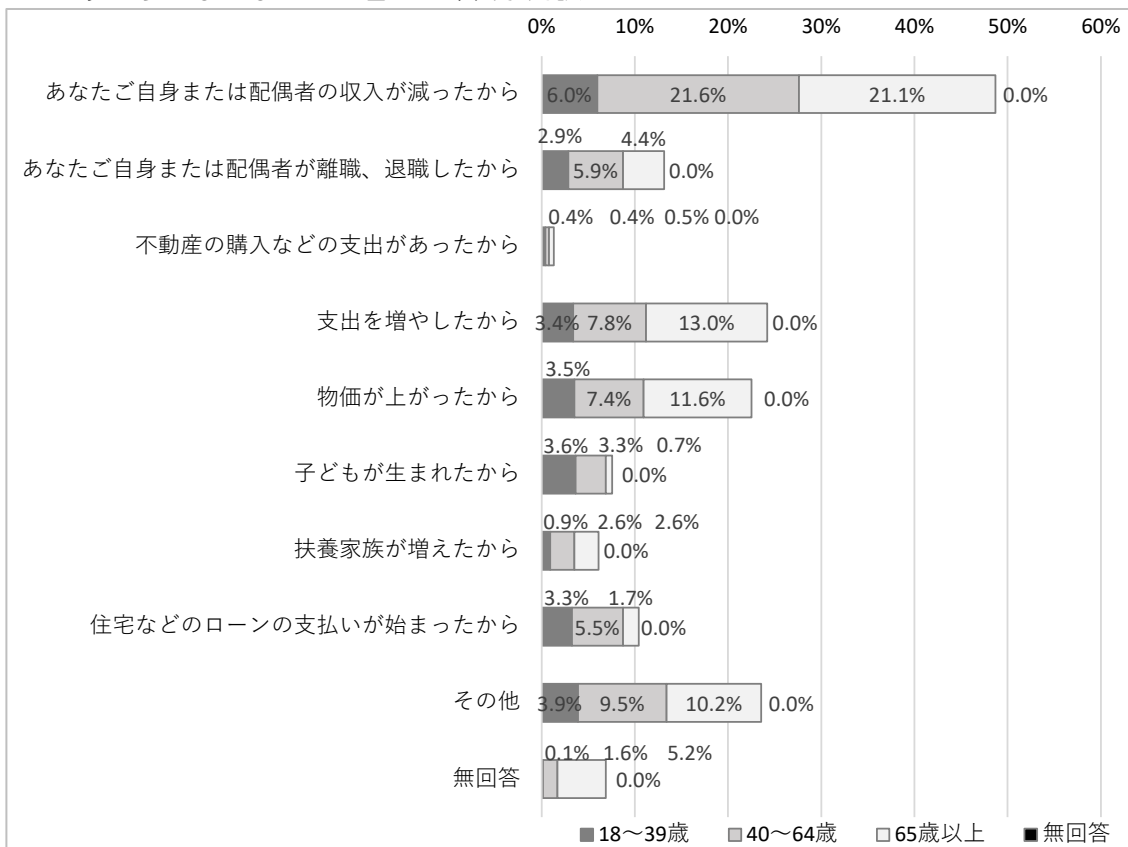
② “ゆとりがなくなった”

暮らし向きの変化について年齢3区分（18～39歳、40～64歳、65歳以上）別にみると、18～39歳では「収入の減少」が最も多く、次いで「子どもが生まれたから」、「物価が上がったから」になっている。40～64歳では、「収入の減少」が最も多く、次いで「支出を増やしたから」、「物価が上がったから」になっている。65歳以上では、「収入の減少」が最も多く、「支出を増やしたから」、「物価が上がったから」となっている。

■ 問 10 暮らし向きについて5年前との比較（再掲）



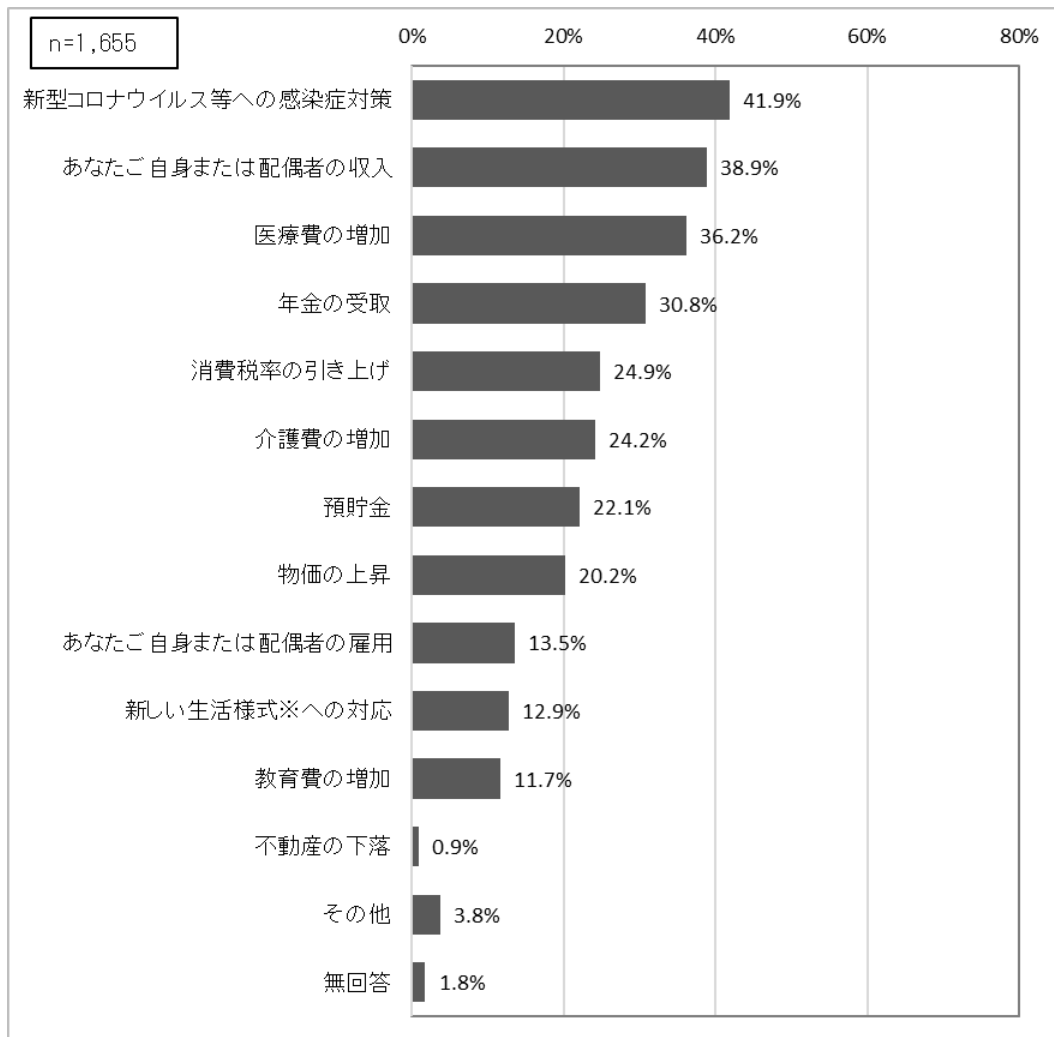
■ “ゆとりがなくなった”理由の年代別内訳



問 12 今後 5 年間、あなたの暮らし向きで特に不安に思うことはありますか。  
 あてはまる番号に **3 つ丸をつけてください。** (3LA)

今後 5 年間の暮らし向きで特に不安に思うことは、「新型コロナウイルス等への感染症対策」が 41.9%と最も高くなっています。

次いで、「あなたご自身または配偶者の収入」が 38.9%、「医療費の増加」が 36.2%、「年金の受取」が 30.8%、「消費税率の引き上げ」が 24.9%、「介護費の増加」が 24.2%と続いています。



※新しい生活様式…新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための生活指針のこと。「マスクを着用する」「距離をあける」といった一人ひとりの対策、「咳エチケット」等の日常生活での対策、「買い物」「公共交通機関」等の日常生活の各場面での対策、「テレワーク」や「時差出勤」等の働き方の新しいスタイルへの対応があります。

## 【性別】

(単位：%)

	配偶者の収入	あなたご自身または配偶者の雇用	あなたご自身または配偶者の収入	不動産の下落	物価の上昇	消費税率の引き上げ	医療費の増加	教育費の増加	介護費の増加	年金の受取	預貯金	新型コロナウイルス等への感染症対策	新しい生活様式への対応	その他	無回答
全体 (n=1,655)	38.9	13.5	0.9	20.2	24.9	36.2	11.7	24.2	30.8	22.1	41.9	12.9	3.8	1.8	
男性 (n=717)	39.7	14.2	1.4	19.8	24.8	36.7	8.9	25.4	33.2	23.0	39.6	13.4	4.0	1.3	
女性 (n=909)	39.2	13.2	0.3	20.1	24.5	36.0	14.1	23.3	28.9	21.8	44.1	12.8	3.7	1.8	
その他 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	7.1	3.6	7.1	32.1	39.3	32.1	3.6	21.4	32.1	10.7	28.6	3.6	0.0	17.9	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	配偶者の収入	あなたご自身または配偶者の雇用	あなたご自身または配偶者の収入	不動産の下落	物価の上昇	消費税率の引き上げ	医療費の増加	教育費の増加	介護費の増加	年金の受取	預貯金	新型コロナウイルス等への感染症対策	新しい生活様式への対応	その他	無回答
全体 (n=1,655)	38.9	13.5	0.9	20.2	24.9	36.2	11.7	24.2	30.8	22.1	41.9	12.9	3.8	1.8	
18～19歳 (n=23)	17.4	4.3	0.0	26.1	34.8	21.7	26.1	0.0	8.7	30.4	60.9	34.8	4.3	0.0	
20～24歳 (n=47)	36.2	23.4	0.0	23.4	31.9	14.9	8.5	8.5	17.0	31.9	53.2	27.7	2.1	2.1	
25～29歳 (n=50)	60.0	14.0	0.0	28.0	36.0	10.0	10.0	4.0	12.0	36.0	54.0	24.0	2.0	2.0	
30～34歳 (n=70)	64.3	24.3	0.0	15.7	28.6	11.4	27.1	1.4	18.6	38.6	40.0	14.3	5.7	0.0	
35～39歳 (n=98)	49.0	16.3	0.0	19.4	20.4	14.3	35.7	12.2	22.4	36.7	35.7	17.3	6.1	1.0	
40～44歳 (n=120)	47.5	18.3	0.8	20.8	23.3	18.3	46.7	10.0	15.8	27.5	41.7	12.5	5.0	0.0	
45～49歳 (n=116)	54.3	20.7	0.0	17.2	18.1	24.1	33.6	19.0	23.3	25.9	40.5	9.5	1.7	0.9	
50～54歳 (n=116)	55.2	25.0	0.9	15.5	26.7	24.1	12.1	16.4	16.4	23.3	44.0	19.0	6.9	0.0	
55～59歳 (n=136)	59.6	29.4	0.0	14.7	19.1	30.9	3.7	19.9	42.6	24.3	31.6	8.8	3.7	0.7	
60～64歳 (n=160)	46.3	20.0	1.3	11.3	15.6	38.1	1.3	25.6	44.4	20.0	45.0	16.3	4.4	0.6	
65～69歳 (n=216)	34.3	5.1	1.4	22.2	24.5	54.6	0.9	35.6	39.4	16.7	43.1	12.0	3.2	0.0	
70～74歳 (n=219)	21.0	2.3	1.4	25.1	31.5	50.7	0.0	33.8	39.3	16.4	44.7	8.7	2.3	1.8	
75～79歳 (n=111)	19.8	5.4	1.8	30.6	26.1	50.5	0.9	32.4	33.3	14.4	33.3	10.8	3.6	5.4	
80歳以上 (n=168)	10.7	1.8	1.8	20.8	29.2	56.0	2.4	44.0	33.3	11.3	44.0	6.0	3.6	6.0	
無回答 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

	配偶者の収入 あなたご自身または あなたご自身または 配偶者の雇用	あなたご自身または 配偶者の雇用	不動産の下落	物価の上昇	消費税率の引き上げ	医療費の増加	教育費の増加	介護費の増加	年金の受取	預貯金	新型コロナウイルス 等への感染症対策	新しい生活様式への 対応	その他	無回答
全体 (n=1,655)	38.9	13.5	0.9	20.2	24.9	36.2	11.7	24.2	30.8	22.1	41.9	12.9	3.8	1.8
大田原地区 (n=740)	40.8	16.8	0.8	20.8	25.1	33.5	14.6	19.3	29.2	25.4	41.2	12.2	3.5	1.8
金田地区 (n=229)	38.9	10.5	1.3	18.8	22.3	35.8	8.7	32.8	27.1	20.5	45.9	12.7	5.2	1.7
親園地区 (n=92)	45.7	12.0	3.3	17.4	17.4	27.2	17.4	23.9	32.6	26.1	40.2	15.2	2.2	2.2
野崎地区 (n=148)	37.2	11.5	0.0	24.3	22.3	43.9	7.4	24.3	31.1	14.9	43.2	16.2	8.1	0.7
佐久山地区 (n=60)	33.3	8.3	0.0	30.0	33.3	38.3	6.7	33.3	33.3	21.7	43.3	11.7	1.7	0.0
湯津上地区 (n=105)	29.5	7.6	0.0	20.0	34.3	42.9	4.8	30.5	32.4	16.2	38.1	10.5	2.9	2.9
黒羽地区 (n=131)	33.6	12.2	0.8	16.8	23.7	45.8	7.6	22.1	36.6	15.3	48.1	17.6	0.8	2.3
川西地区 (n=64)	39.1	17.2	0.0	14.1	28.1	32.8	26.6	18.8	34.4	28.1	39.1	10.9	3.1	0.0
両郷地区 (n=42)	35.7	14.3	2.4	14.3	31.0	33.3	0.0	31.0	35.7	21.4	40.5	7.1	7.1	4.8
須賀川地区 (n=35)	45.7	2.9	2.9	17.1	20.0	45.7	2.9	45.7	45.7	14.3	31.4	11.4	2.9	0.0
無回答 (n=9)	44.4	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	22.2

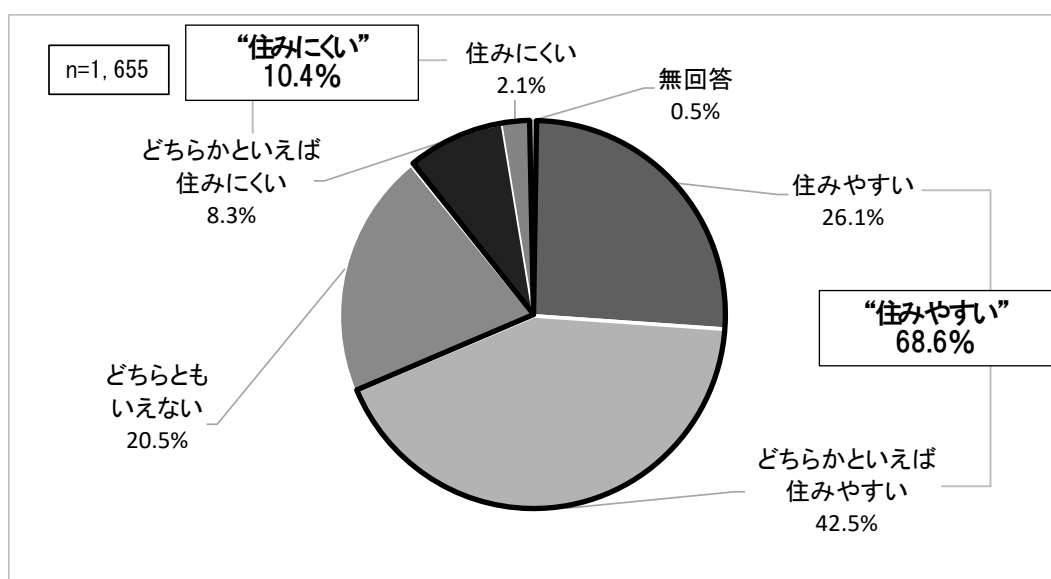
注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 大田原市の住み心地について

問 13 あなたは、大田原市の住み心地をどのように感じていますか。  
あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

大田原市の住み心地について、「住みやすい」が 26.1%、「どちらかといえば住みやすい」が 42.5%となっており、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”は 68.6%と 7 割近くの回答者が住みやすいと回答しています。

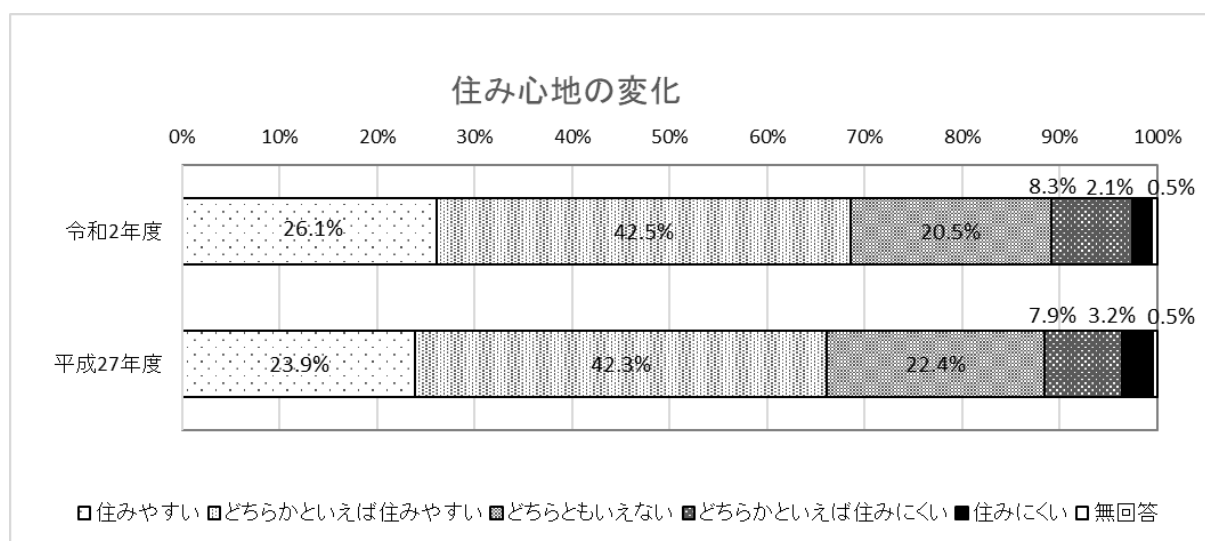
一方、「どちらかといえば住みにくい」が 8.3%、「住みにくい」が 2.1%となっており、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”は 10.4%と回答者の 1 割が住みにくいと回答しています。



〔過去調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、今回の調査では“住みやすい”が増加し、“住みにくい”が減少しています。

ただし、回答割合に多少の違いはあるものの前回調査（平成 27 年度実施）とほぼ同じ回答結果となっています。



## 【性別】

(単位：%)

	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体 (n=1,655)	26.1	42.5	20.5	8.3	2.1	0.5	
男性 (n=717)	24.4	39.7	26.4	7.0	2.1	0.4	
女性 (n=909)	27.5	44.9	15.7	9.5	2.0	0.4	
その他 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	25.0	39.3	21.4	3.6	3.6	7.1	

## 【年齢別】

(単位：%)

	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体 (n=1,655)	26.1	42.5	20.5	8.3	2.1	0.5	
18～19歳 (n=23)	30.4	47.8	13.0	8.7	0.0	0.0	
20～24歳 (n=47)	21.3	44.7	14.9	8.5	8.5	2.1	
25～29歳 (n=50)	32.0	38.0	16.0	8.0	6.0	0.0	
30～34歳 (n=70)	24.3	47.1	20.0	7.1	1.4	0.0	
35～39歳 (n=98)	34.7	45.9	14.3	5.1	0.0	0.0	
40～44歳 (n=120)	32.5	41.7	16.7	8.3	0.8	0.0	
45～49歳 (n=116)	24.1	48.3	19.8	6.9	0.9	0.0	
50～54歳 (n=116)	27.6	36.2	25.0	8.6	2.6	0.0	
55～59歳 (n=136)	24.3	48.5	17.6	8.8	0.7	0.0	
60～64歳 (n=160)	22.5	45.0	18.1	12.5	1.9	0.0	
65～69歳 (n=216)	17.6	44.4	27.8	6.9	2.8	0.5	
70～74歳 (n=219)	30.6	37.9	20.1	8.7	1.8	0.9	
75～79歳 (n=111)	23.4	43.2	21.6	7.2	4.5	0.0	
80歳以上 (n=168)	28.0	36.9	23.8	8.9	1.2	1.2	
無回答 (n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	



【居住地区別】

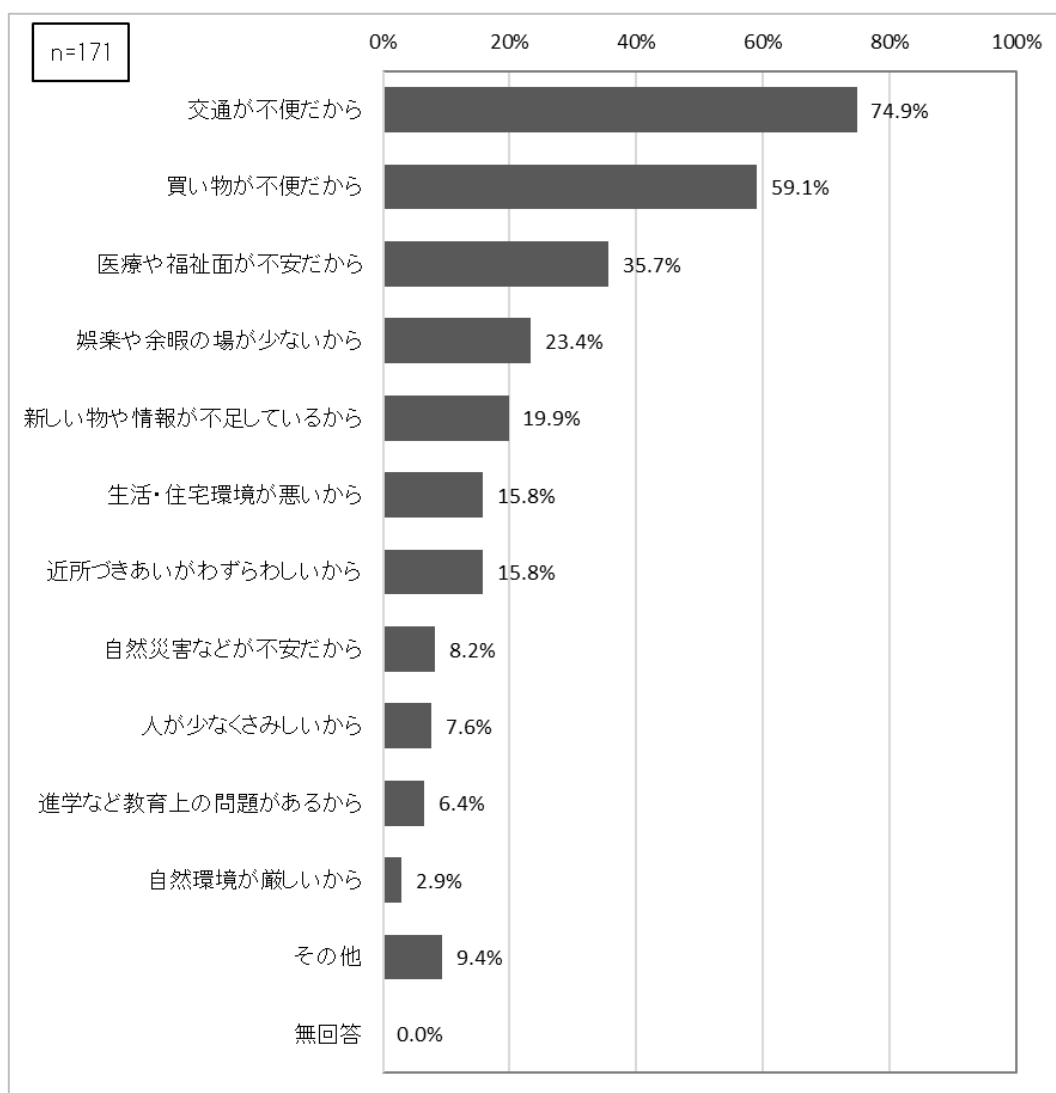
(単位：%)

	住みやすい	どちらかといえ 住みやすい	どちらともい えない	住みにくい どちらかとい え	住みにくい	無 回 答
全体 (n=1,655)	26.1	42.5	20.5	8.3	2.1	0.5
大田原地区 (n=740)	30.0	44.2	19.1	5.4	1.1	0.3
金田地区 (n=229)	26.6	38.4	24.9	8.3	1.7	0.0
親園地区 (n=92)	23.9	46.7	21.7	6.5	1.1	0.0
野崎地区 (n=148)	22.3	39.9	20.9	12.2	4.1	0.7
佐久山地区 (n=60)	30.0	36.7	13.3	15.0	5.0	0.0
湯津上地区 (n=105)	19.0	43.8	21.9	10.5	3.8	1.0
黒羽地区 (n=131)	19.1	43.5	22.1	13.7	0.8	0.8
川西地区 (n=64)	29.7	48.4	20.3	1.6	0.0	0.0
両郷地区 (n=42)	16.7	40.5	14.3	16.7	9.5	2.4
須賀川地区 (n=35)	8.6	37.1	25.7	17.1	8.6	2.9
無回答 (n=9)	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2

問 13-1 問 13 で「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」と回答した方のみ  
大田原市に住みにくい理由は何ですか。あてはまる番号に **3つ丸をつけてください。**  
(3LA)

前問（問 13）で“住みにくい”と回答した 10.4%（171 人）の回答理由は、「交通が不便だから」が 74.9%と最も高くなっています。

次いで「買い物が不便だから」が 59.1%、「医療や福祉面が不安だから」が 35.7%、「娯楽や余暇の場が少ないから」が 23.4%、「新しい物や情報が不足しているから」が 19.9%、「生活・住宅環境が悪いから」と「近所づきあいがわずらわしいから」が 15.8%と続いています。



## 【性別】

(単位：%)

	交通が不便だから	買い物が不便だから	悪いから	生活・住宅環境が悪いから	安だから	自然災害などが不安だから	医療や福祉面が不安だから	問題があるから	進学など教育上の問題があるから	少ないから	娯楽や余暇の場が少ないから	新しい物や情報が不足しているから	人が少なくさみしいから	近所づきあいがわずらわしいから	から	自然環境が厳しいから	その他	無回答
全体 (n=171)	74.9	59.1	15.8	8.2	35.7	6.4	23.4	19.9	7.6	15.8	2.9	9.4	0.0					
男性 (n=65)	73.8	63.1	20.0	6.2	33.8	3.1	18.5	13.8	6.2	18.5	4.6	15.4	0.0					
女性 (n=104)	75.0	57.7	13.5	9.6	36.5	7.7	26.0	24.0	8.7	13.5	1.9	5.8	0.0					
その他 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
無回答 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0					

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	交通が不便だから	買い物が不便だから	悪いから	生活・住宅環境が悪いから	安だから	自然災害などが不安だから	医療や福祉面が不安だから	問題があるから	進学など教育上の問題があるから	少ないから	娯楽や余暇の場が少ないから	新しい物や情報が不足しているから	人が少なくさみしいから	近所づきあいがわずらわしいから	から	自然環境が厳しいから	その他	無回答
全体 (n=171)	74.9	59.1	15.8	8.2	35.7	6.4	23.4	19.9	7.6	15.8	2.9	9.4	0.0					
18~19歳 (n=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
20~24歳 (n=8)	62.5	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0					
25~29歳 (n=7)	85.7	71.4	0.0	14.3	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0					
30~34歳 (n=6)	33.3	33.3	16.7	0.0	50.0	16.7	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0					
35~39歳 (n=5)	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0					
40~44歳 (n=11)	45.5	36.4	27.3	9.1	18.2	45.5	36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0					
45~49歳 (n=9)	66.7	22.2	33.3	0.0	33.3	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0					
50~54歳 (n=13)	84.6	69.2	23.1	0.0	38.5	0.0	7.7	23.1	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0					
55~59歳 (n=13)	76.9	69.2	15.4	7.7	15.4	7.7	30.8	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0					
60~64歳 (n=23)	87.0	60.9	26.1	8.7	34.8	0.0	21.7	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0	0.0					
65~69歳 (n=21)	81.0	66.7	14.3	19.0	52.4	4.8	14.3	4.8	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0					
70~74歳 (n=23)	78.3	73.9	4.3	8.7	56.5	0.0	8.7	8.7	0.0	30.4	4.3	13.0	0.0					
75~79歳 (n=13)	69.2	53.8	7.7	0.0	53.8	0.0	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0					
80歳以上 (n=17)	88.2	76.5	0.0	11.8	23.5	5.9	23.5	11.8	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0					
無回答 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

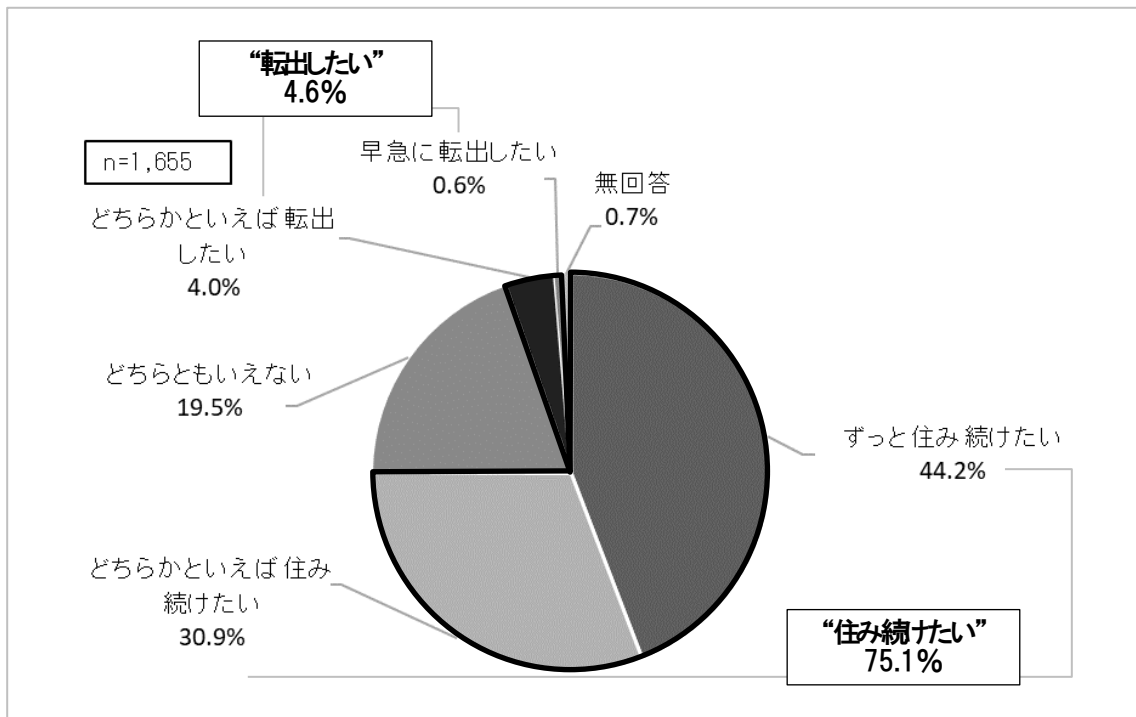
	交通が不便だから	買い物不便だから	悪いから	生活・住宅環境が	安だから	自然災害などが不安だから	医療や福祉面が不安だから	進学など教育上の問題があるから	少ないから	娯楽や余暇の場が不足しているから	新しい物や情報が少ないから	人が少なくさみしいから	近所づきあいがわずらわしいから	から	自然環境が厳しい	その他	無回答
全体 (n=171)	74.9	59.1	15.8	8.2	35.7	6.4	23.4	19.9	7.6	15.8	2.9	9.4	0.0				
大田原地区 (n=48)	66.7	31.3	16.7	6.3	37.5	14.6	37.5	37.5	4.2	16.7	0.0	6.3	0.0				
金田地区 (n=23)	69.6	56.5	30.4	8.7	34.8	4.3	17.4	13.0	4.3	21.7	0.0	13.0	0.0				
親園地区 (n=7)	71.4	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0				
野崎地区 (n=24)	91.7	79.2	12.5	0.0	41.7	0.0	29.2	16.7	0.0	8.3	4.2	8.3	0.0				
佐久山地区 (n=12)	83.3	83.3	25.0	25.0	25.0	0.0	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0				
湯津上地区 (n=15)	66.7	60.0	6.7	20.0	53.3	0.0	13.3	6.7	20.0	26.7	13.3	0.0	0.0				
黒羽地区 (n=19)	68.4	78.9	5.3	15.8	26.3	5.3	21.1	10.5	10.5	15.8	0.0	15.8	0.0				
川西地区 (n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
両郷地区 (n=11)	90.9	72.7	0.0	0.0	36.4	18.2	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0				
須賀川地区 (n=9)	88.9	100.0	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0				
無回答 (n=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0				

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

問 14 あなたは、大田原市にこれからも住み続けたいと思いますか。  
 あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

大田原市でのこれからの定住意向について、「ずっと住み続けたい」が 44.2%、「どちらかといえば住み続けたい」が 30.9%となっており、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”は 75.1%と回答者の四人に三人が住み続けたいと回答しています。

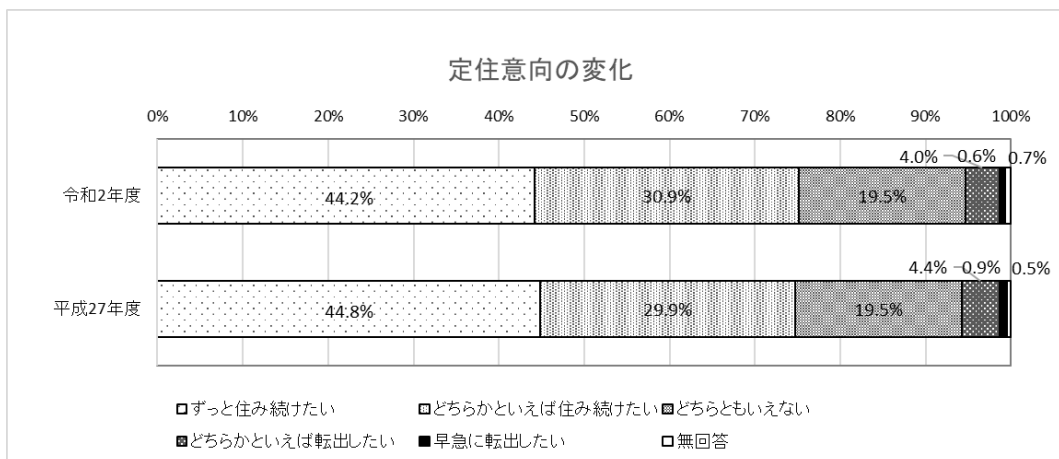
一方、「どちらかといえば転出したい」が 4.0%、「早急に転出したい」が 0.6%となっており、「どちらかといえば転出したい」と「早急に転出したい」を合わせた“転出したい”は 4.6%となっています。



〔過去調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、今回の調査では“住み続けたい”がわずかに増加し、“転出したい”はわずかに減少しています。

ただし、回答割合に多少の違いはあるもののほぼ同じ回答結果となっています。



## 【性別】

(単位：%)

	ずっと住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらともい えない	転出 したい	どちらかとい えば	早急に転出 したい	無 回 答
全体 (n=1,655)	44.2	30.9	19.5	4.0	0.6	0.7	
男性 (n=717)	42.5	30.8	21.9	3.5	0.6	0.7	
女性 (n=909)	45.1	31.0	18.0	4.6	0.7	0.6	
その他 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	53.6	32.1	7.1	0.0	0.0	7.1	

## 【年齢別】

(単位：%)

	ずっと住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらともい えない	転出 したい	どちらかとい えば	早急に転出 したい	無 回 答
全体 (n=1,655)	44.2	30.9	19.5	4.0	0.6	0.7	
18～19 歳 (n=23)	8.7	47.8	39.1	4.3	0.0	0.0	
20～24 歳 (n=47)	23.4	19.1	40.4	10.6	4.3	2.1	
25～29 歳 (n=50)	20.0	34.0	30.0	14.0	2.0	0.0	
30～34 歳 (n=70)	21.4	45.7	25.7	7.1	0.0	0.0	
35～39 歳 (n=98)	33.7	44.9	17.3	4.1	0.0	0.0	
40～44 歳 (n=120)	41.7	30.8	22.5	3.3	1.7	0.0	
45～49 歳 (n=116)	31.0	39.7	26.7	0.9	0.9	0.9	
50～54 歳 (n=116)	37.1	29.3	24.1	8.6	0.9	0.0	
55～59 歳 (n=136)	43.4	30.9	19.1	6.6	0.0	0.0	
60～64 歳 (n=160)	44.4	33.8	17.5	3.1	1.3	0.0	
65～69 歳 (n=216)	46.3	33.3	15.7	3.2	0.5	0.9	
70～74 歳 (n=219)	60.7	19.2	16.4	2.3	0.0	1.4	
75～79 歳 (n=111)	59.5	25.2	15.3	0.0	0.0	0.0	
80 歳以上 (n=168)	60.1	25.6	10.7	2.4	0.0	1.2	
無回答 (n=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	

## 【居住地区別】

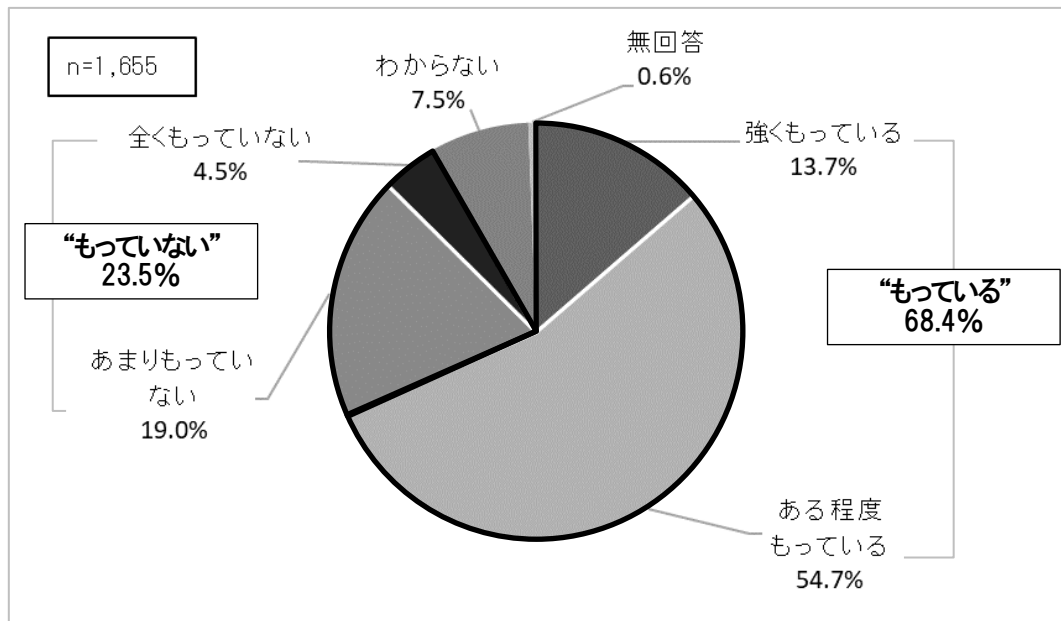
(単位：%)

	ずっと住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらともい えない	どちらかとい えれば 転出した い	早急に転出 したい	無 回 答
全体 (n=1,655)	44.2	30.9	19.5	4.0	0.6	0.7
大田原地区 (n=740)	41.6	31.8	20.8	4.5	0.9	0.4
金田地区 (n=229)	55.9	28.8	12.7	2.2	0.4	0.0
親園地区 (n=92)	45.7	30.4	19.6	4.3	0.0	0.0
野崎地区 (n=148)	35.8	31.8	27.7	4.1	0.0	0.7
佐久山地区 (n=60)	56.7	25.0	13.3	5.0	0.0	0.0
湯津上地区 (n=105)	44.8	30.5	19.0	4.8	0.0	1.0
黒羽地区 (n=131)	39.7	33.6	19.8	4.6	0.8	1.5
川西地区 (n=64)	51.6	32.8	14.1	1.6	0.0	0.0
両郷地区 (n=42)	50.0	28.6	14.3	0.0	2.4	4.8
須賀川地区 (n=35)	34.3	22.9	31.4	8.6	0.0	2.9
無回答 (n=9)	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	22.2

問 15 あなたは、大田原市に「わがまち」といった愛着をおもちですか。  
 あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

大田原市への愛着について、「強くもっている」が 13.7%、「ある程度もっている」が 54.7% となっており、「強くもっている」と「ある程度もっている」を合わせた“もっている”は 68.4% となっています。

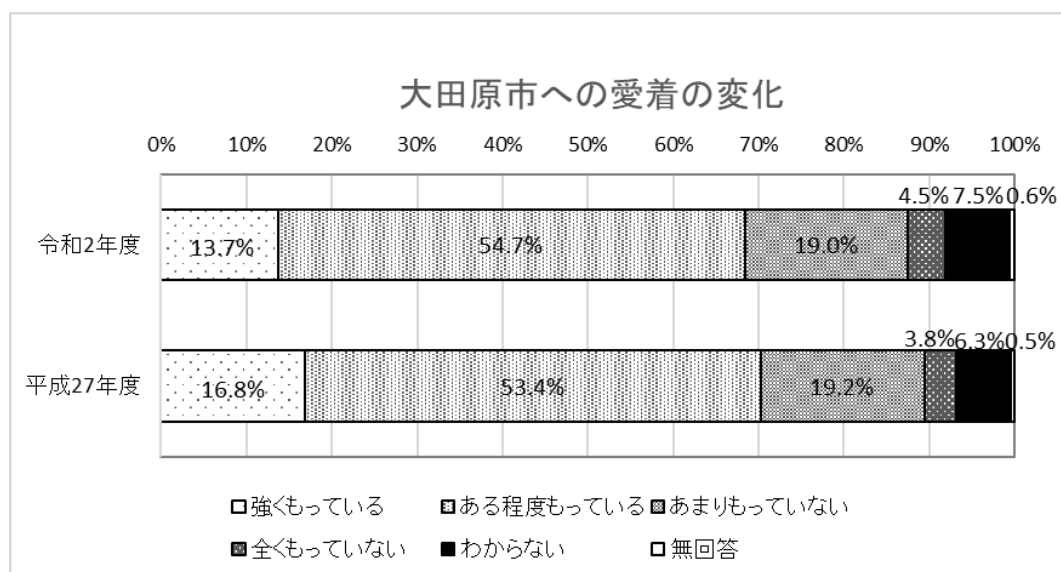
一方、「あまりもっていない」が 19.0%、「全くもっていない」が 4.5%となっており、「あまりもっていない」と「全くもっていない」を合わせた“もっていない”は 23.5%となっています。



〔過去調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、今回の調査では“もっている”がわずかに減少し、“もっていない”はわずかに増加しています。

ただし、「強くもっている」への回答割合は減少する傾向にあります。





【性別】

(単位：%)

	強くもっている	ある程度もっている	あまりもっていない	全くもっていない	わからない	無回答
全体 (n=1,655)	13.7	54.7	19.0	4.5	7.5	0.6
男性 (n=717)	14.2	52.9	20.8	5.3	6.6	0.3
女性 (n=909)	13.3	56.5	17.6	4.0	8.1	0.4
その他 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	10.7	46.4	17.9	0.0	10.7	14.3

【年齢別】

(単位：%)

	強くもっている	ある程度もっている	あまりもっていない	全くもっていない	わからない	無回答
全体 (n=1,655)	13.7	54.7	19.0	4.5	7.5	0.6
18～19歳 (n=23)	17.4	56.5	17.4	0.0	8.7	0.0
20～24歳 (n=47)	12.8	48.9	19.1	10.6	8.5	0.0
25～29歳 (n=50)	8.0	54.0	18.0	8.0	12.0	0.0
30～34歳 (n=70)	7.1	37.1	32.9	12.9	10.0	0.0
35～39歳 (n=98)	7.1	55.1	24.5	6.1	7.1	0.0
40～44歳 (n=120)	10.8	50.0	20.0	9.2	10.0	0.0
45～49歳 (n=116)	8.6	50.0	28.4	7.8	5.2	0.0
50～54歳 (n=116)	12.9	51.7	21.6	4.3	9.5	0.0
55～59歳 (n=136)	16.2	55.9	21.3	3.7	2.9	0.0
60～64歳 (n=160)	9.4	57.5	18.8	2.5	11.9	0.0
65～69歳 (n=216)	13.0	58.8	18.1	3.2	6.5	0.5
70～74歳 (n=219)	17.8	56.2	17.8	2.3	4.6	1.4
75～79歳 (n=111)	18.0	61.3	12.6	1.8	5.4	0.9
80歳以上 (n=168)	22.0	58.3	7.7	1.2	9.5	1.2
無回答 (n=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0

## 【居住地区別】

(単位：%)

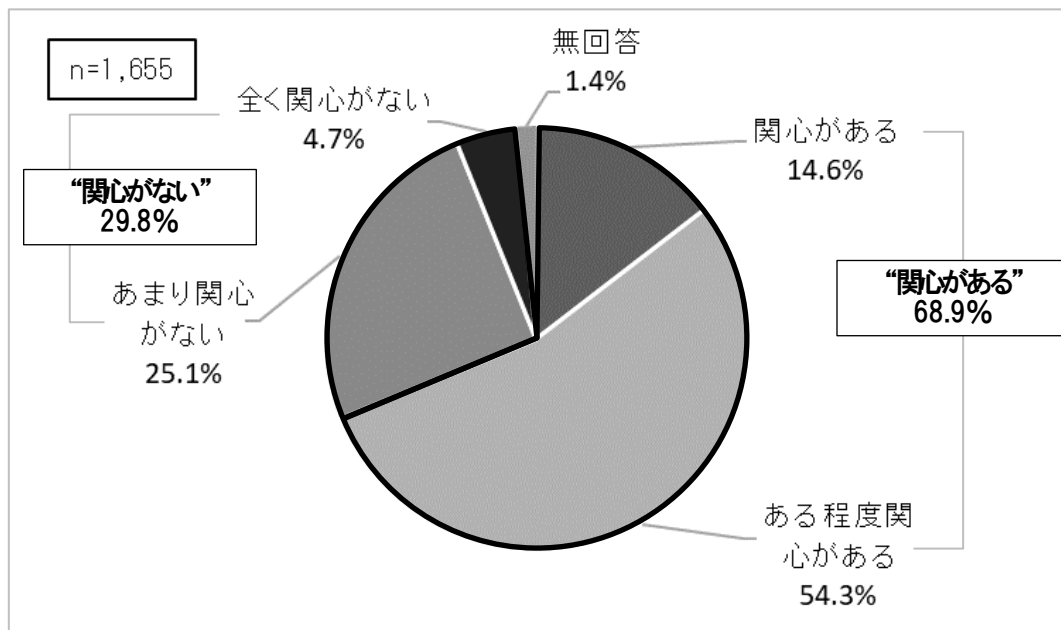
	強 くも つて い る	あ る 程 度 も つ て い る	あ ま り も つ て い な い	全 く も つ て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=1,655)	13.7	54.7	19.0	4.5	7.5	0.6
大田原地区 (n=740)	12.7	55.5	18.1	5.9	7.3	0.4
金田地区 (n=229)	14.8	57.6	17.9	3.1	6.1	0.4
親園地区 (n=92)	14.1	52.2	23.9	2.2	7.6	0.0
野崎地区 (n=148)	10.1	49.3	27.7	4.7	7.4	0.7
佐久山地区 (n=60)	23.3	56.7	8.3	0.0	11.7	0.0
湯津上地区 (n=105)	9.5	56.2	20.0	5.7	7.6	1.0
黒羽地区 (n=131)	15.3	50.4	19.8	3.8	9.2	1.5
川西地区 (n=64)	15.6	56.3	20.3	1.6	6.3	0.0
両郷地区 (n=42)	16.7	64.3	11.9	2.4	4.8	0.0
須賀川地区 (n=35)	25.7	45.7	17.1	0.0	11.4	0.0
無回答 (n=9)	0.0	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2

## 行政への関心について

問 16 あなたは、市の行政にどの程度関心をおもちですか。  
あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

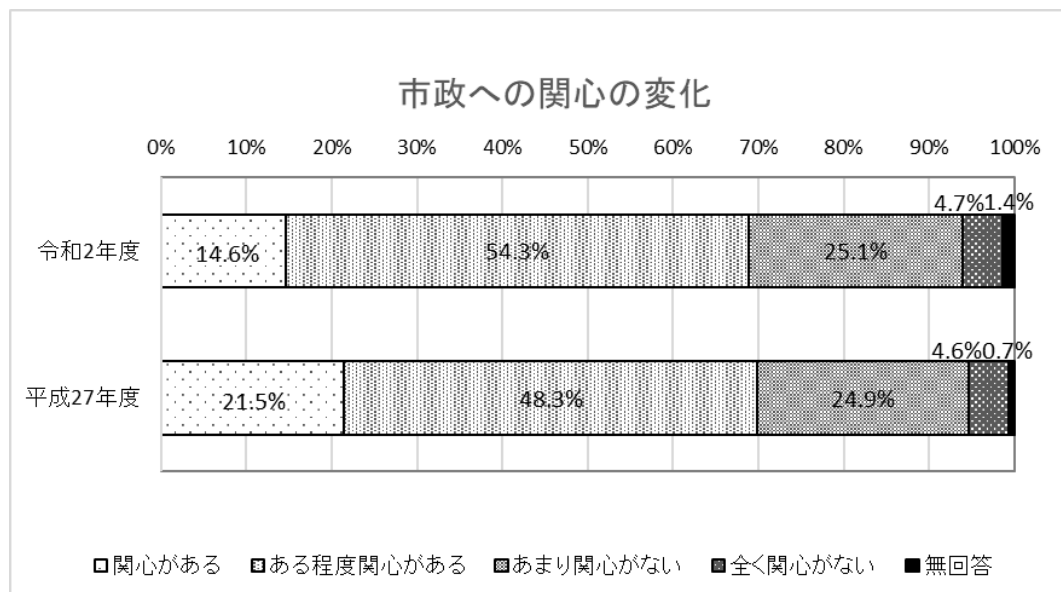
大田原市の行政への関心について、「関心がある」が 14.6%、「ある程度関心がある」が 54.3% となっており、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”は 68.9% となっています。

一方、「あまり関心がない」が 25.1%、「まったく関心がない」が 4.7% となっており、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”は 29.8% となっています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、今回の調査では“関心がある”への回答がわずかに減少している一方で、“関心がない”はわずかに増加しています。



【性別】

(単位：%)

	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体 (n=1,655)	14.6	54.3	25.1	4.7	1.4
男性 (n=717)	19.2	51.6	23.0	5.6	0.6
女性 (n=909)	11.0	56.9	26.5	4.2	1.4
その他 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	10.7	39.3	28.6	0.0	21.4

【年齢別】

(単位：%)

	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体 (n=1,655)	14.6	54.3	25.1	4.7	1.4
18～19歳 (n=23)	8.7	39.1	34.8	17.4	0.0
20～24歳 (n=47)	2.1	31.9	51.1	14.9	0.0
25～29歳 (n=50)	0.0	46.0	42.0	10.0	2.0
30～34歳 (n=70)	11.4	38.6	35.7	14.3	0.0
35～39歳 (n=98)	13.3	46.9	34.7	4.1	1.0
40～44歳 (n=120)	13.3	47.5	31.7	7.5	0.0
45～49歳 (n=116)	10.3	57.8	29.3	1.7	0.9
50～54歳 (n=116)	19.8	47.4	25.0	6.9	0.9
55～59歳 (n=136)	17.6	58.1	19.9	4.4	0.0
60～64歳 (n=160)	10.6	67.5	20.0	1.3	0.6
65～69歳 (n=216)	15.7	57.9	23.6	1.9	0.9
70～74歳 (n=219)	14.2	61.2	20.1	2.7	1.8
75～79歳 (n=111)	17.1	63.1	14.4	2.7	2.7
80歳以上 (n=168)	24.4	48.2	19.0	4.8	3.6
無回答 (n=5)	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0

## 【居住地区別】

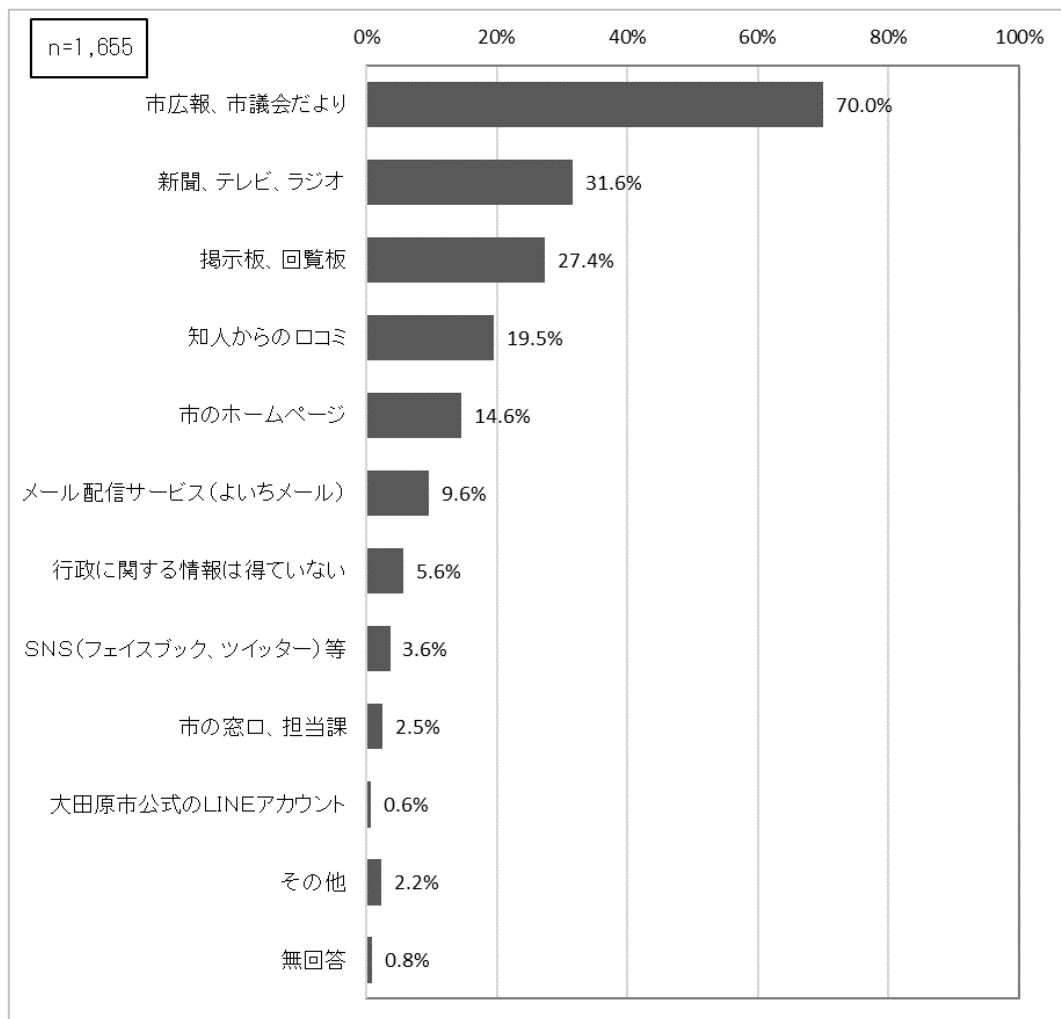
(単位：%)

	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体 (n=1,655)	14.6	54.3	25.1	4.7	1.4
大田原地区 (n=740)	13.4	53.2	26.6	5.1	1.6
金田地区 (n=229)	17.9	55.5	21.4	4.4	0.9
親園地区 (n=92)	7.6	63.0	23.9	4.3	1.1
野崎地区 (n=148)	14.2	51.4	29.1	4.7	0.7
佐久山地区 (n=60)	21.7	63.3	10.0	5.0	0.0
湯津上地区 (n=105)	13.3	51.4	27.6	6.7	1.0
黒羽地区 (n=131)	15.3	55.0	23.7	4.6	1.5
川西地区 (n=64)	18.8	50.0	29.7	1.6	0.0
両郷地区 (n=42)	28.6	45.2	19.0	2.4	4.8
須賀川地区 (n=35)	5.7	62.9	31.4	0.0	0.0
無回答 (n=9)	0.0	66.7	0.0	11.1	22.2

問 17 あなたは、市の行政に関する情報を何から知ることが多いですか。  
あてはまる番号に2つ丸をつけてください。(2LA)

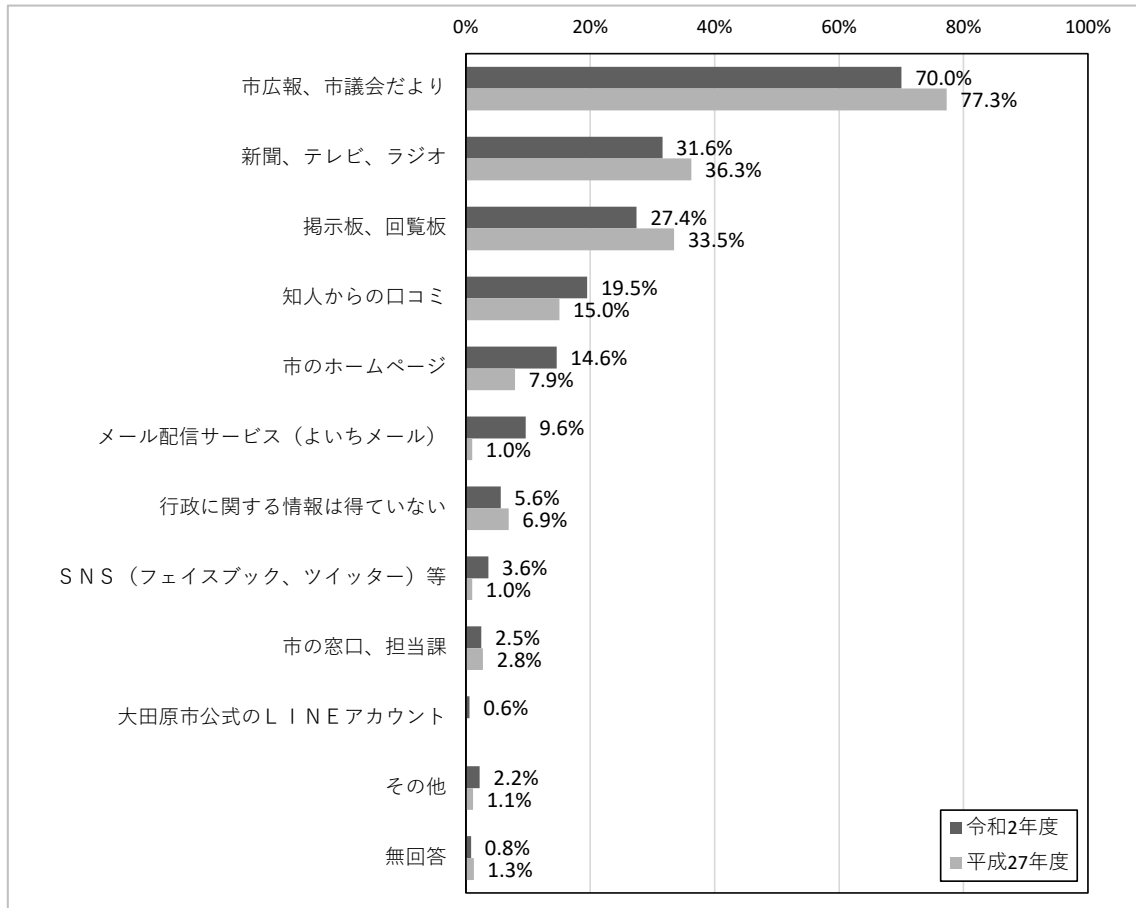
市の行政に関する情報の入手法について、「市広報、市議会だより」が70.0%と最も高くなっています。

次いで、「新聞、ラジオ、テレビ」が31.6%、「掲示板、回覧板」が27.4%、「知人からの口コミ」が19.5%、「市のホームページ」が14.6%と続いています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、概ね同様の結果になっていますが、「市のホームページ」や「メール配信サービス（よいちメール）」、「SNS（フェイスブック、ツイッター）等」の利用が増加傾向にあります。また、平成28年より開始した「大田原市公式のLINEアカウント」は0.6%と低くなっています。



## 【性別】

(単位：%)

	市広報、市議会だより	新聞、テレビ、ラジオ	市のホームページ	市の窓口、担当課	掲示板、回覧板	知人からの口コミ	SNS(フェイスブック、ツイッター)等	メール配信サービス(よいちメール)	大田原市公式のLINEアカウント	その他	行政に関する情報は得ていない	無回答
全体 (n=1,655)	70.0	31.6	14.6	2.5	27.4	19.5	3.6	9.6	0.6	2.2	5.6	0.8
男性 (n=717)	68.2	33.8	16.7	3.1	28.9	19.8	2.1	6.3	0.7	3.1	6.3	0.3
女性 (n=909)	71.8	29.9	13.4	2.0	26.1	19.3	4.8	12.4	0.6	1.5	5.3	1.0
その他 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	57.1	32.1	0.0	3.6	32.1	21.4	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	10.7

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	市広報、市議会だより	新聞、テレビ、ラジオ	市のホームページ	市の窓口、担当課	掲示板、回覧板	知人からの口コミ	SNS(フェイスブック、ツイッター)等	メール配信サービス(よいちメール)	大田原市公式のLINEアカウント	その他	行政に関する情報は得ていない	無回答
全体 (n=1,655)	70.0	31.6	14.6	2.5	27.4	19.5	3.6	9.6	0.6	2.2	5.6	0.8
18～19歳 (n=23)	26.1	47.8	8.7	0.0	17.4	17.4	34.8	4.3	0.0	0.0	17.4	0.0
20～24歳 (n=47)	29.8	27.7	17.0	0.0	12.8	40.4	12.8	6.4	2.1	10.6	23.4	0.0
25～29歳 (n=50)	32.0	32.0	16.0	2.0	18.0	26.0	18.0	12.0	0.0	4.0	18.0	2.0
30～34歳 (n=70)	31.4	24.3	24.3	4.3	18.6	31.4	12.9	17.1	0.0	5.7	17.1	0.0
35～39歳 (n=98)	56.1	15.3	22.4	5.1	25.5	29.6	8.2	21.4	0.0	3.1	7.1	0.0
40～44歳 (n=120)	63.3	30.0	26.7	1.7	19.2	20.0	5.8	23.3	0.8	0.8	1.7	0.0
45～49歳 (n=116)	63.8	25.9	25.9	1.7	24.1	19.0	3.4	17.2	0.9	2.6	4.3	0.9
50～54歳 (n=116)	59.5	30.2	25.0	5.2	28.4	19.8	0.9	12.1	1.7	0.9	4.3	2.6
55～59歳 (n=136)	72.1	30.9	14.7	0.7	30.1	22.1	3.7	10.3	0.0	2.2	4.4	0.0
60～64歳 (n=160)	83.1	31.3	13.1	4.4	30.0	16.9	1.3	7.5	1.3	2.5	2.5	0.0
65～69歳 (n=216)	84.3	35.6	10.2	0.9	32.4	13.4	0.5	7.4	0.5	1.9	2.8	0.5
70～74歳 (n=219)	84.9	32.4	8.2	2.3	34.2	14.6	0.0	3.7	0.5	0.9	3.7	0.9
75～79歳 (n=111)	80.2	42.3	7.2	0.0	29.7	18.9	0.0	1.8	0.0	0.9	5.4	0.0
80歳以上 (n=168)	81.5	37.5	3.0	4.2	26.8	16.7	0.0	1.2	0.6	2.4	4.8	1.8
無回答 (n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。



## 【居住地区別】

(単位：%)

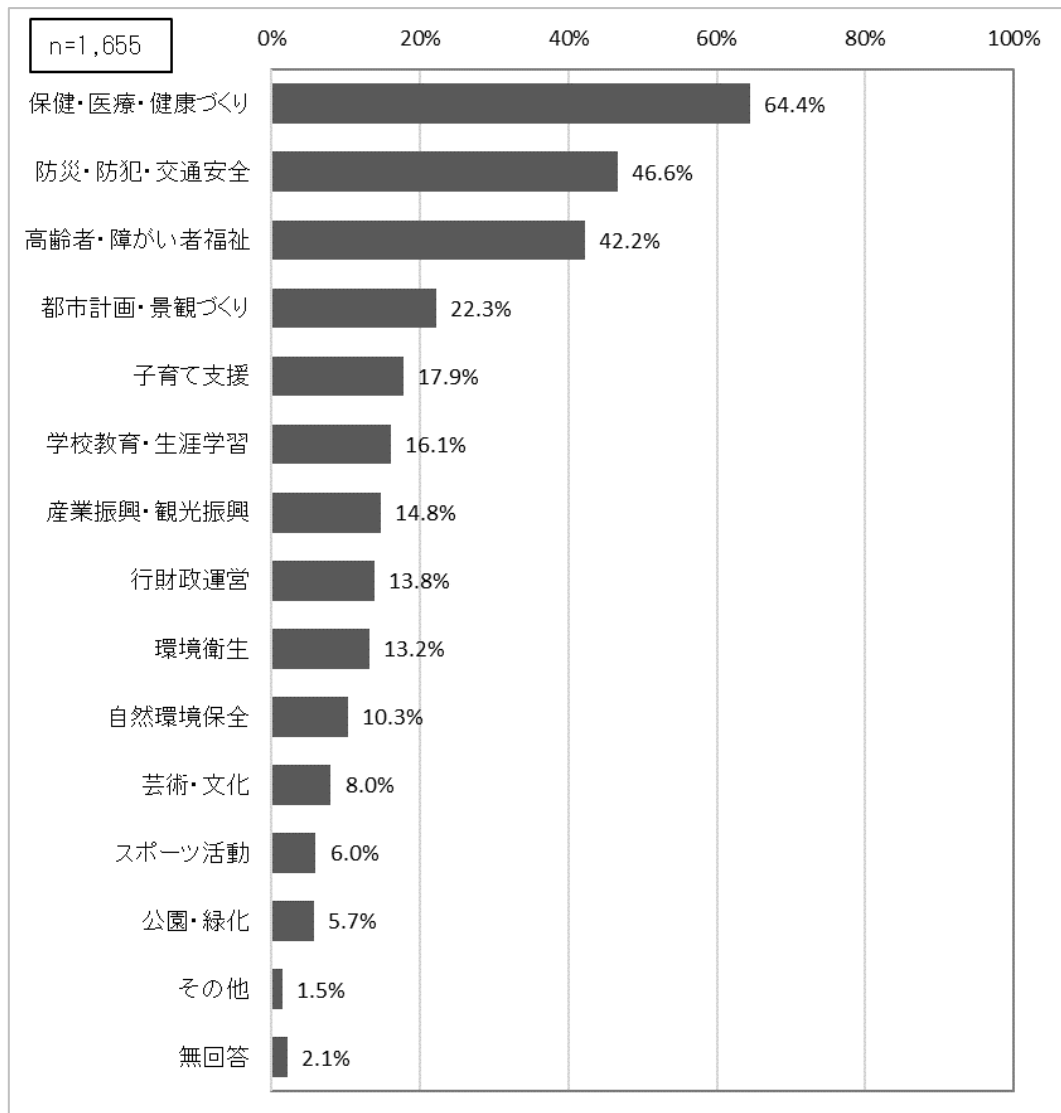
	市広報、市議会だより	新聞、テレビ、ラジオ	市のホームページ	市の窓口、担当課	掲示板、回覧板	知人からの口コミ	SNS(フェイスブック、ツイッター)等	メール配信サービス(よいちメール)	大田原市公式のLINEアカウント	その他	行政に関する情報は得ていない	無回答
全体 (n=1,655)	70.0	31.6	14.6	2.5	27.4	19.5	3.6	9.6	0.6	2.2	5.6	0.8
大田原地区 (n=740)	63.9	30.9	18.1	3.0	25.3	20.9	4.7	10.9	0.8	2.8	6.4	0.9
金田地区 (n=229)	75.5	33.6	14.0	2.2	22.7	18.8	2.2	10.5	0.4	2.6	3.9	0.0
親園地区 (n=92)	73.9	34.8	10.9	3.3	37.0	18.5	4.3	5.4	0.0	0.0	3.3	0.0
野崎地区 (n=148)	77.0	26.4	14.2	2.7	23.0	16.2	3.4	10.1	0.7	2.7	9.5	0.7
佐久山地区 (n=60)	86.7	31.7	16.7	1.7	28.3	15.0	0.0	6.7	0.0	1.7	1.7	0.0
湯津上地区 (n=105)	72.4	28.6	7.6	1.9	35.2	22.9	3.8	5.7	1.9	0.0	6.7	1.9
黒羽地区 (n=131)	71.0	29.0	9.9	3.1	35.9	22.9	1.5	9.2	0.0	1.5	4.6	1.5
川西地区 (n=64)	65.6	40.6	6.3	0.0	34.4	10.9	3.1	9.4	0.0	3.1	9.4	0.0
両郷地区 (n=42)	85.7	40.5	11.9	0.0	26.2	14.3	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
須賀川地区 (n=35)	74.3	37.1	11.4	0.0	37.1	20.0	5.7	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0
無回答 (n=9)	66.7	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

問 18 あなたは、市のどのような情報が主に必要ですか。  
 あてはまる番号に **3つ丸をつけてください。** (3LA)

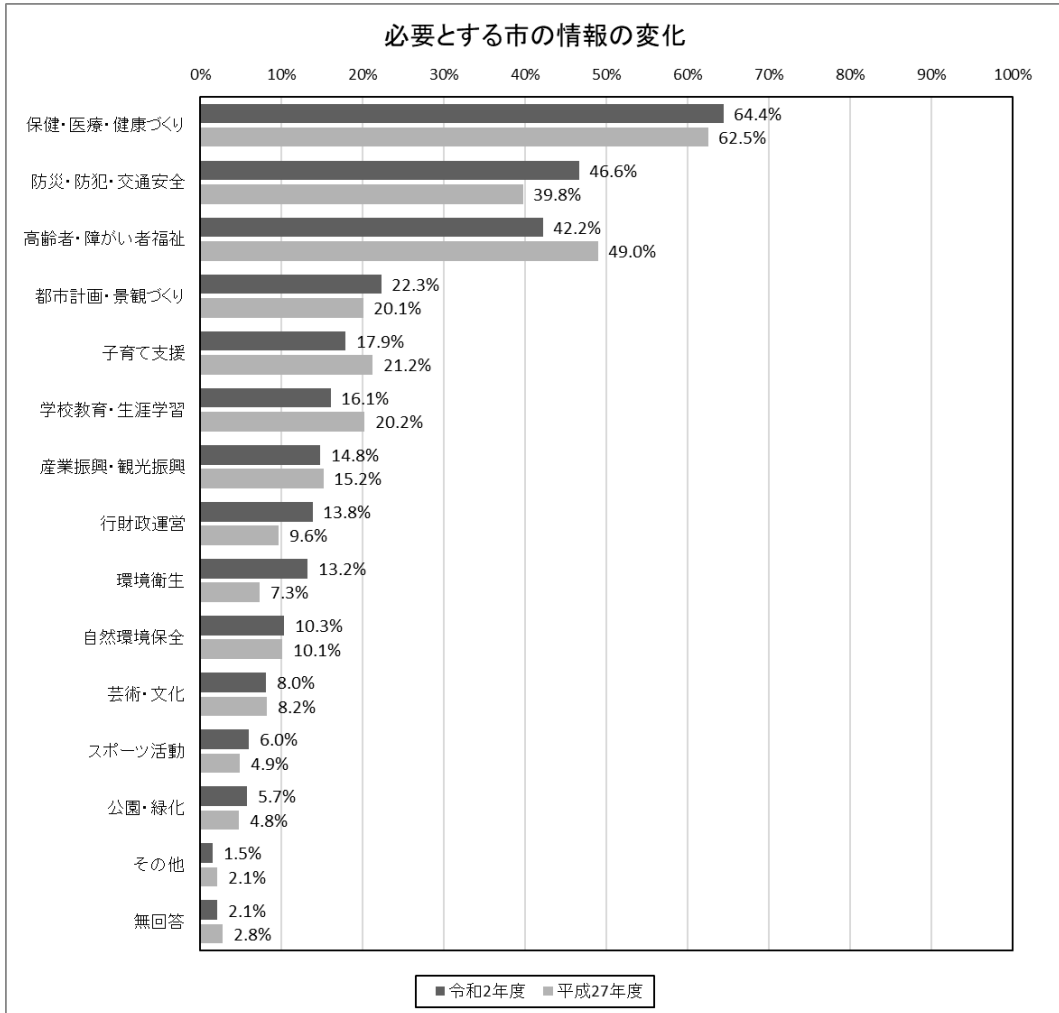
必要とする市の情報については、「保健・医療・健康づくり」が64.4%と最も高くなっています。

次いで、「防災・防犯・交通安全」が46.6%、「高齢者・障がい者福祉」が42.2%、「都市計画・景観づくり」が22.3%、「子育て支援」が17.9%、「学校教育・生涯学習」が16.1%と続いています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、「防災・防犯・交通安全」への回答割合の増加及び「高齢者・障がい者福祉」への回答割合の減少が比較的顕著となっています。



【性別】

(単位：%)

	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,655)	22.3	46.6	64.4	6.0	13.2	17.9	42.2	10.3	5.7	16.1	8.0	14.8	13.8	1.5	2.1
男性 (n=717)	31.7	47.8	57.6	7.3	10.9	14.8	38.8	13.2	5.3	12.7	7.4	18.8	17.6	2.2	1.7
女性 (n=909)	15.5	45.7	70.4	5.1	15.3	20.5	44.8	8.0	6.2	19.1	8.8	11.9	11.2	0.9	1.8
その他 (n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	0.0	46.4	46.4	3.6	7.1	14.3	42.9	10.7	3.6	3.6	0.0	7.1	3.6	3.6	25.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

【年齢別】

(単位：%)

	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,655)	22.3	46.6	64.4	6.0	13.2	17.9	42.2	10.3	5.7	16.1	8.0	14.8	13.8	1.5	2.1
18～19歳 (n=23)	17.4	52.2	56.5	4.3	13.0	13.0	21.7	17.4	13.0	34.8	26.1	17.4	4.3	0.0	0.0
20～24歳 (n=47)	27.7	40.4	63.8	19.1	12.8	14.9	12.8	6.4	10.6	17.0	10.6	17.0	10.6	2.1	6.4
25～29歳 (n=50)	32.0	50.0	54.0	6.0	8.0	34.0	12.0	2.0	6.0	14.0	14.0	32.0	20.0	4.0	0.0
30～34歳 (n=70)	25.7	51.4	55.7	4.3	4.3	52.9	12.9	10.0	12.9	31.4	7.1	15.7	7.1	2.9	0.0
35～39歳 (n=98)	23.5	32.7	57.1	10.2	12.2	56.1	8.2	3.1	10.2	40.8	10.2	16.3	11.2	2.0	1.0
40～44歳 (n=120)	17.5	55.0	53.3	5.0	8.3	52.5	17.5	2.5	4.2	39.2	5.0	15.8	14.2	0.0	1.7
45～49歳 (n=116)	26.7	49.1	61.2	7.8	7.8	30.2	24.1	2.6	4.3	34.5	3.4	17.2	19.0	3.4	0.0
50～54歳 (n=116)	24.1	52.6	63.8	10.3	13.8	9.5	47.4	7.8	6.9	14.7	11.2	18.1	12.1	1.7	0.9
55～59歳 (n=136)	28.7	49.3	69.1	5.9	19.9	11.8	36.8	8.8	3.7	11.8	11.0	19.9	16.9	0.7	0.0
60～64歳 (n=160)	26.9	44.4	65.6	4.4	19.4	6.9	45.0	13.8	5.0	10.6	10.0	15.6	21.3	0.6	0.6
65～69歳 (n=216)	20.4	49.5	70.4	6.0	17.1	7.4	52.3	13.0	5.6	7.4	7.9	12.0	15.3	0.9	1.4
70～74歳 (n=219)	22.8	47.5	68.5	5.0	12.3	4.6	59.8	16.9	4.6	6.8	8.2	12.3	11.9	0.9	2.3
75～79歳 (n=111)	12.6	45.0	64.0	1.8	10.8	3.6	67.6	19.8	4.5	5.4	1.8	10.8	6.3	2.7	8.1
80歳以上 (n=168)	14.9	38.1	70.2	3.0	13.1	6.5	70.8	10.1	4.2	4.2	5.4	7.1	12.5	1.8	4.2
無回答 (n=5)	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,655)	22.3	46.6	64.4	6.0	13.2	17.9	42.2	10.3	5.7	16.1	8.0	14.8	13.8	1.5	2.1
大田原地区 (n=740)	22.3	46.1	63.6	6.2	13.1	20.3	39.3	8.2	9.5	17.4	9.2	14.6	13.8	1.8	2.0
金田地区 (n=229)	25.8	43.2	64.6	6.1	13.5	15.7	44.5	9.6	3.1	16.2	5.7	17.0	11.8	1.3	3.9
親園地区 (n=92)	21.7	54.3	65.2	8.7	9.8	18.5	38.0	9.8	2.2	22.8	9.8	15.2	10.9	0.0	0.0
野崎地区 (n=148)	26.4	52.0	69.6	8.1	12.2	16.9	44.6	8.8	5.4	12.2	6.8	8.1	10.1	2.7	0.7
佐久山地区 (n=60)	21.7	53.3	75.0	10.0	18.3	10.0	45.0	13.3	1.7	15.0	8.3	10.0	6.7	0.0	1.7
湯津上地区 (n=105)	17.1	45.7	61.9	4.8	17.1	17.1	46.7	16.2	0.0	9.5	5.7	15.2	25.7	1.0	1.0
黒羽地区 (n=131)	19.1	46.6	61.1	3.8	14.5	12.2	45.0	11.5	3.1	13.7	9.2	20.6	19.1	0.8	2.3
川西地区 (n=64)	18.8	35.9	67.2	3.1	12.5	23.4	46.9	12.5	1.6	15.6	6.3	15.6	12.5	3.1	1.6
両郷地区 (n=42)	11.9	52.4	59.5	0.0	9.5	9.5	47.6	16.7	4.8	19.0	9.5	16.7	11.9	2.4	4.8
須賀川地区 (n=35)	34.3	45.7	60.0	2.9	8.6	20.0	45.7	25.7	0.0	14.3	5.7	17.1	14.3	0.0	0.0
無回答 (n=9)	11.1	33.3	55.6	0.0	11.1	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 大田原市の全般的な施策や事業等について

問 19 以下に示す分野ごとの施策について、どのように感じますか。次の項目（満足度・重要度）ごとに、あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。

### ■基本政策毎の結果

基本政策 1～基本政策 6 の 39 項目に対する「満足度」及び「重要度」の回答割合をグラフにして示しています。

### ■加重平均値の算出

重要度及び満足度については、基本政策 1～基本政策 6 の 39 項目に対する「満足度」及び「重要度」の加重平均値を算出しています。

「無回答」を除く「重要」・「満足」、「やや重要」・「まあ満足している」、「あまり重要でない」「やや不満である」及び「重要でない」・「不満である」の複数の回答を単純に平均するのではなく、それぞれの回答の重みを加味して平均した「加重平均値」によって、満足度・重要度を示しています。

※ここでは「満足」・「重要」に 2 ポイント、「やや重要」・「まあ満足している」に 1 ポイント、「あまり重要でない」・「やや不満である」に -1 ポイント、「重要でない」・「不満である」に -2 ポイントを与え、無回答を除く合計回答数で割った結果としていますが、仮に全員が「満足」・「重要」の場合は 2 ポイントとなり、「重要」・「満足」と「重要でない」・「不満である」がそれぞれ 50% の場合は 0 ポイントとなります。）

#### 《評価基準ごとの加重点数》

「重要度」の評価基準 (選択肢)	加重点数	「満足度」の評価基準 (選択肢)	加重点数
重要	2 ポイント	満足	2 ポイント
やや重要	1 ポイント	まあ満足している	1 ポイント
どちらともいえない	0 ポイント	どちらともいえない	0 ポイント
あまり重要でない	-1 ポイント	やや不満である	-1 ポイント
重要でない	-2 ポイント	不満である	-2 ポイント
無回答	除外	無回答	除外

#### 《加重平均の算式》

重要度	$\frac{[\text{「重要」} \times (2 \text{ ポイント})] + [\text{「やや重要」} \times (1 \text{ ポイント})] - [\text{「あまり重要でない」} \times (-1 \text{ ポイント})] + [\text{「重要でない」} \times (-2 \text{ ポイント})]}{\text{各項目回答者数 (除外の回答者は含まない、加点した選択肢の回答者数)}}$
満足度	$\frac{[\text{「満足」} \times (2 \text{ ポイント})] + [\text{「まあ満足している」} \times (1 \text{ ポイント})] - [\text{「やや不満である」} \times (-1 \text{ ポイント})] + [\text{「不満である」} \times (-2 \text{ ポイント})]}{\text{各項目回答者数 (除外の回答者は含まない、加点した選択肢の回答者数)}}$

注) それぞれの評価の回答者数に、2 ポイントから -2 ポイントの点数をかけた合計点数を、回答者数 (除外の選択肢回答者は含まない) で割った数値を加重平均値としています。

### ■前回調査結果との比較

基本政策 1～基本政策 6 の 39 項目を項目毎に、平成 27 年度に実施した前回調査結果と比較しています。

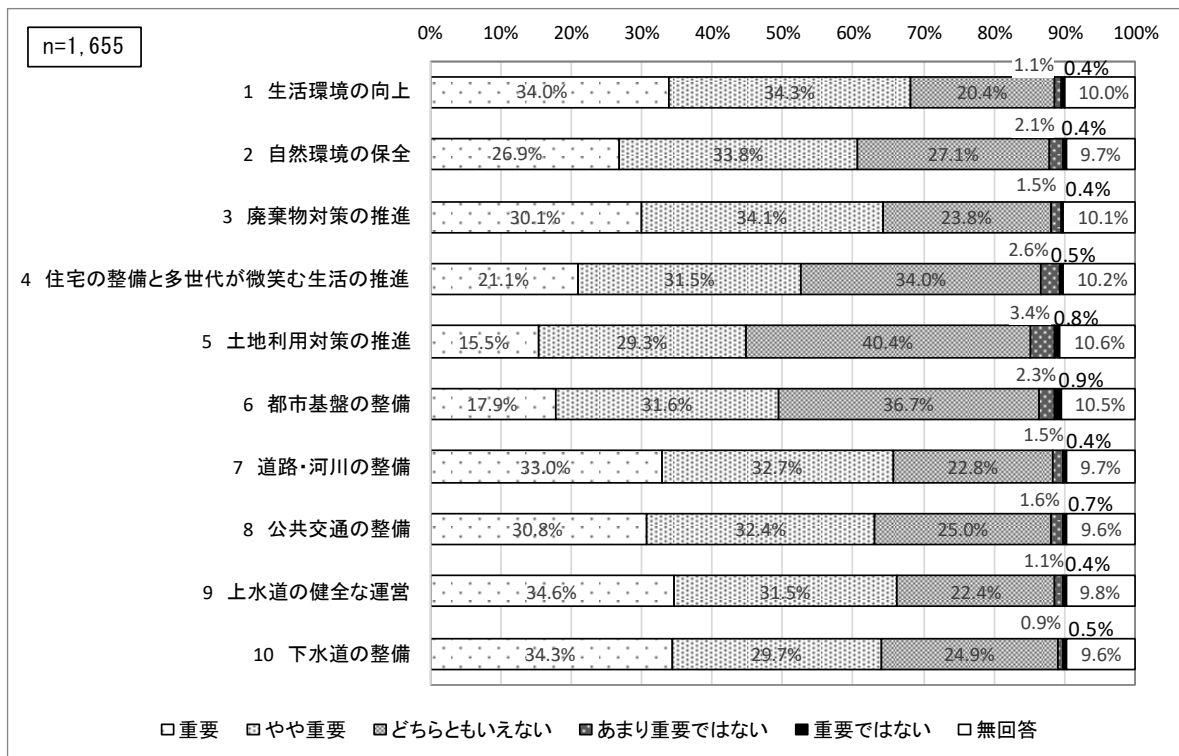
## 基本政策 1 豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり (SA)

基本政策 1 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、「重要」と思われることが最も多い施策は「1 生活環境の向上」の 68.3%となっています。

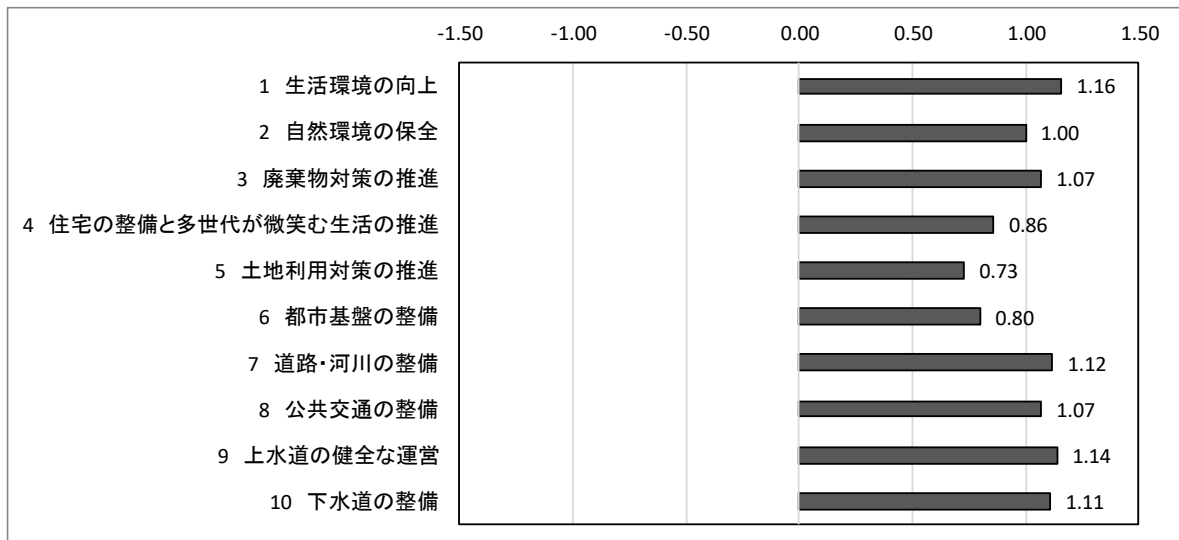
次いで、「9 上水道の健全な運営」の 66.1%、「7 道路・河川の整備」の 65.7%と続いています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」を合わせて、「重要でない」と思われることが最も多い施策は「5 土地利用対策の推進」の 4.2%で、次いで「6 都市基盤の整備」の 3.2%となっています。

### 重要度



### 〔加重平均〕

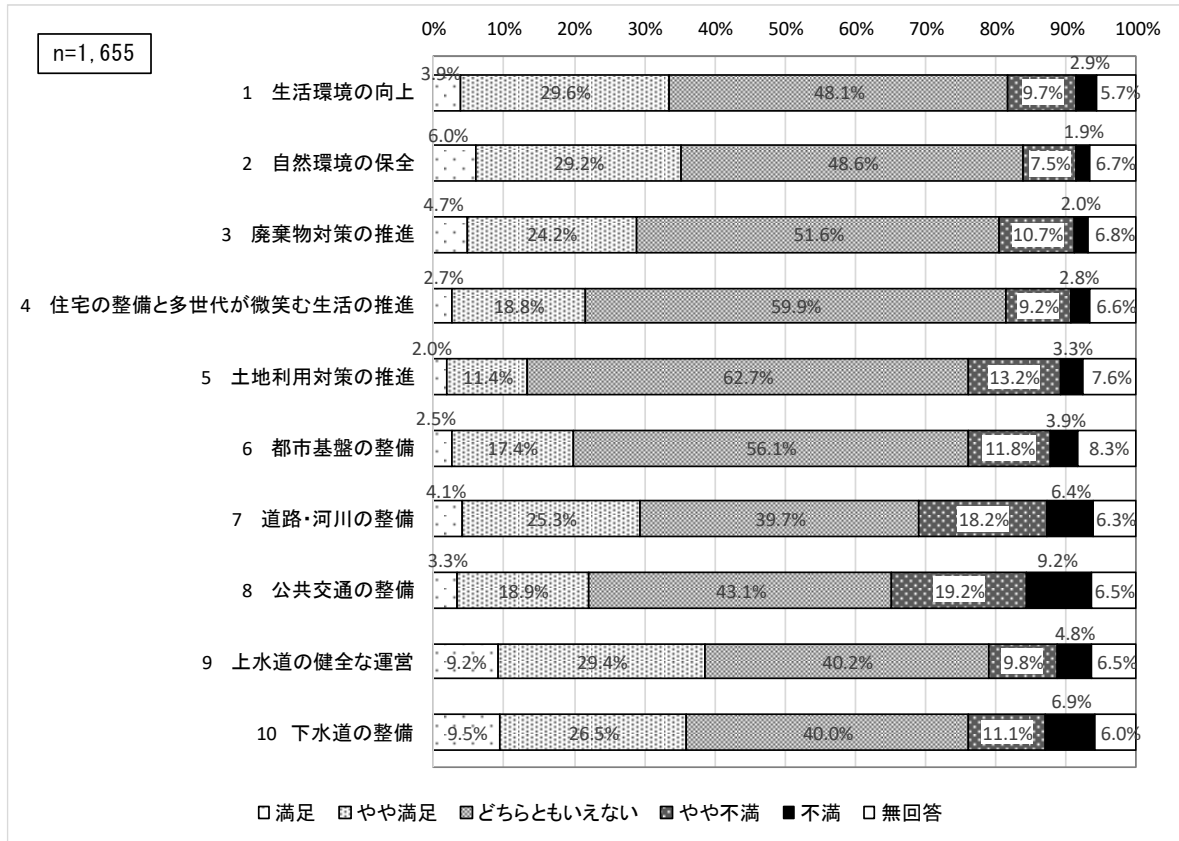


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「9 上水道の健全な運営」の38.6%となっています。

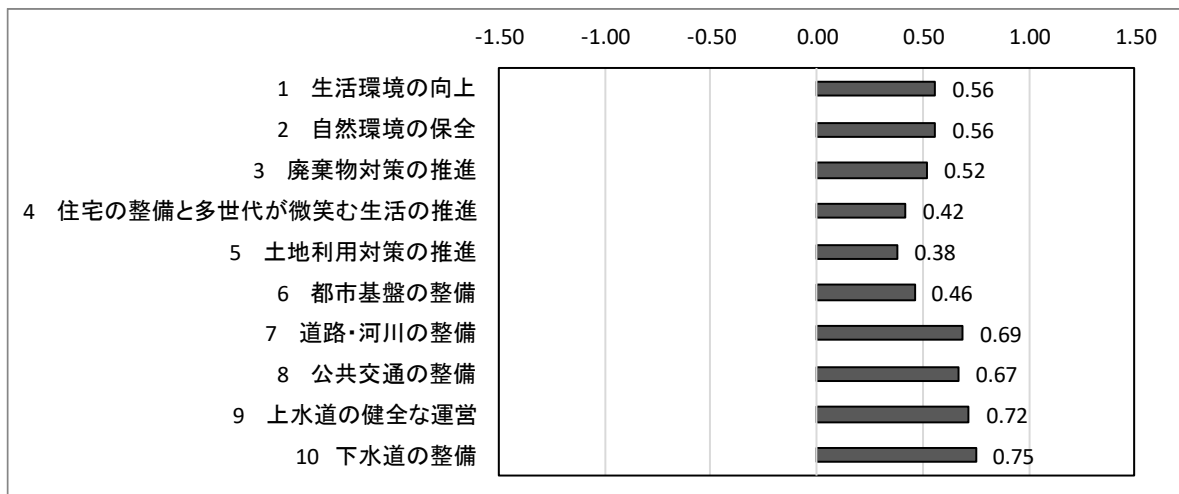
次いで「10 下水道の整備」の36.0%、「1 自然環境の保全」の35.2%、「1 生活環境の向上」の33.5%などとなっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「8 公共交通の整備」の28.4%で、次いで「7 道路・河川の整備」の24.6%となっています。

満足度



〔加重平均〕

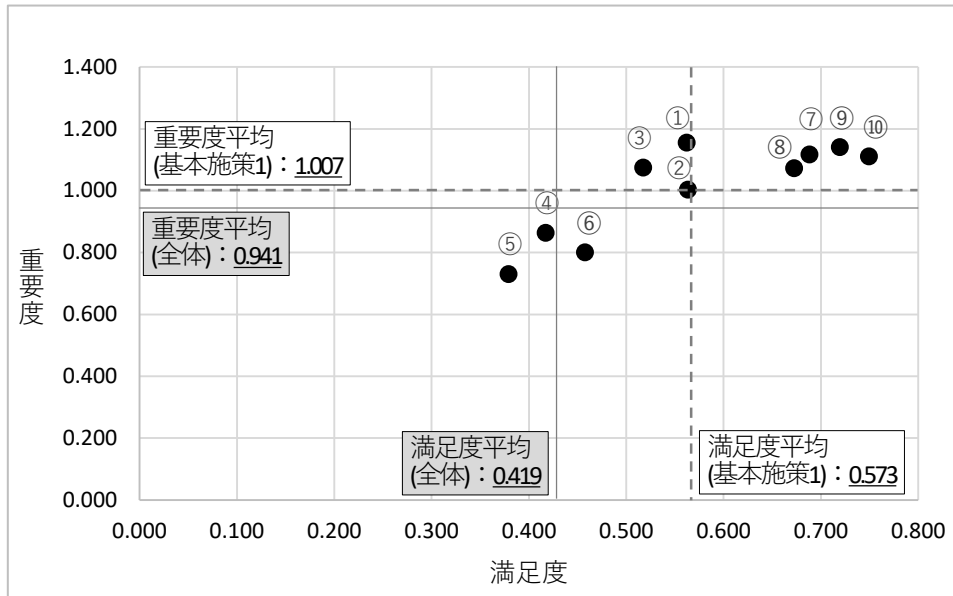




■ 基本施策 1 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 1 を比較すると、重要度が平均以上となっており、満足度が特に高くなっている。

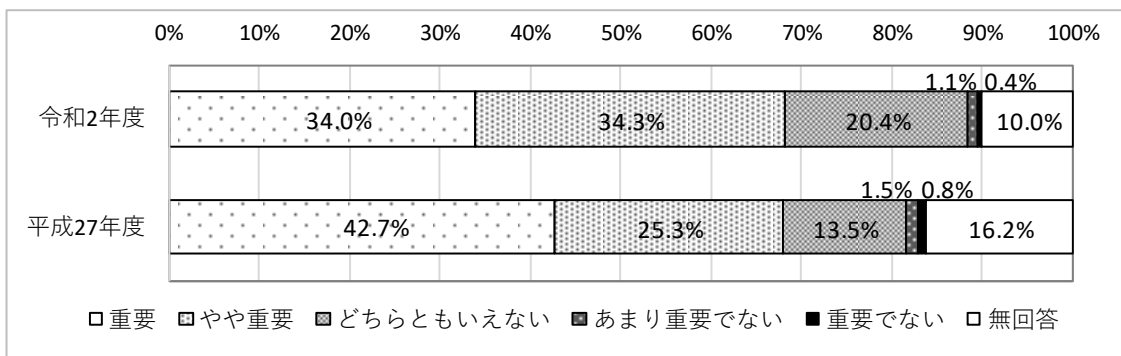
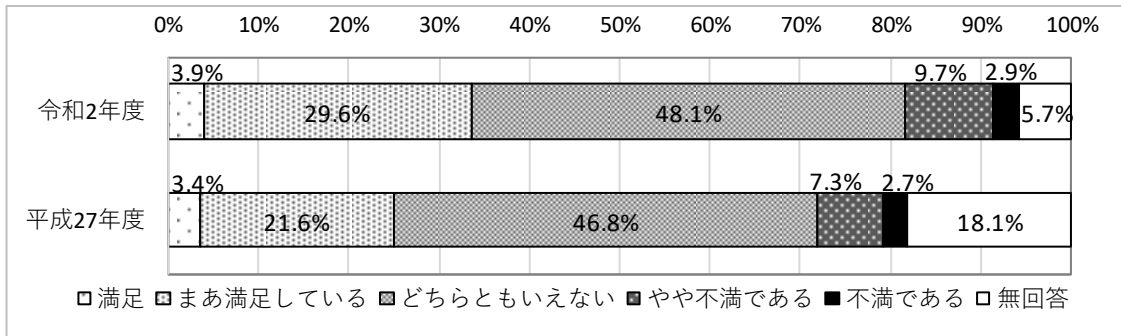
基本政策 1 における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「①生活環境の向上」と「③廃棄物対策の推進」は重要と感じている比率が多くなっているが、満足度が平均以下となっている。「④住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」、「⑤土地利用対策の推進」、「⑥都市基盤の整備」は、重要度と満足度がともに低くなっている。「⑦道路・河川の整備」、「⑧公共交通の整備」、「⑨上水道の健全な運営」、「⑩下水道の整備」は重要度と満足度がともに高くなっている。



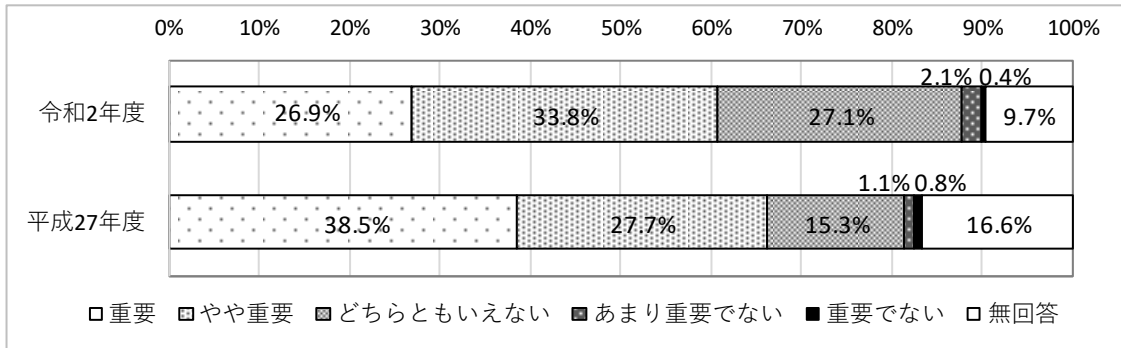
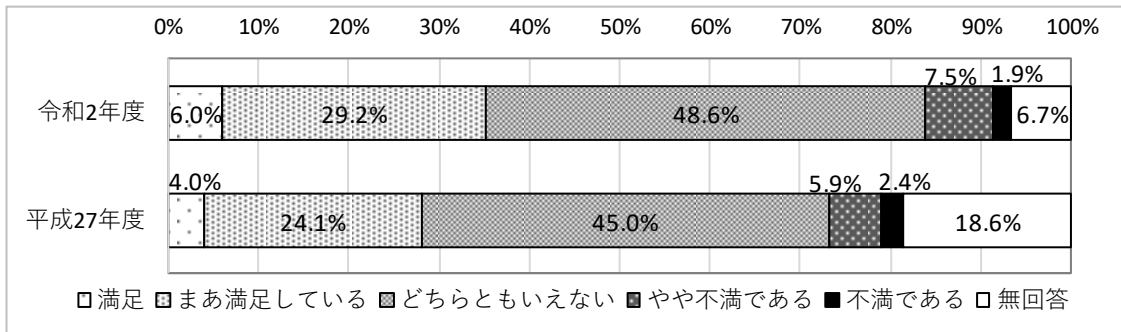
基本政策1	
①	生活環境の向上
②	自然環境の保全
③	廃棄物対策の推進
④	住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進
⑤	土地利用対策の推進
⑥	都市基盤の整備
⑦	道路・河川の整備
⑧	公共交通の整備
⑨	上水道の健全な運営
⑩	下水道の整備

〔前回調査結果との比較〕

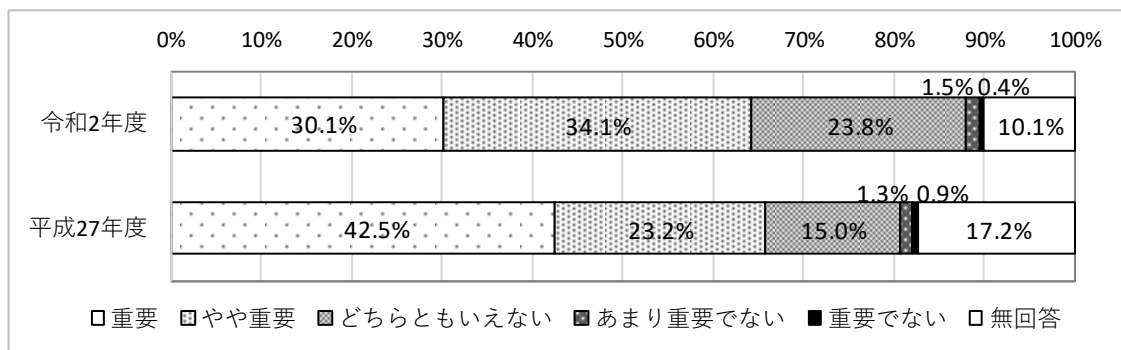
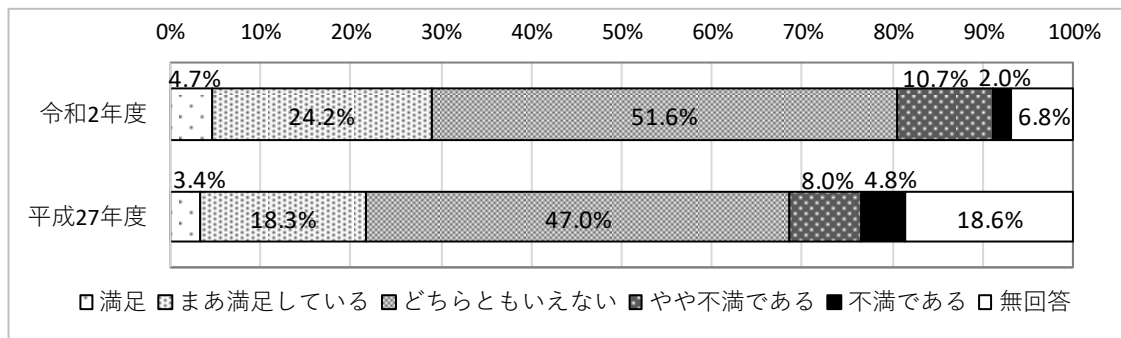
1 生活環境の向上



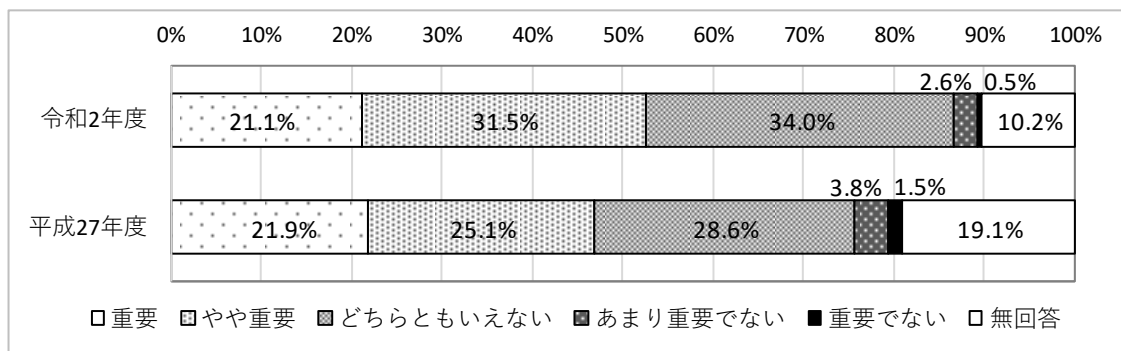
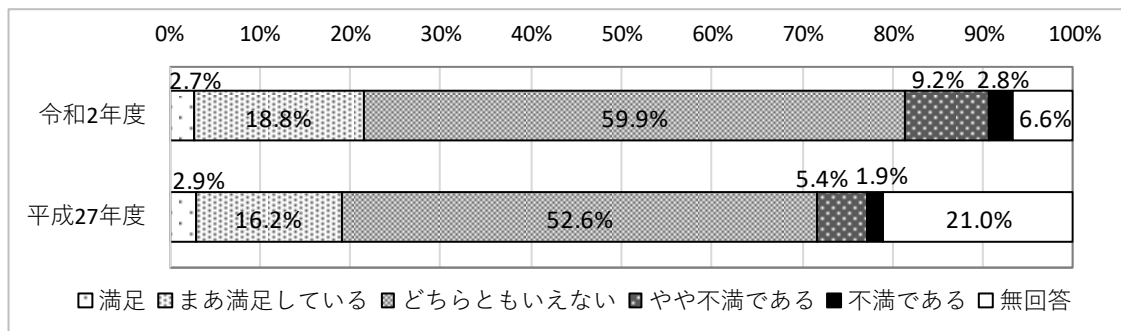
2 自然環境の保全



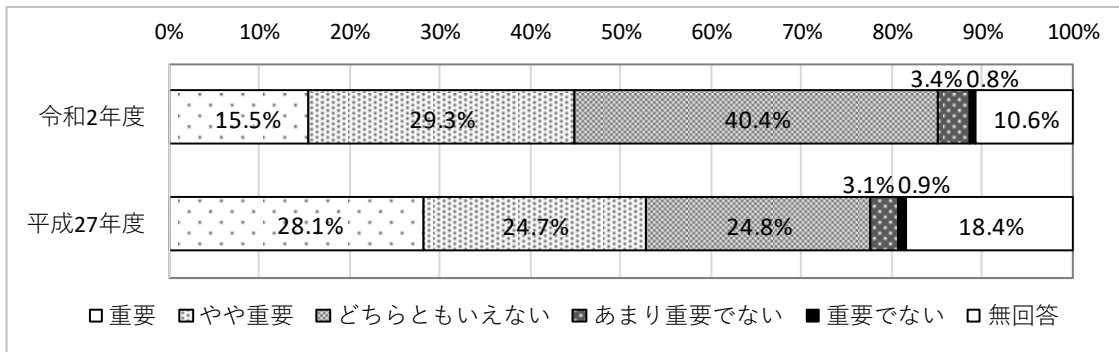
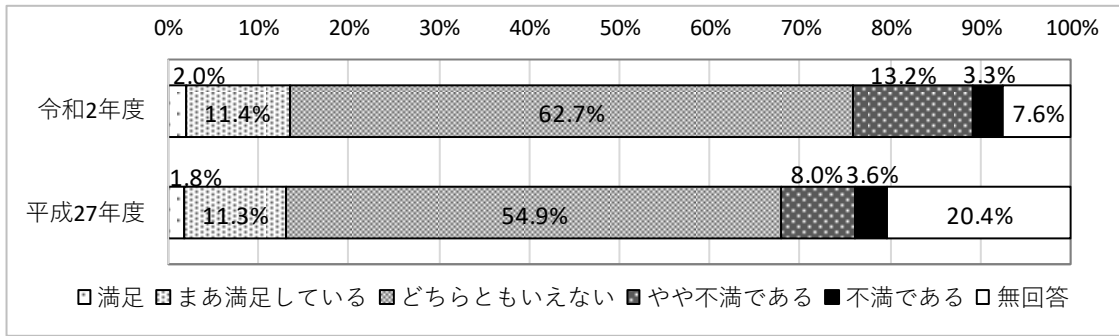
### 3 廃棄物対策の推進



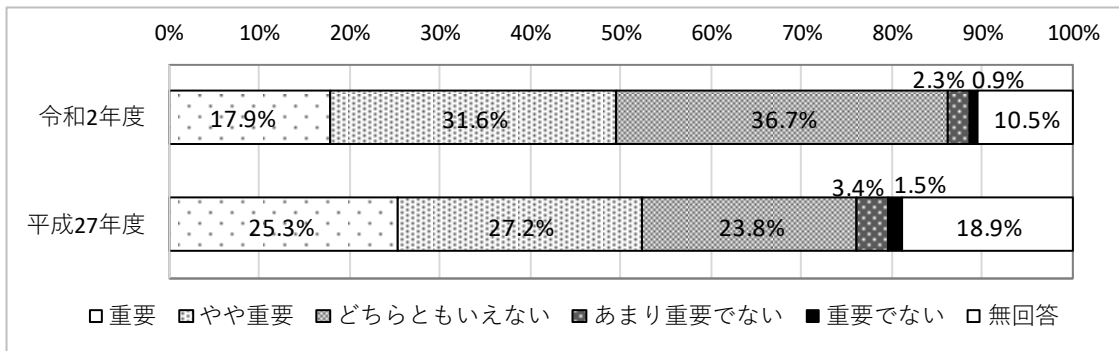
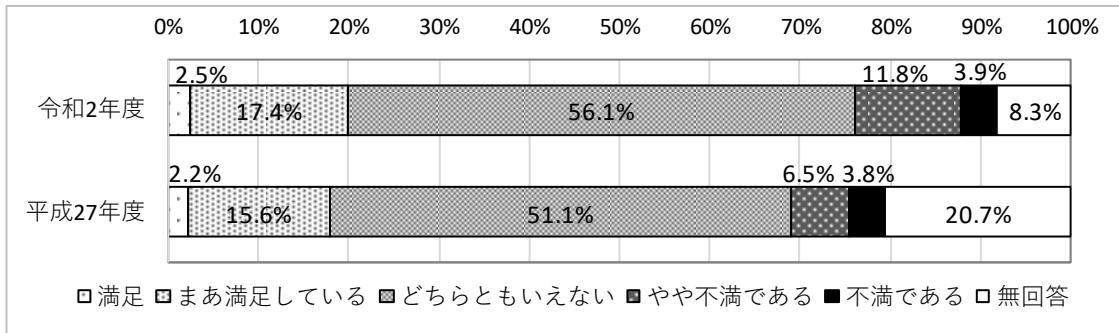
### 4 住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進



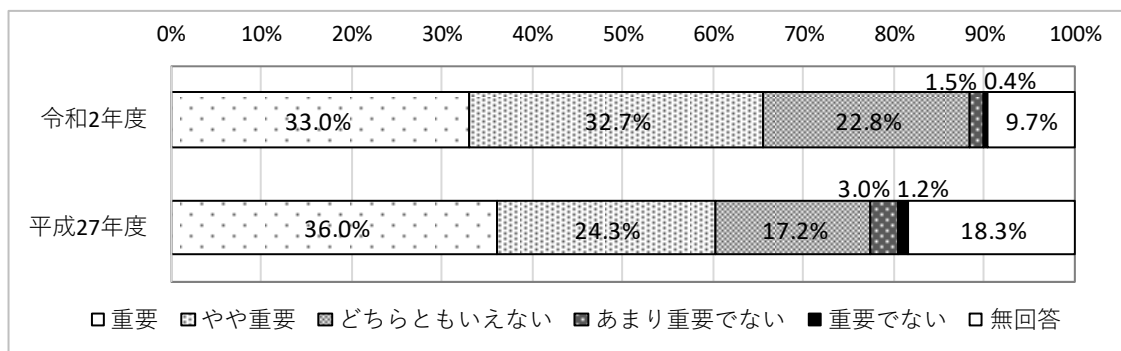
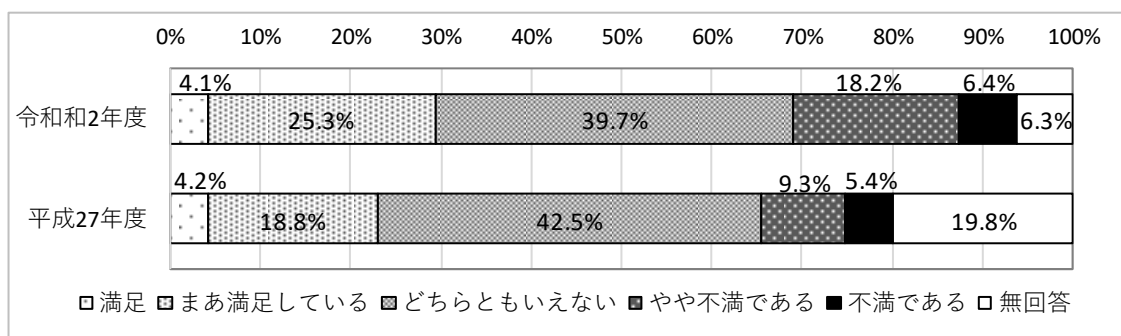
## 5 土地利用対策の推進



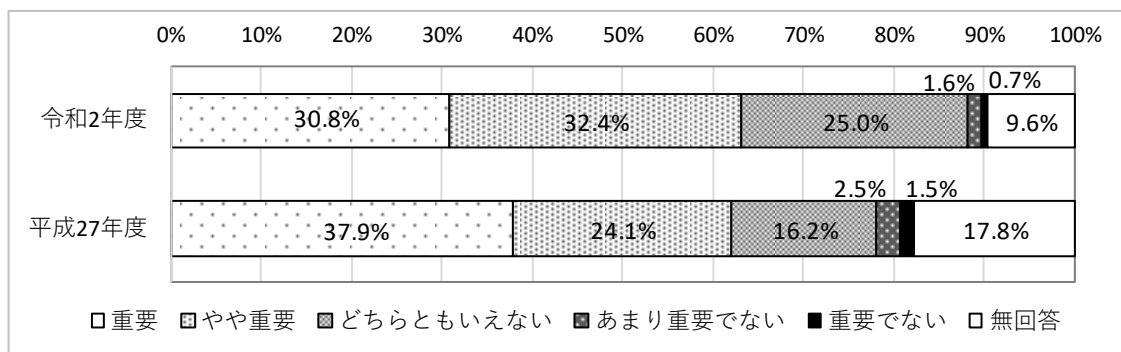
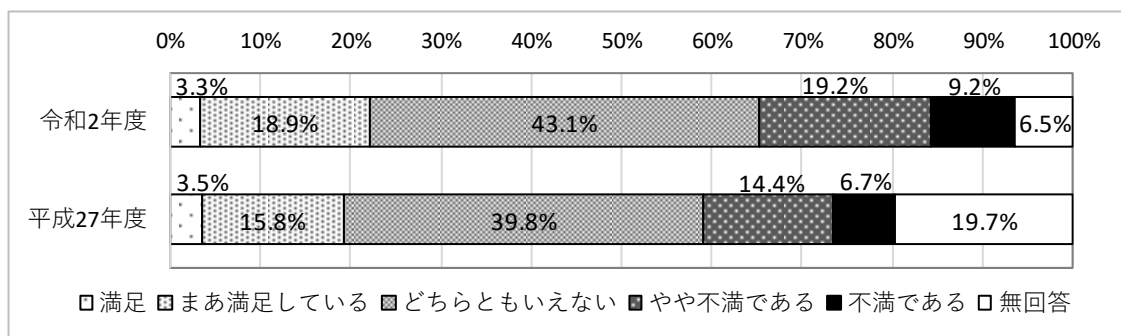
## 6 都市基盤の整備



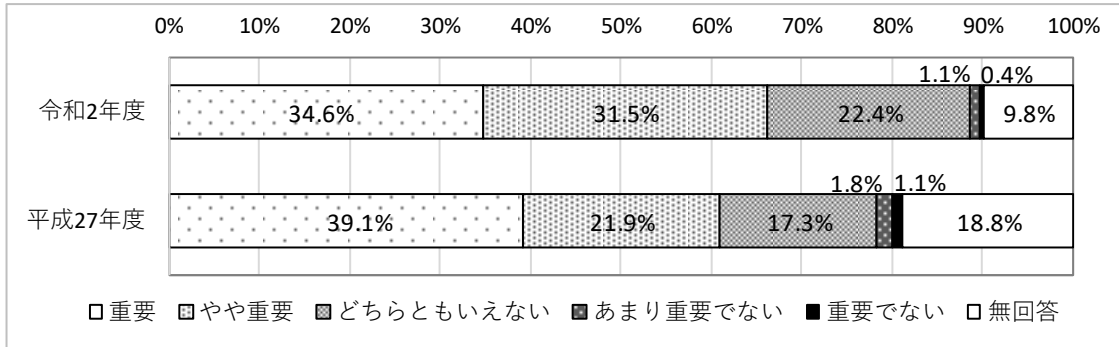
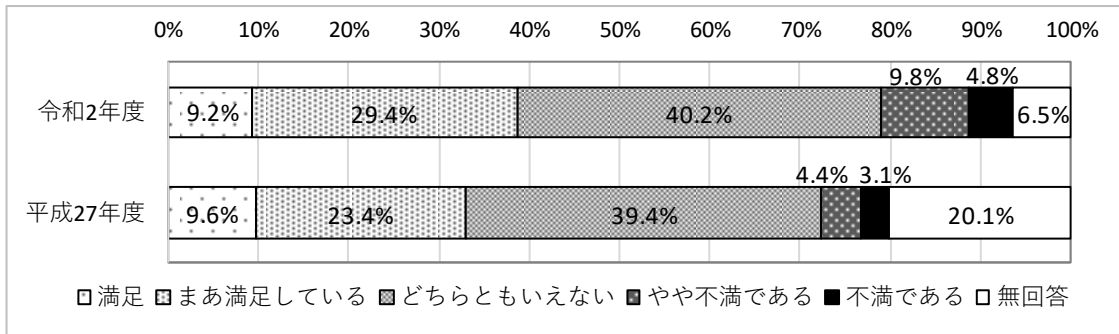
## 7 道路・河川の整備



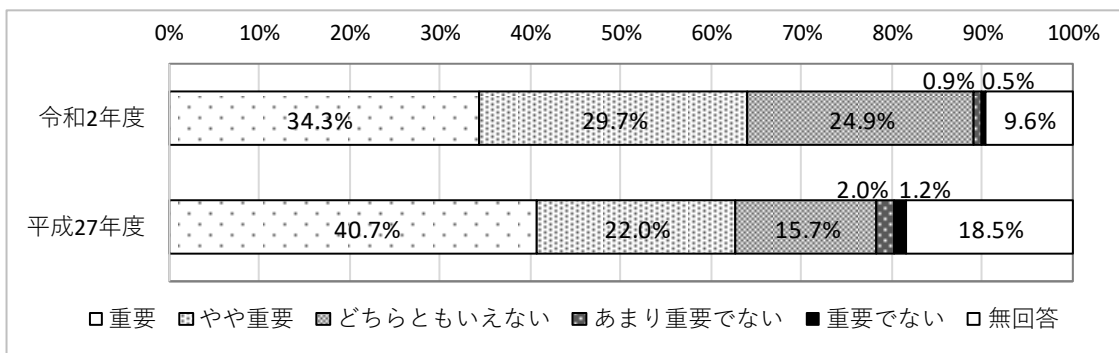
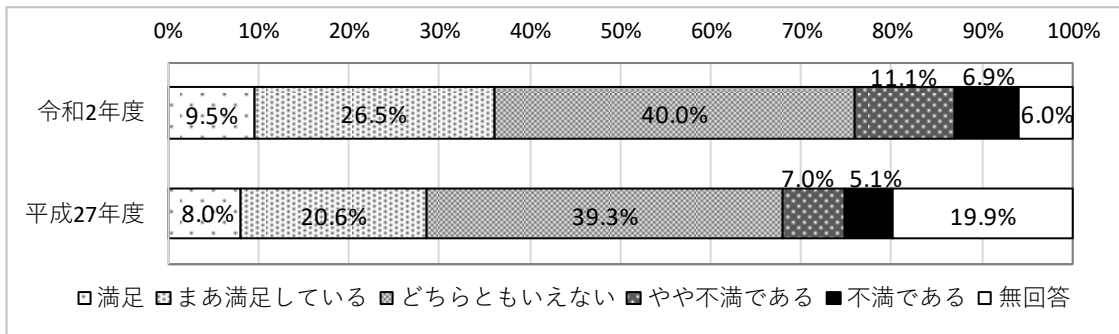
## 8 公共交通の整備



## 9 上水道の健全な運営



## 10 下水道の整備



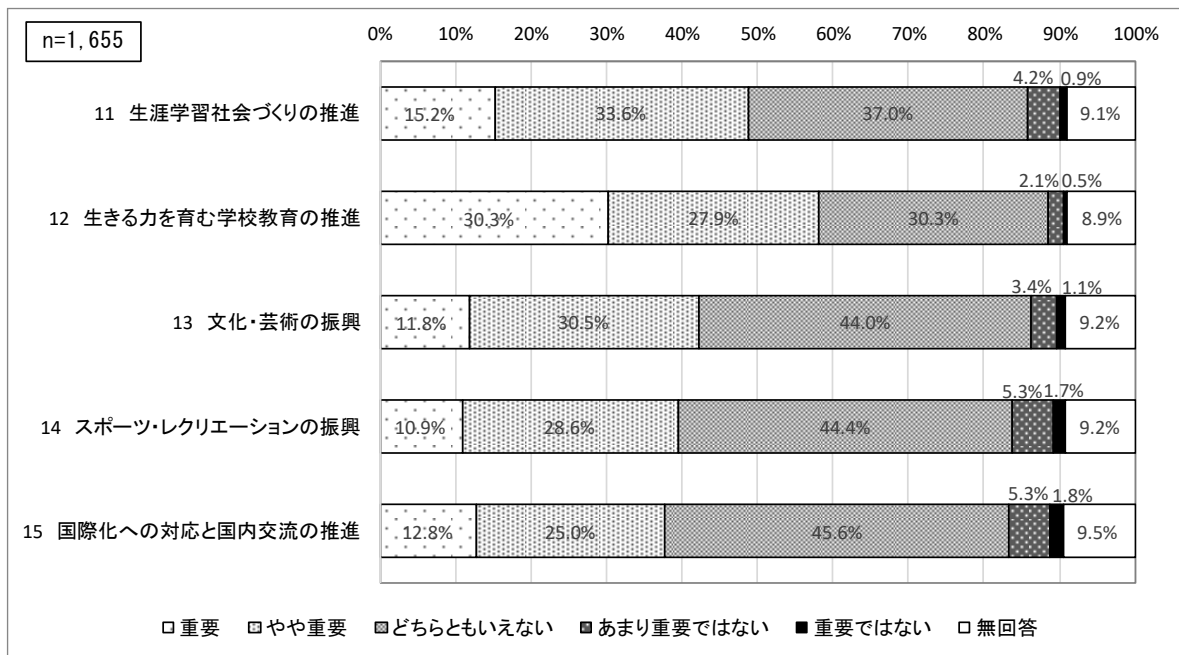
## 基本政策 2 歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり (SA)

基本政策 2 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、重要と思われることが最も多い施策は「12 生きる力を育む学校教育の推進」の 58.2%となっています。

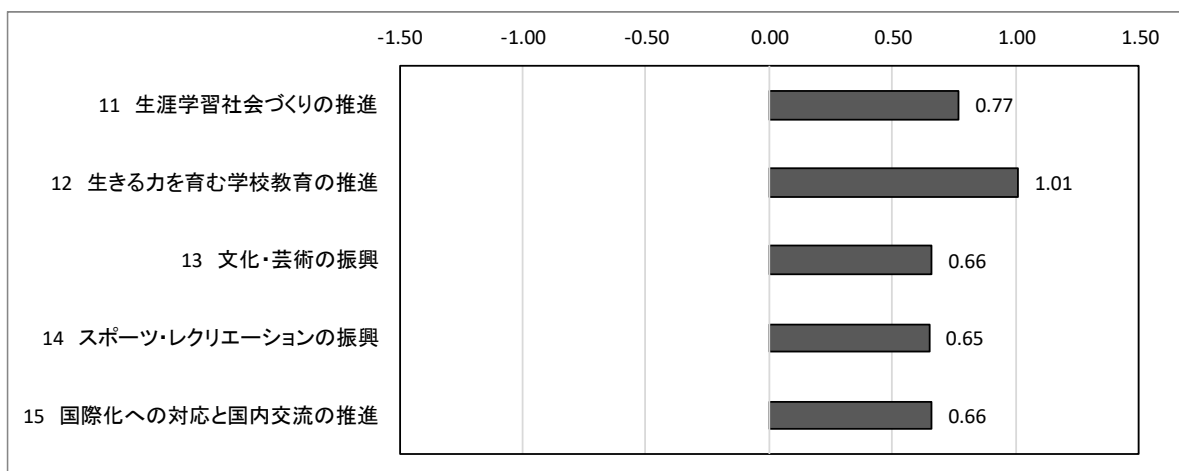
次いで、「11 生涯学習社会づくりの推進」の 48.8%、「13 文化・芸術の振興」の 42.3%となっています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」をあわせて、重要でないと思われることが最も多い施策は「15 国際化への対応と国内交流の推進」の 7.1%で、次いで「14 スポーツ・レクリエーションの振興」の 7.0%となっています。

### 重要度



### 〔加重平均〕

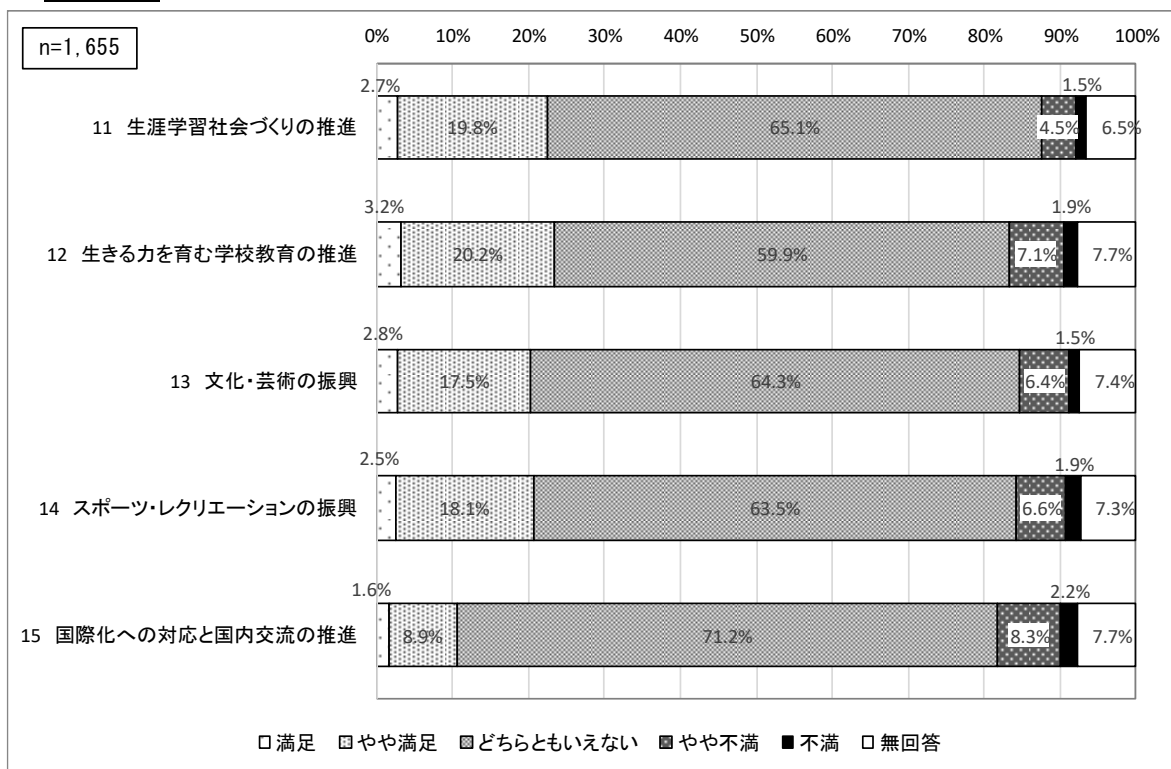


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「12 生きる力を育む学校教育の推進」の23.4%となっています。

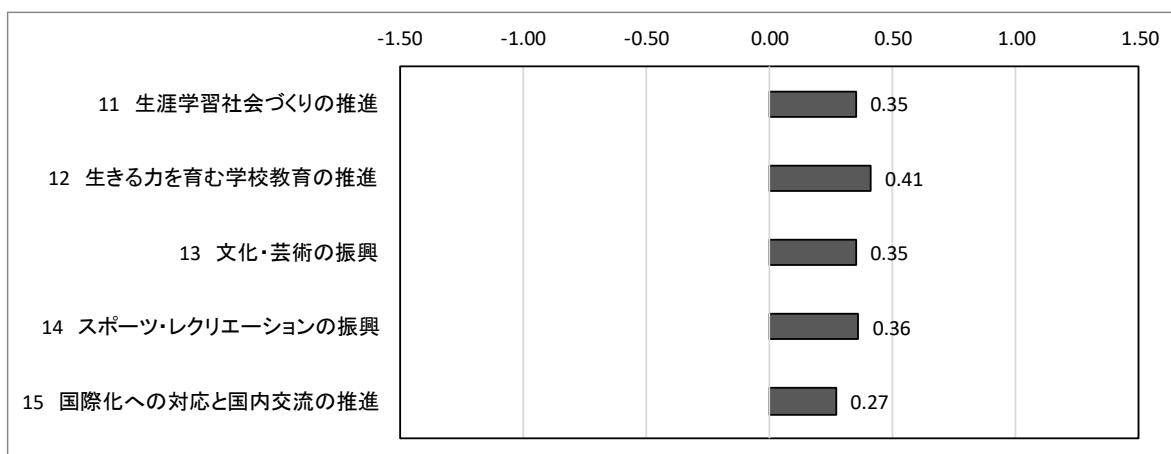
次いで、「11 生涯学習社会づくりの推進」の22.5%、「14 スポーツ・レクリエーションの振興」の20.6%となっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「15 国際化への対応と国内交流の推進」の10.5%で、次いで、「12 生きる力を育む学校教育」の9.0%、「14 スポーツ・レクリエーションの振興」の8.5%となっています。

満足度



〔加重平均〕

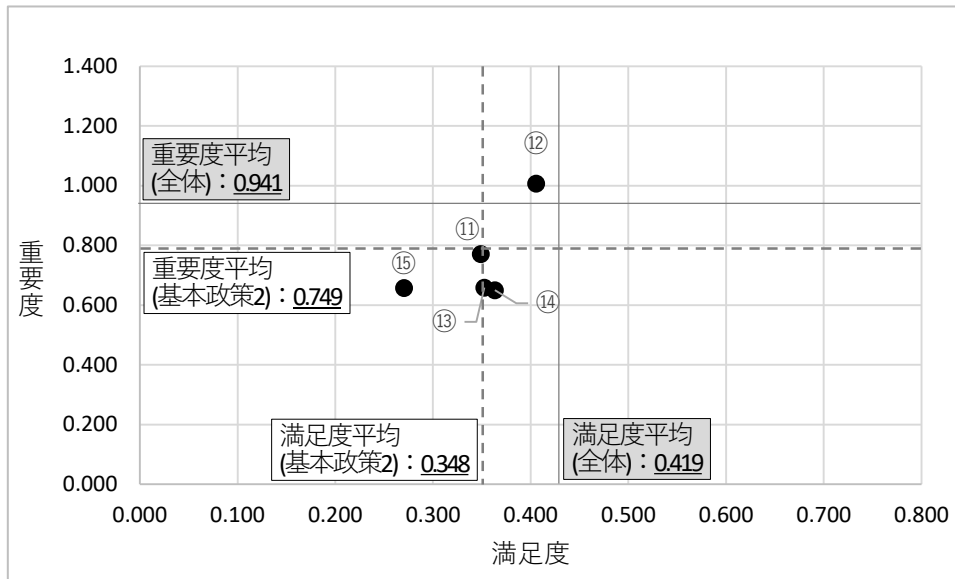




■ 基本施策 2 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 2 を比較すると、重要度と満足度はともに低くなっている。

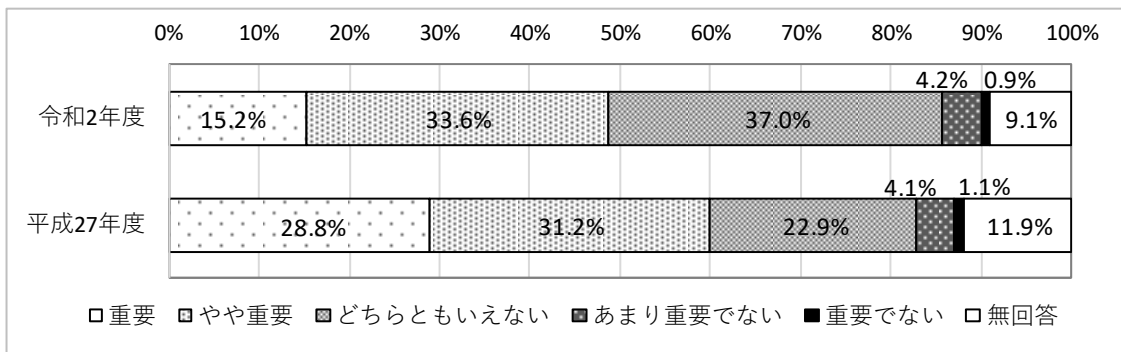
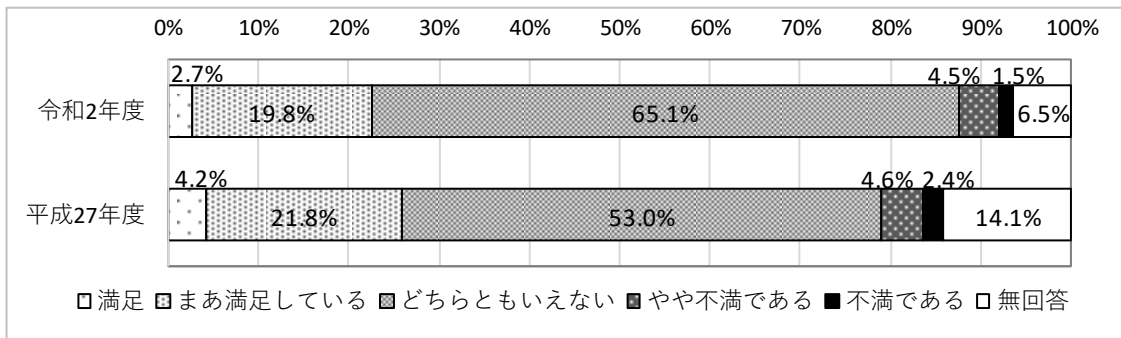
基本政策 2 における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「⑫生きる力を育む学校教育の推進」は重要度と満足度ともに平均以上となっている。「⑮国際化への対応と国内交流の推進」は重要度と満足度ともに平均よりも低くなっている。「⑪生涯学習社会づくりの推進」、「⑬文化・芸術の振興」、「⑭スポーツ・レクリエーションの振興」は重要度と満足度は平均となっている。



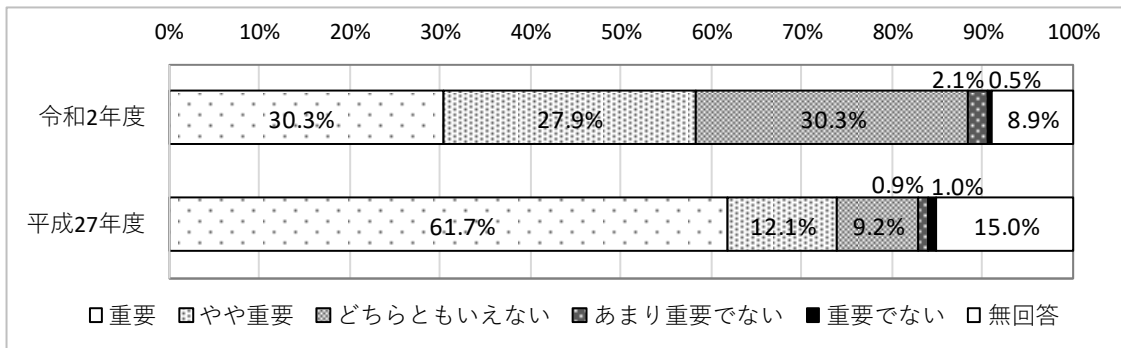
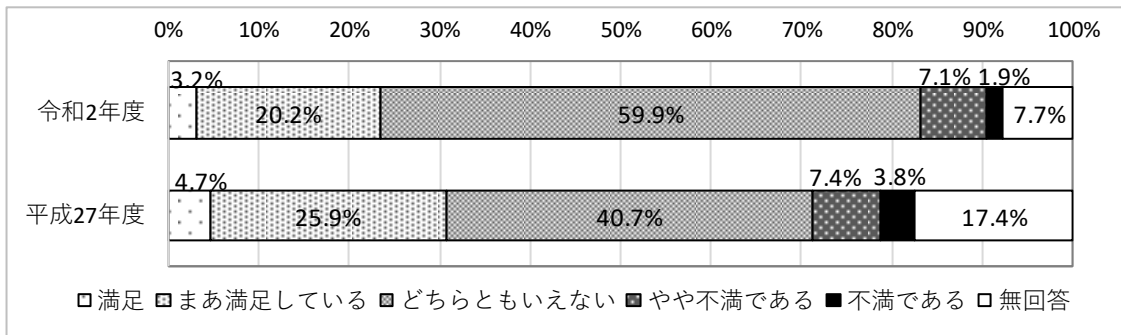
基本政策2	
⑪	生涯学習社会づくりの推進
⑫	生きる力を育む学校教育の推進
⑬	文化・芸術の振興
⑭	スポーツ・レクリエーションの振興
⑮	国際化への対応と国内交流の推進

〔前回調査結果との比較〕

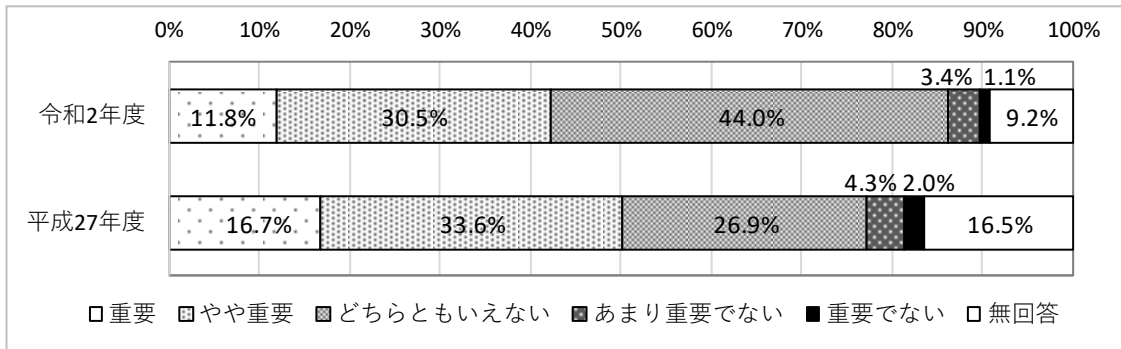
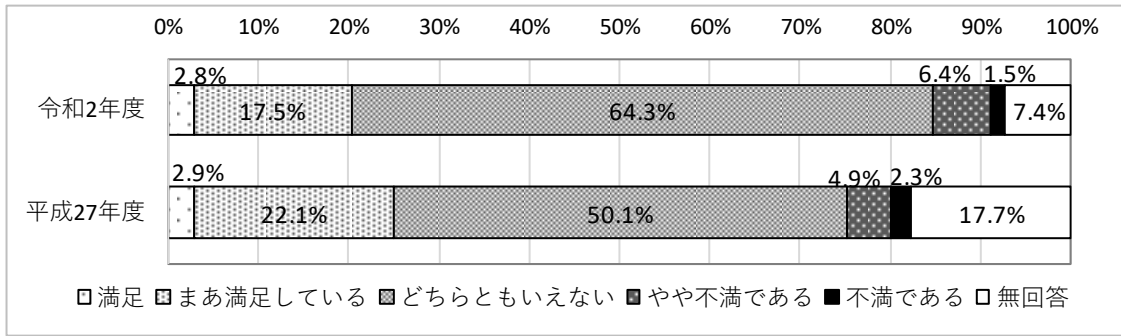
11 生涯学習社会づくりの推進



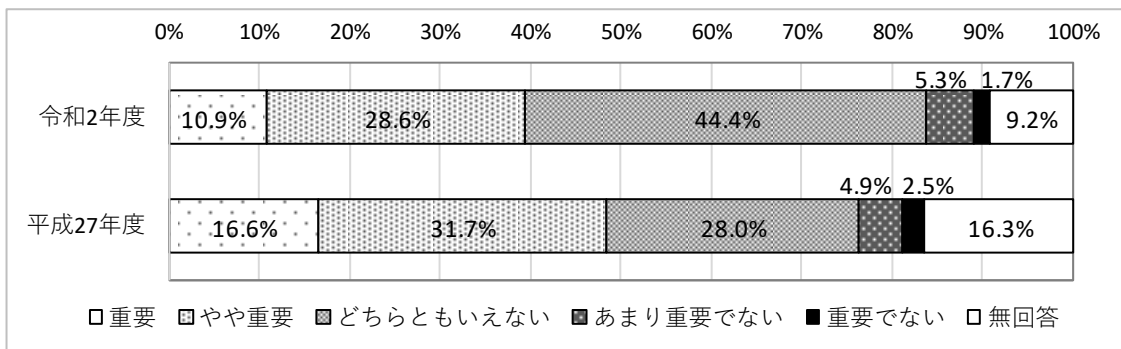
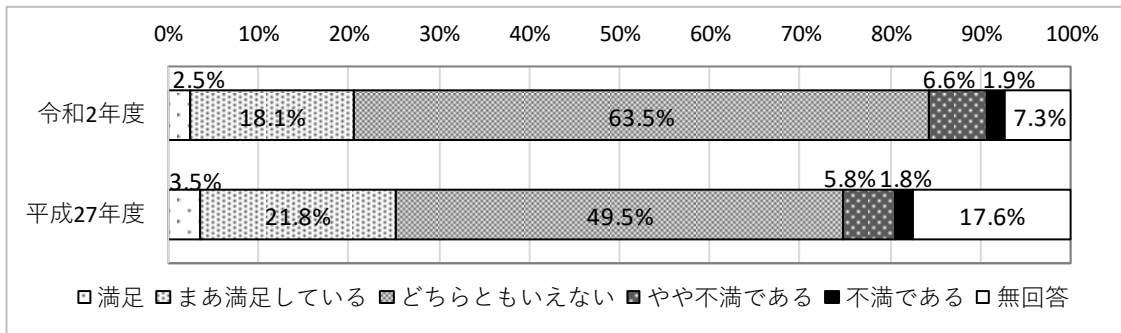
12 生きる力を育む学校教育の推進



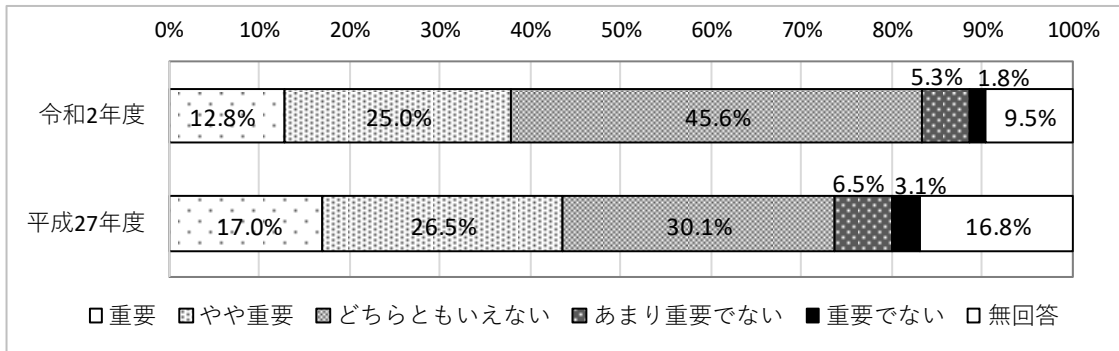
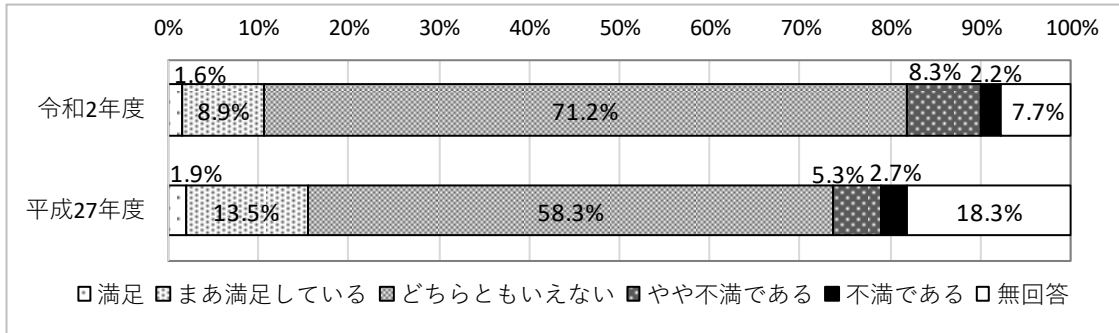
### 13 文化・芸術の振興



### 14 スポーツ・レクリエーションの振興



## 15 国際化への対応と国内交流の推進



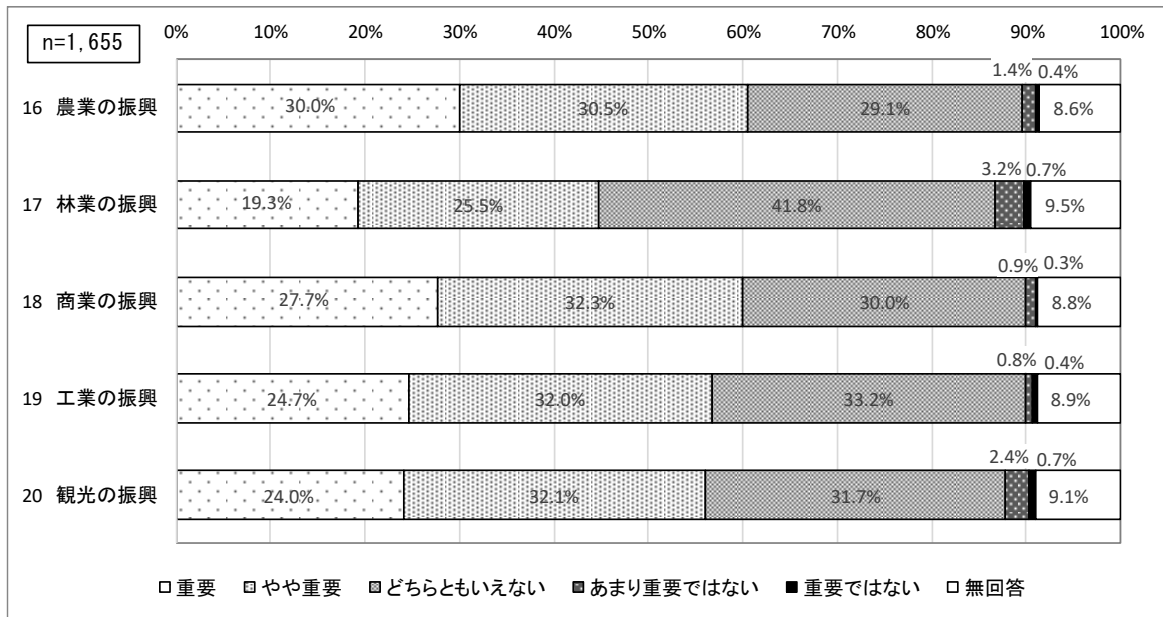
基本政策 3 次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり (SA)

基本政策 3 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、重要と思われることが最も多い施策は「16 農業の振興」の 60.5%となっています。

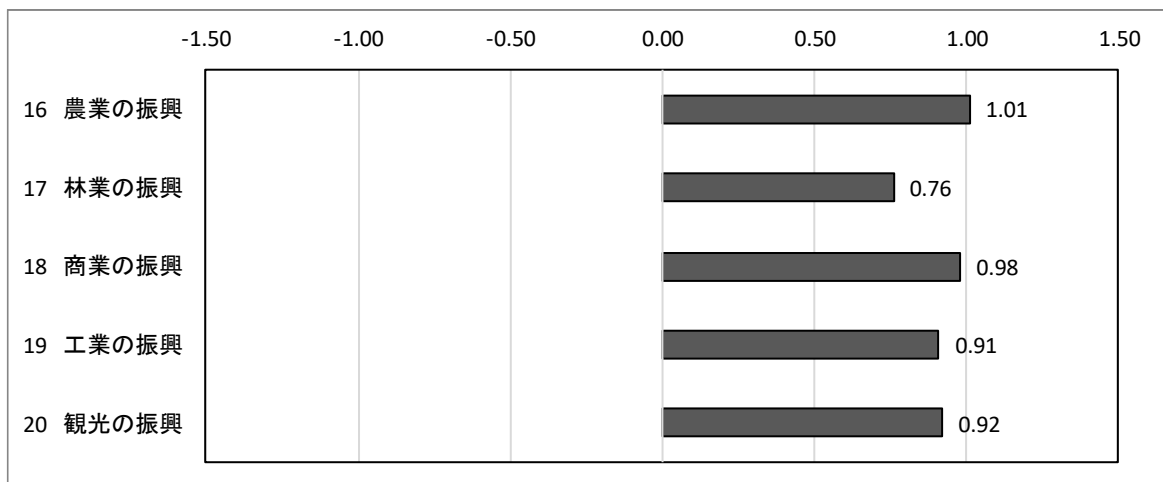
次いで、「18 商業の振興」の 60.0%、「19 工業の振興」の 56.7%となっています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」をあわせて、重要でないと思われることが最も多い施策は「17 林業の振興」の 3.9%で、次いで「20 観光の振興」の 3.1%となっています。

重要度



〔加重平均〕

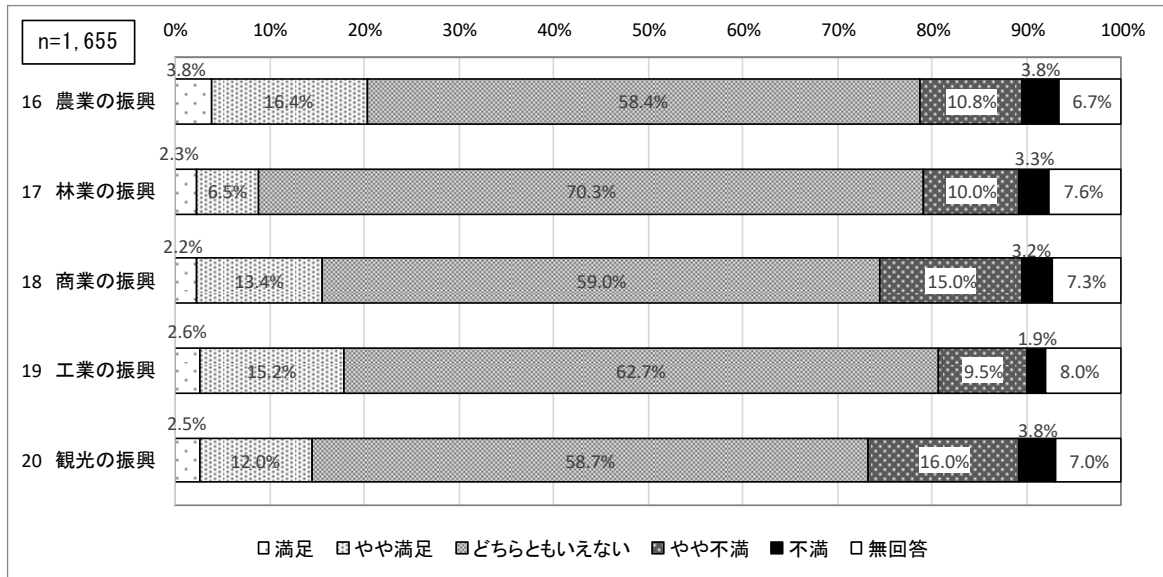


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「16 農業の振興」の20.2%となっています。

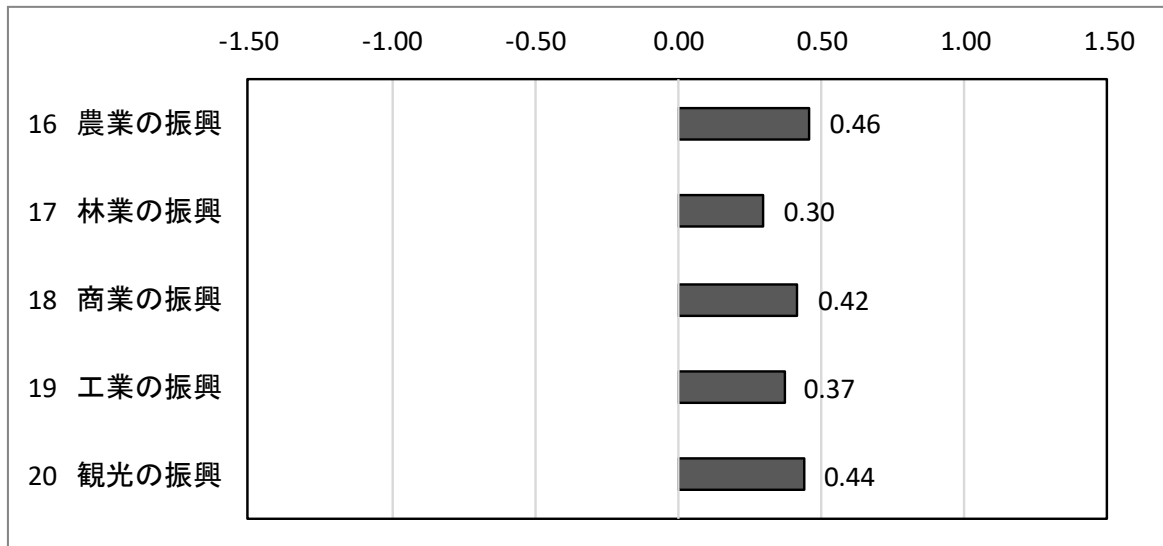
次いで、「19 工業の振興」の17.8%、「18 商業の振興」の15.6%となっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「20 観光の振興」の19.8%で、次いで「18 商業の振興」の18.2%、「16 農業の振興」の14.6%となっています。

満足度



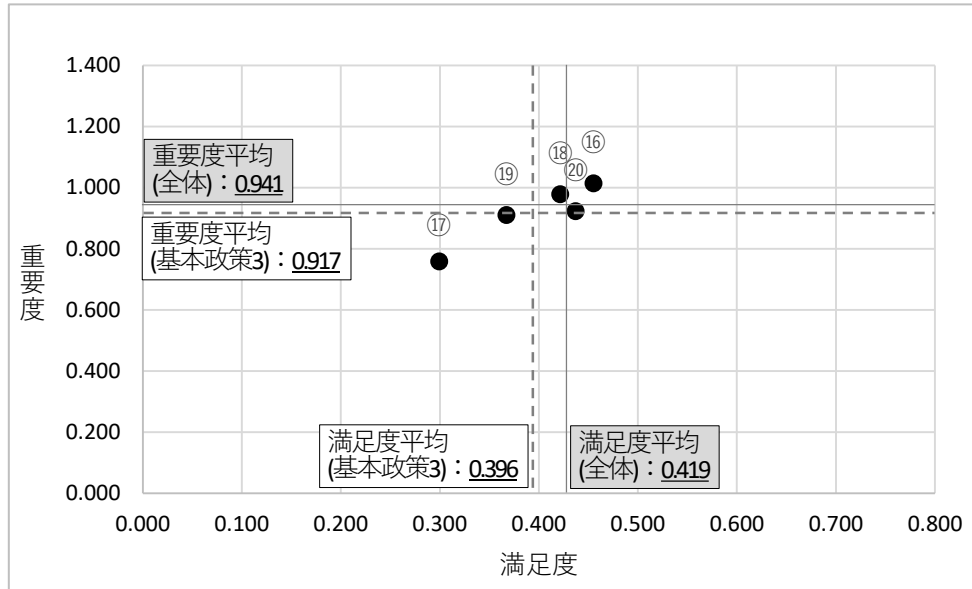
〔加重平均〕



■ 基本施策3の重要度・満足度の分布

全体と基本政策3を比較すると、重要度と満足度がやや低い傾向にある。

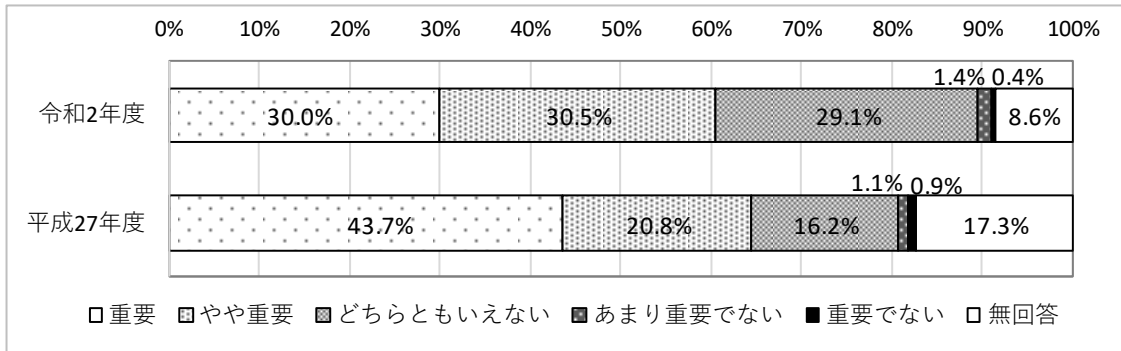
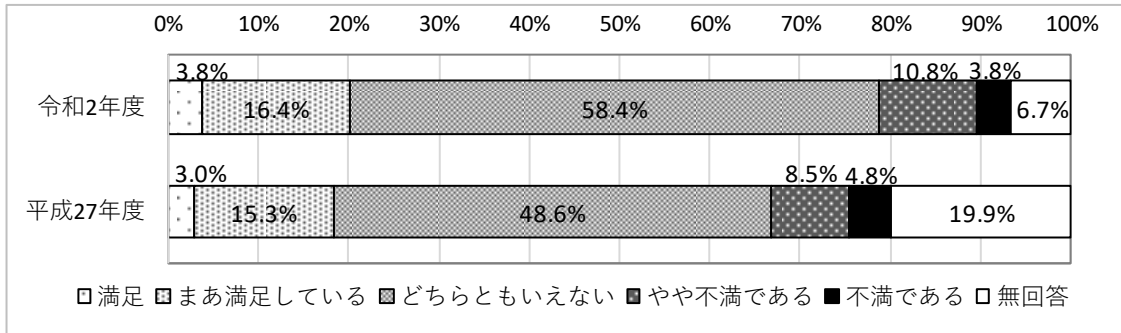
基本政策3における「満足度」と「重要度」の関係をみると、「①⑥農業の振興」が重要度と満足度がともに高くなっている。「①⑦林業の振興」は重要度と満足度がともに低くなっており、「①⑧商業の振興」、「①⑨工業の振興」、「①⑩観光の振興」が重要度と満足度ともに平均に近い値になっている。



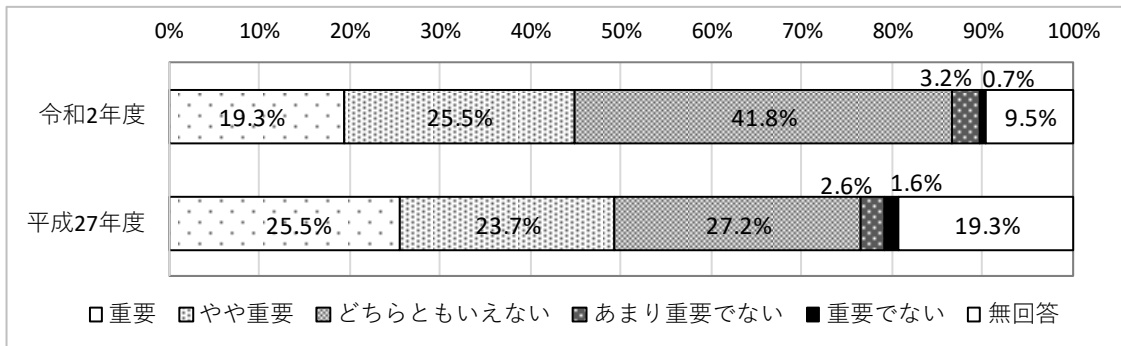
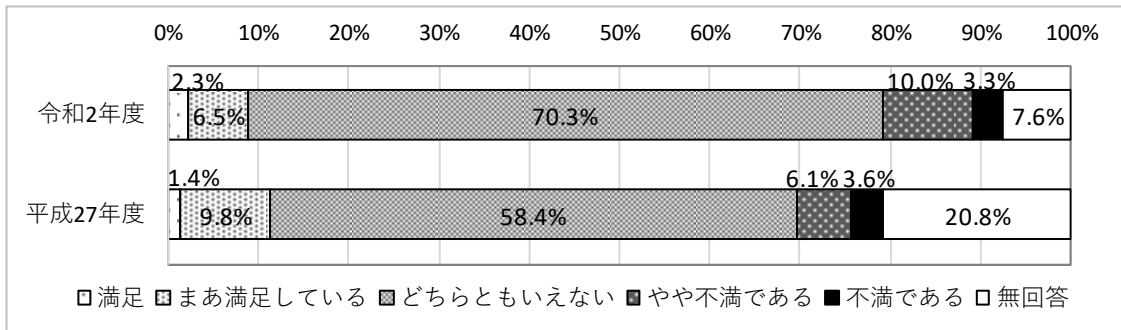
基本政策3	
①⑥	農業の振興
①⑦	林業の振興
①⑧	商業の振興
①⑨	工業の振興
①⑩	観光の振興

〔前回調査結果との比較〕

### 16 農業の振興

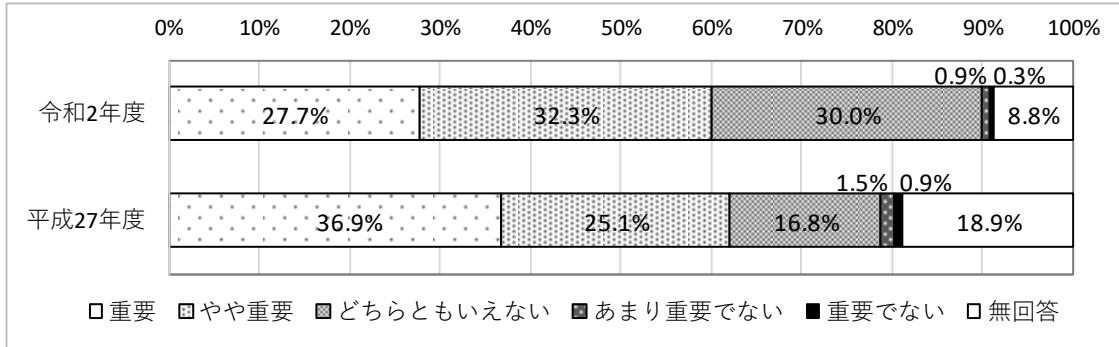
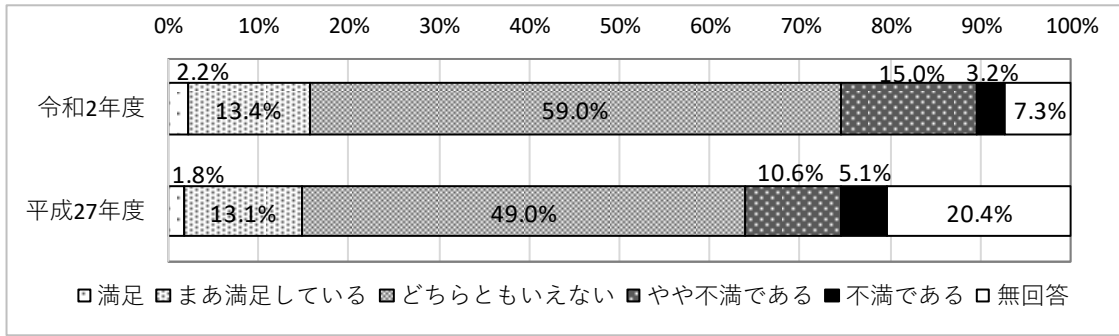


### 17 林業の振興

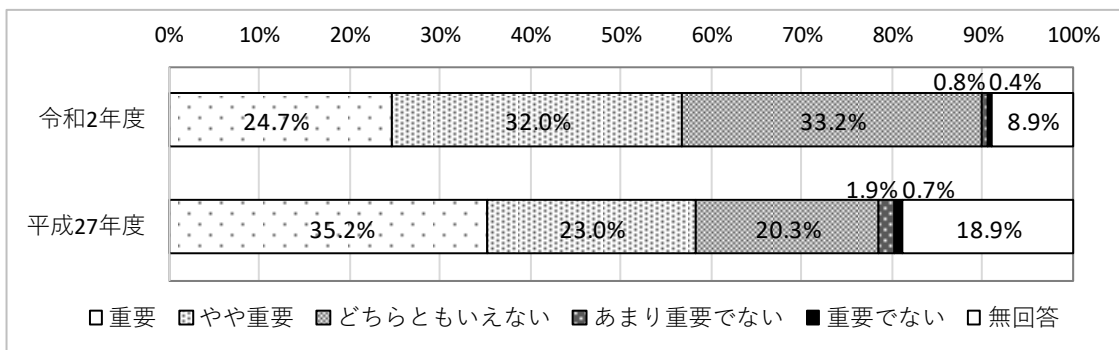
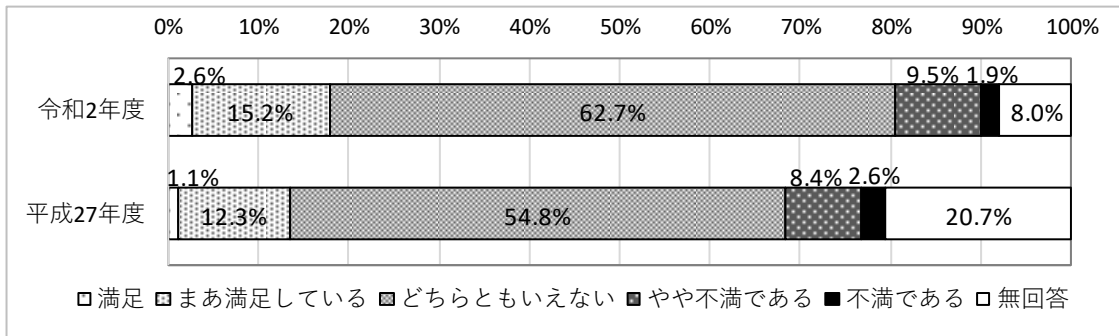




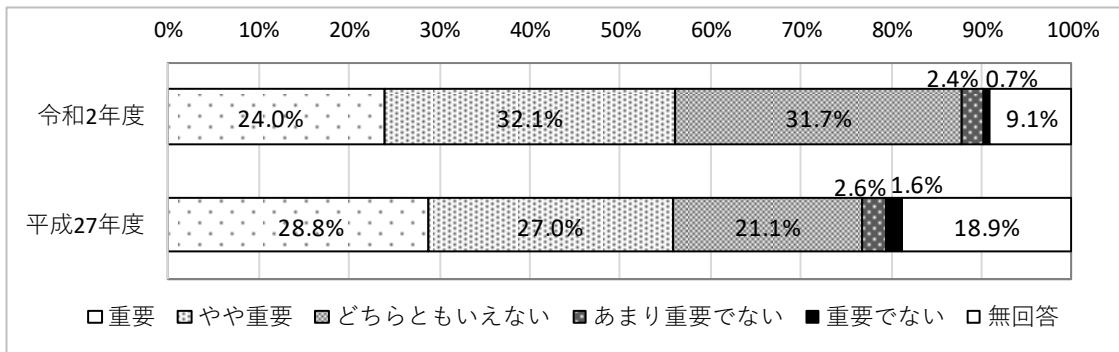
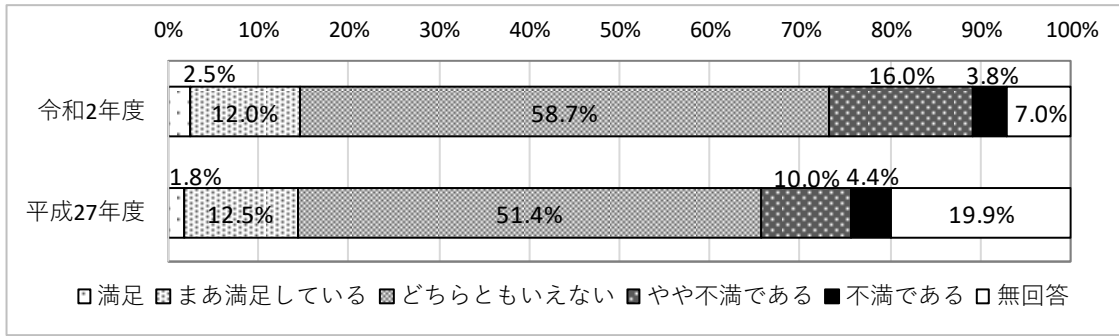
## 18 商業の振興



## 19 工業の振興



## 20 観光の振興



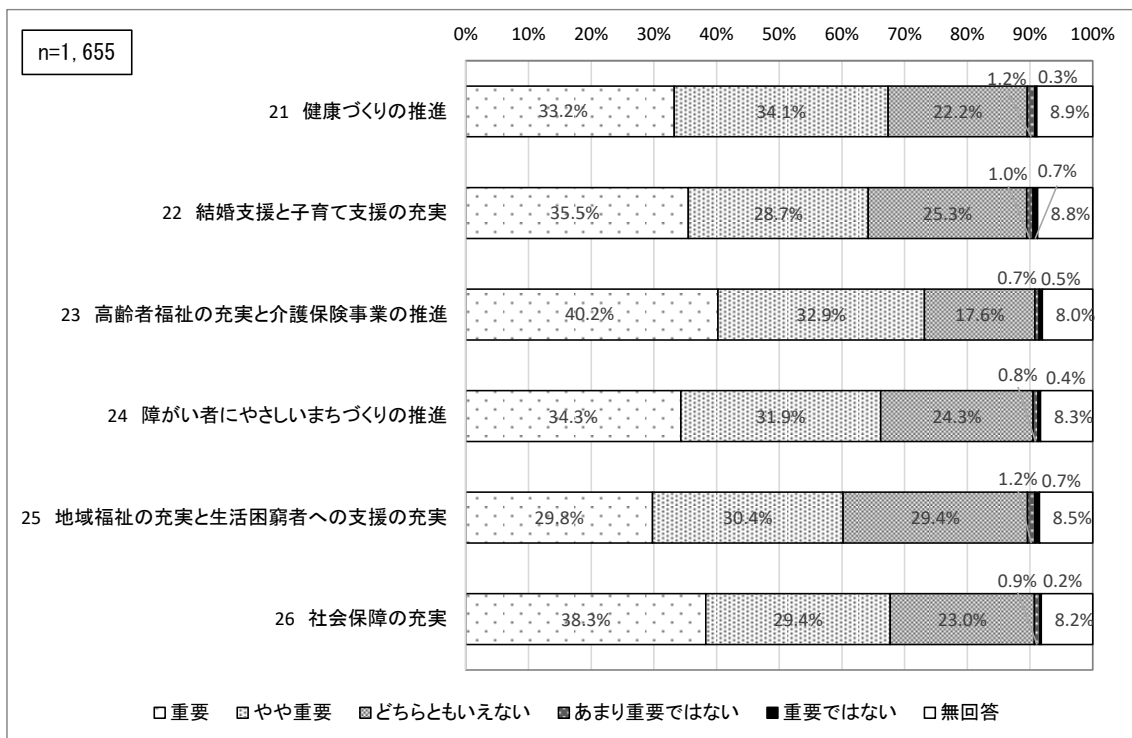
基本政策 4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり (SA)

基本政策 4 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、全ての項目で約 6~7 割と重要度が高く、中でも重要と思われることが最も多い施策は「23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」の 73.1%となっています。

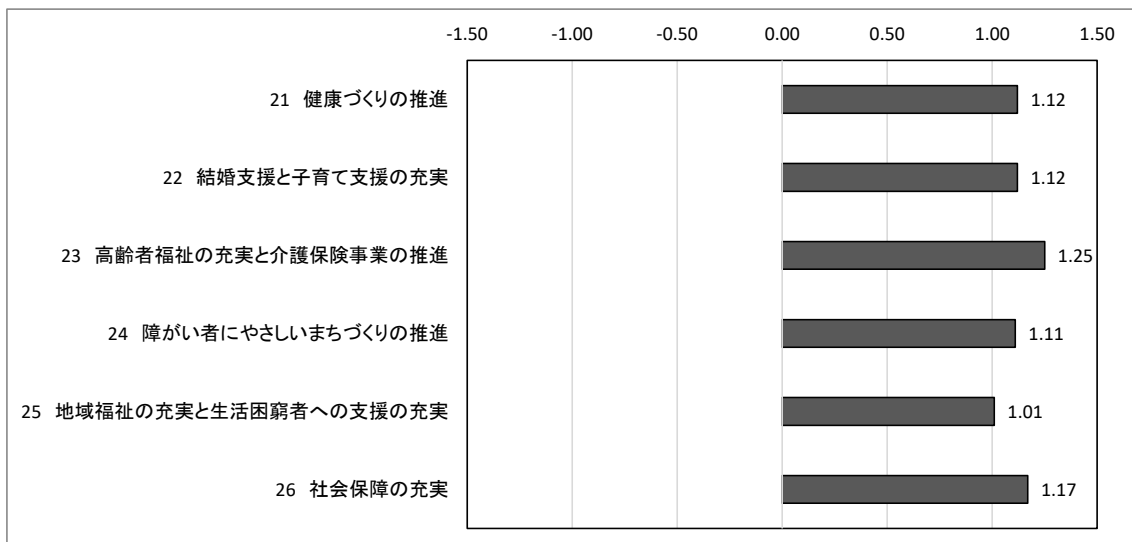
次いで、「26 社会保障の充実」の 67.7%、「21 健康づくりの推進」の 67.3%となっています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」をあわせて、重要でないと思われることは全ての項目で 2%未満となっています。

重要度



〔加重平均〕

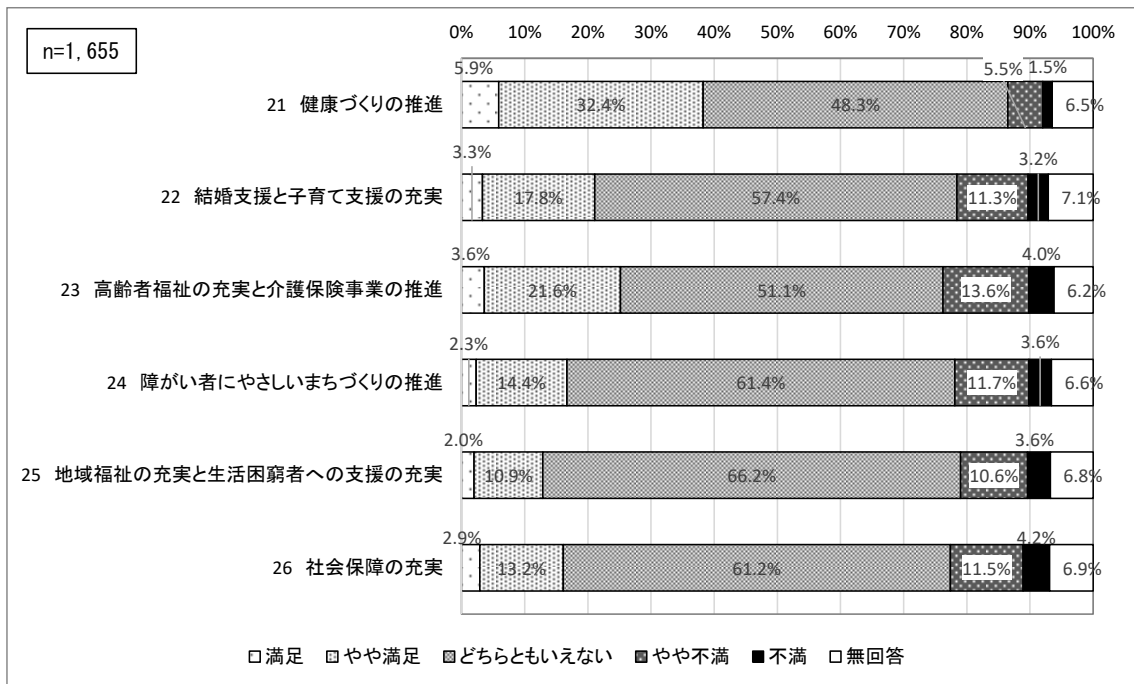


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「21 健康づくりの推進」の38.3%となっています。

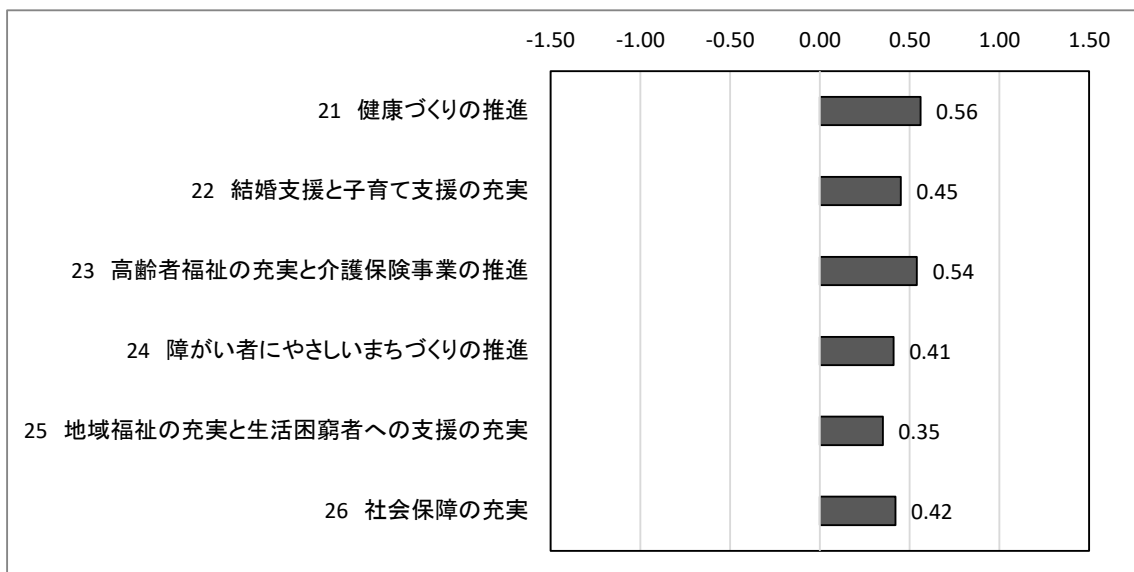
次いで、「23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」の25.2%、「22 結婚支援と子育て支援の充実」の21.1%となっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」の17.6%で、次いで「26 社会保障の充実」の15.7%、「24 障がい者にやさしいまちづくりの推進」の15.3%となっています。

満足度



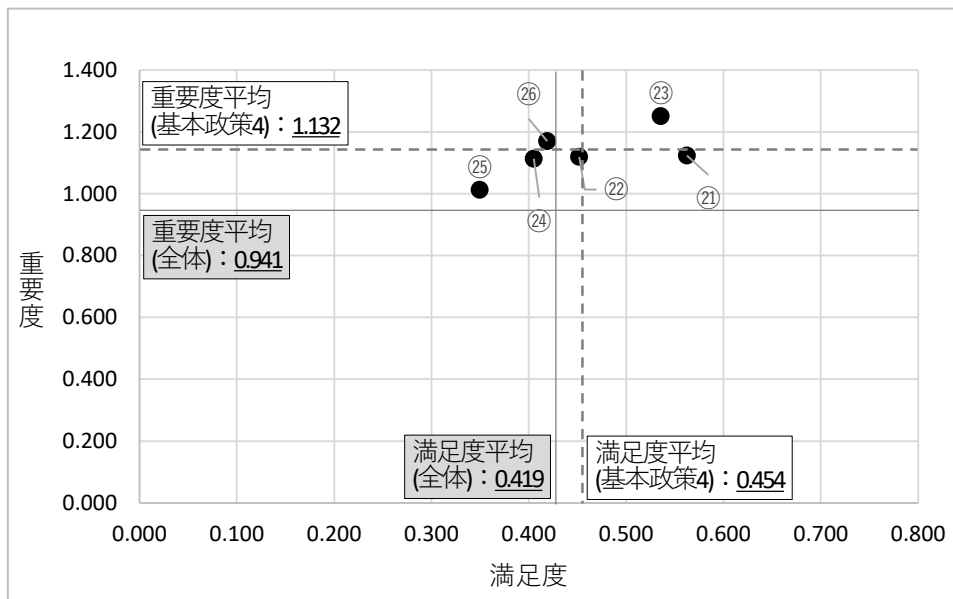
〔加重平均〕



■ 基本施策 4 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 4 を比較すると、重要度と満足度が平均以上となっている。重要度についてはすべての項目で全体平均よりも上回っている

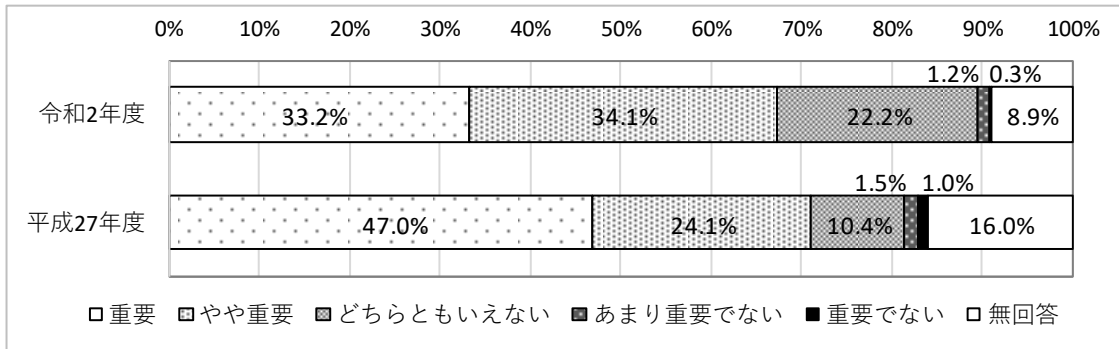
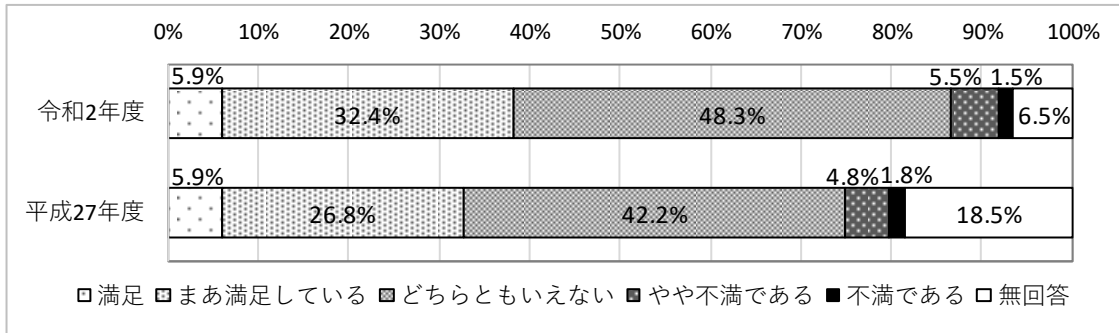
基本政策 4 における「重要度」と「満足度」の関係をみると、「②結婚支援と子育て支援の充実」、「④障がい者にやさしいまちづくりの推進」、「⑥社会保障の充実」は重要度が高くなっているが、満足度は平均よりも下回っている。「①健康づくりの推進」、「③高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」は重要度と満足度がともに高くなっている。「⑤地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」は重要度と満足度がともに低くなっている。



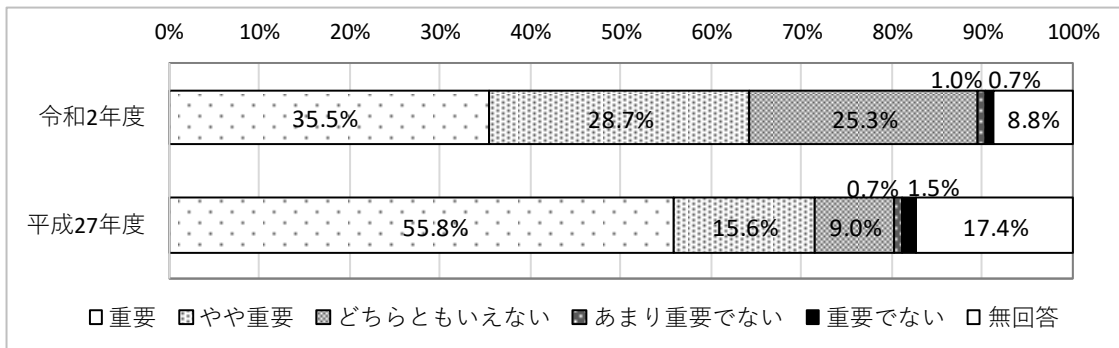
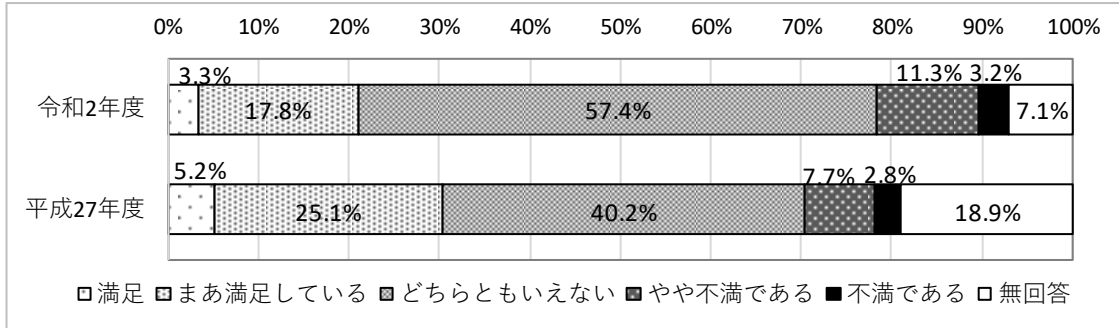
基本政策4	
①	健康づくりの推進
②	結婚支援と子育て支援の充実
③	高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進
④	障がい者にやさしいまちづくりの推進
⑤	地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実
⑥	社会保障の充実

〔前回調査結果との比較〕

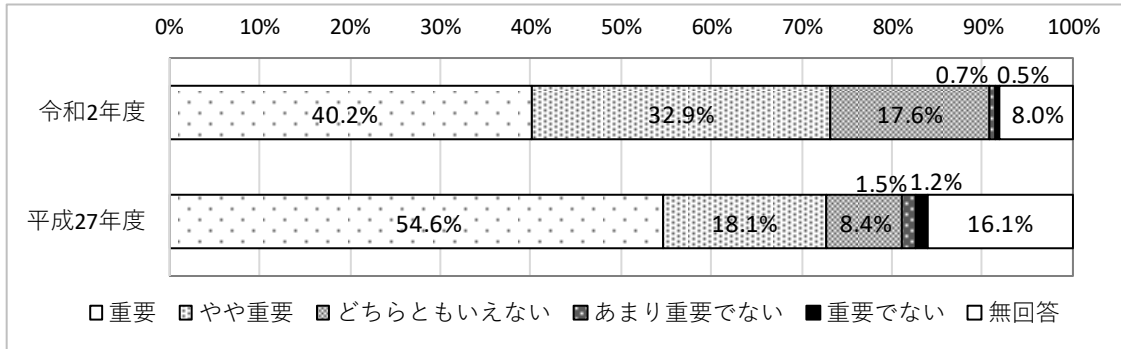
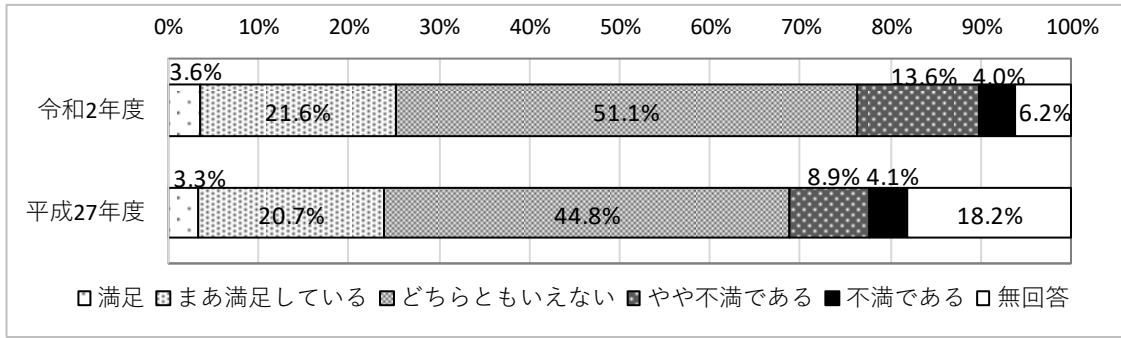
## 21 健康づくりの推進



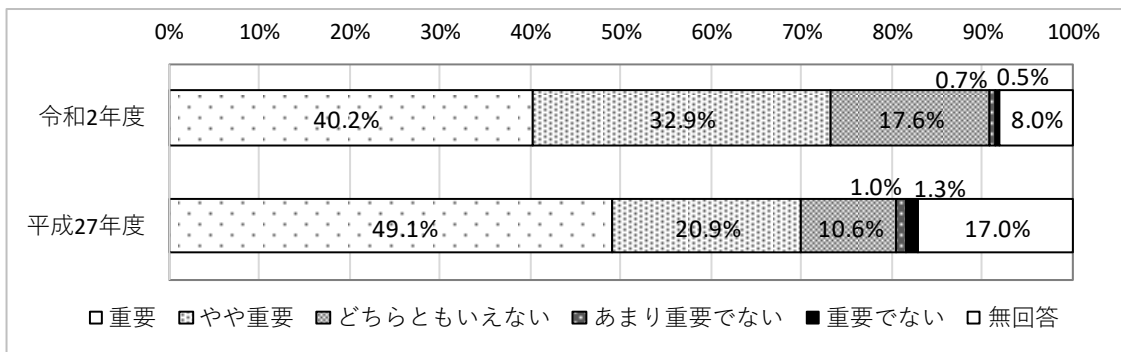
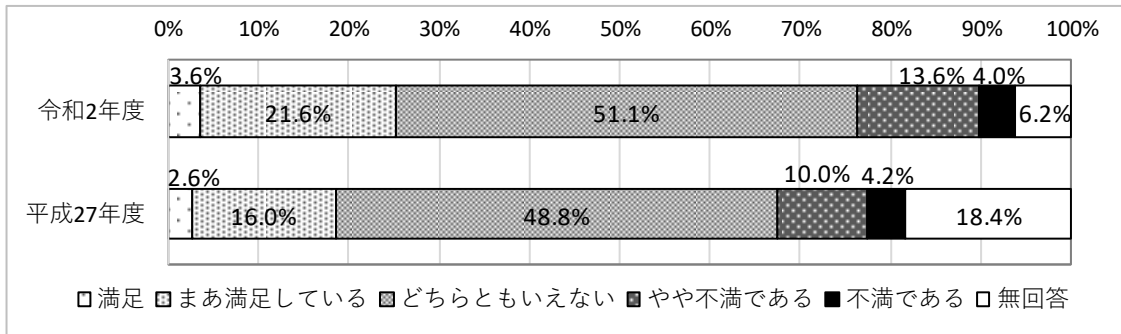
## 22 結婚支援と子育て支援の充実



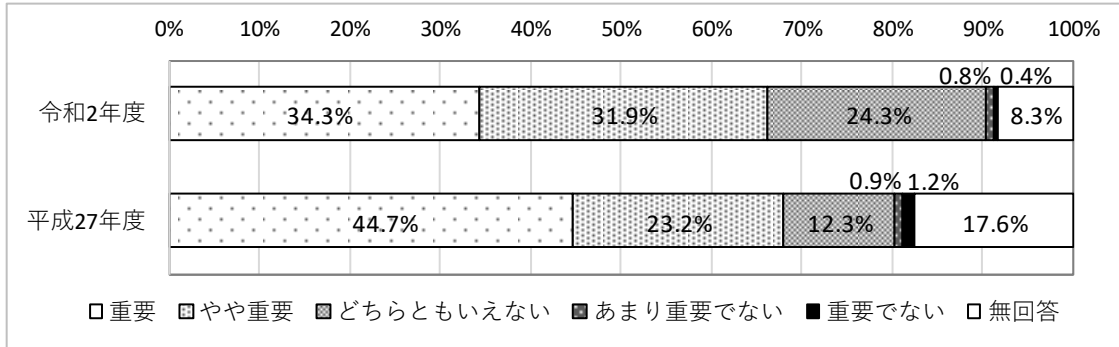
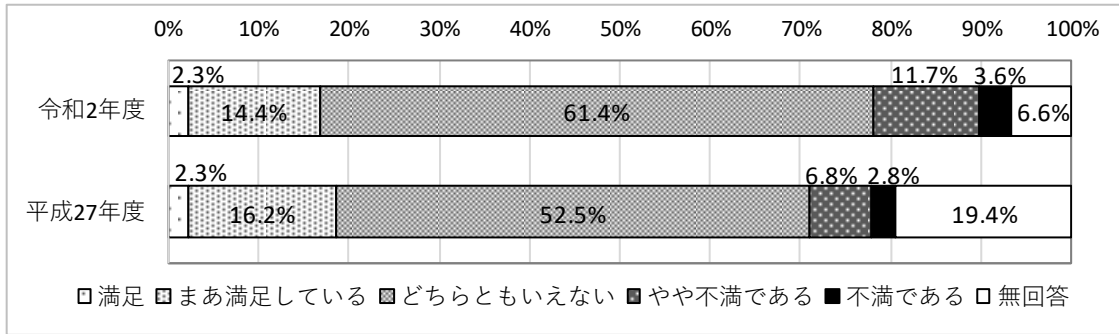
### 23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進（高齢者福祉）



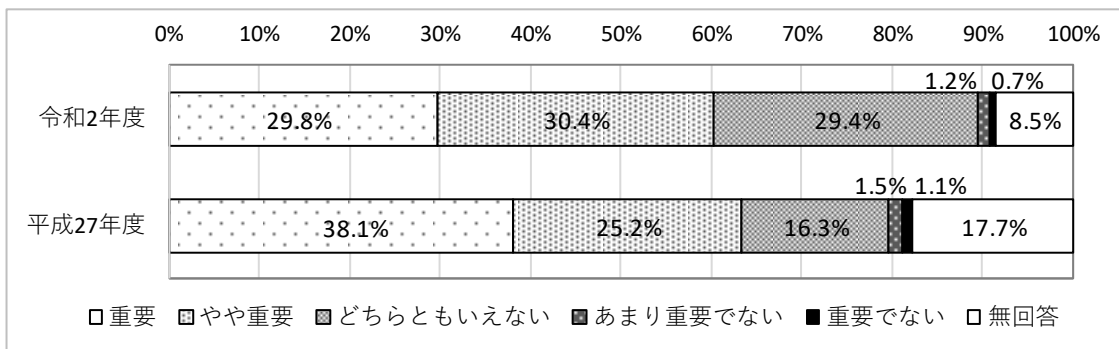
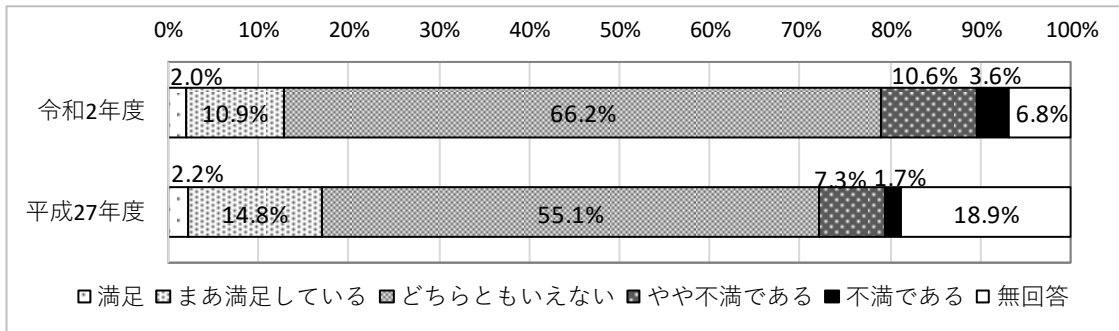
### 23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進（介護保険事業）



## 24 障がい者にやさしいまちづくりの推進

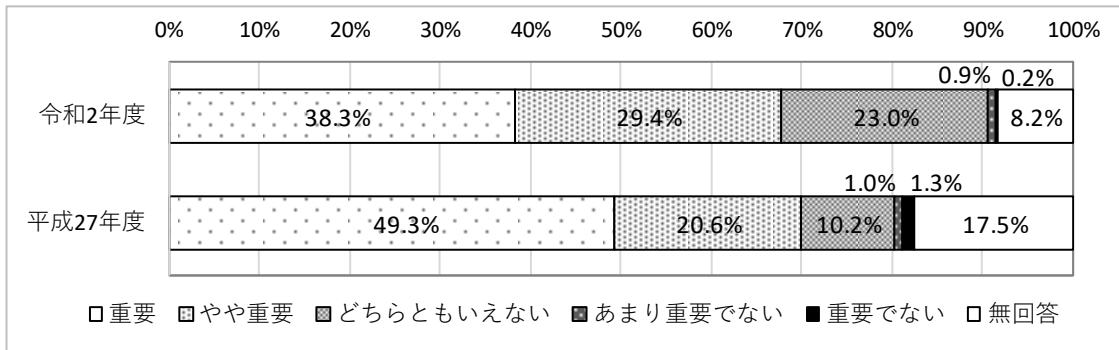
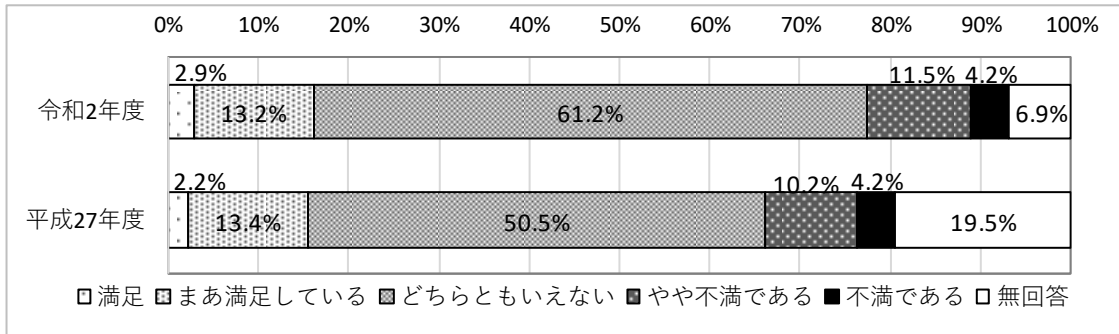


## 25 地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実





## 26 社会保障の充実



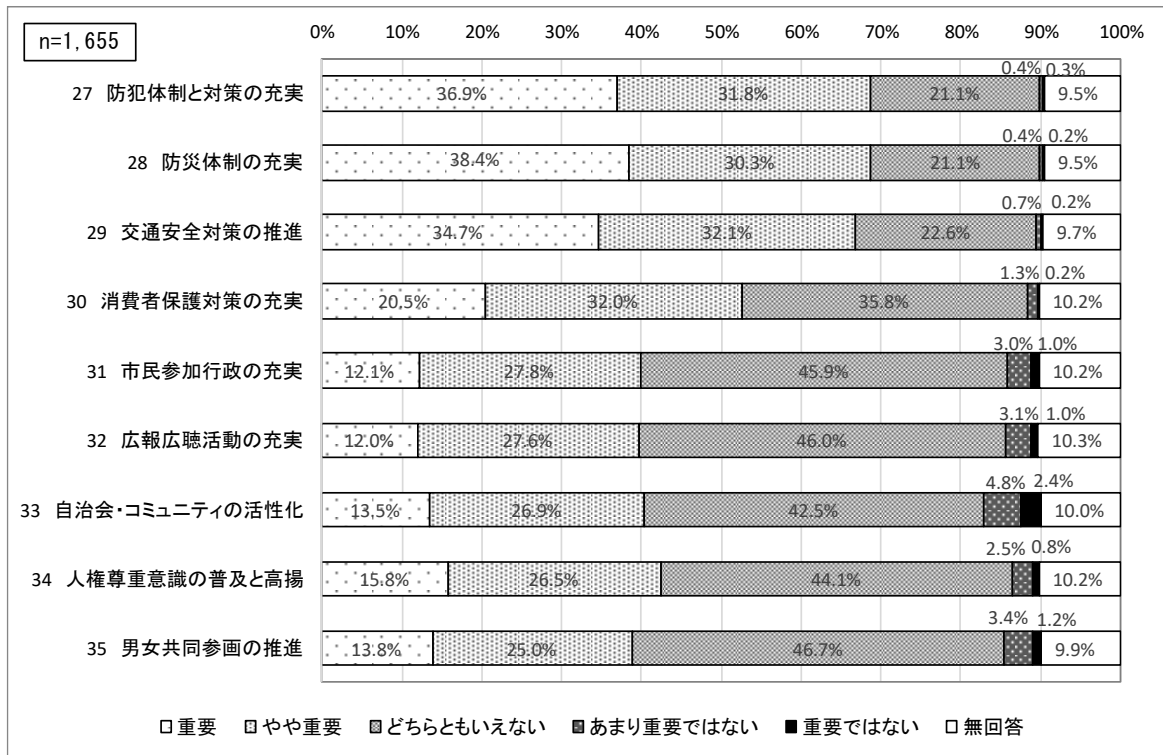
基本政策 5 市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をともにつくるまちづくり (SA)

基本政策 5 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、重要と思われることが最も多い施策は「27 防犯体制と対策の充実」及び「28 防災体制の充実」の68.7%となっています。

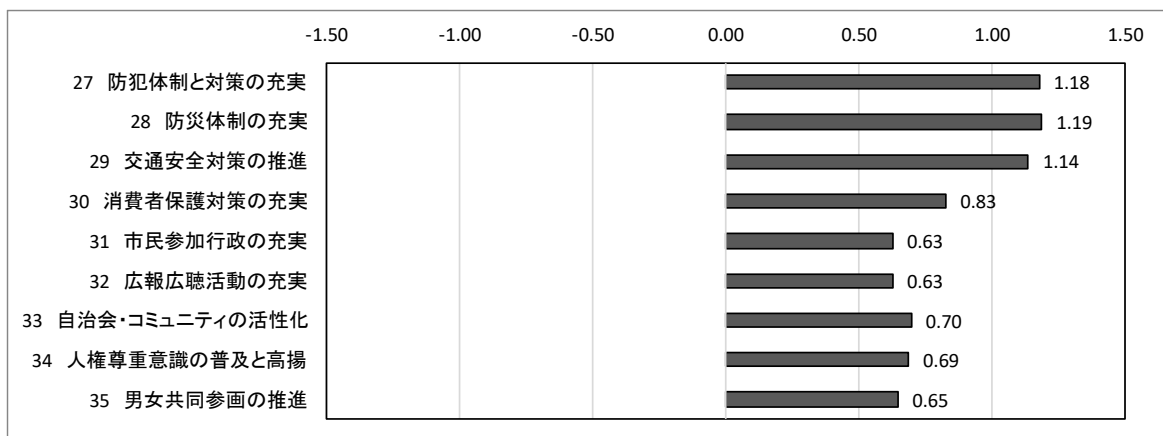
次いで、「29 交通安全対策の推進」の66.8%、「30 消費者保護対策の充実」の52.5%となっています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」をあわせて、重要でないと思われることが最も多い施策は「33 自治会・コミュニティの活性化」の7.2%で、次いで「35 男女共同参画の推進」の4.6%、「32 広報広聴活動の充実」の4.1%などとなっています。

重要度



〔加重平均〕

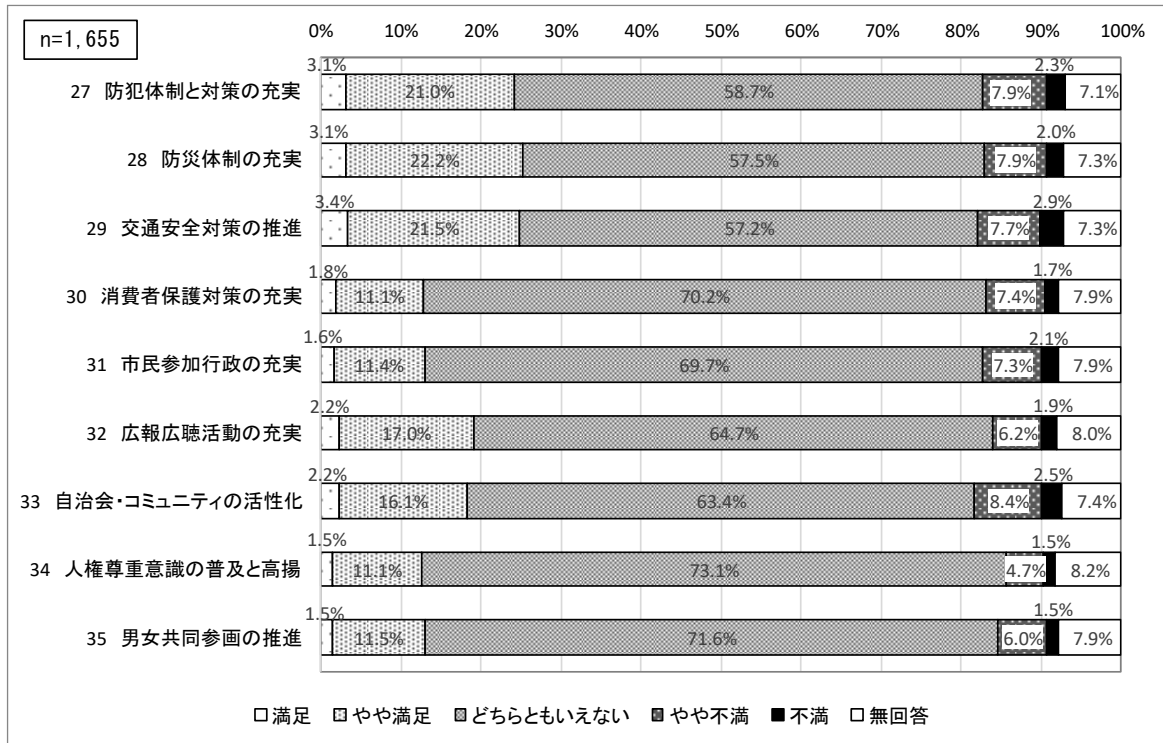


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「28 防災体制の充実」の25.3%となっています。

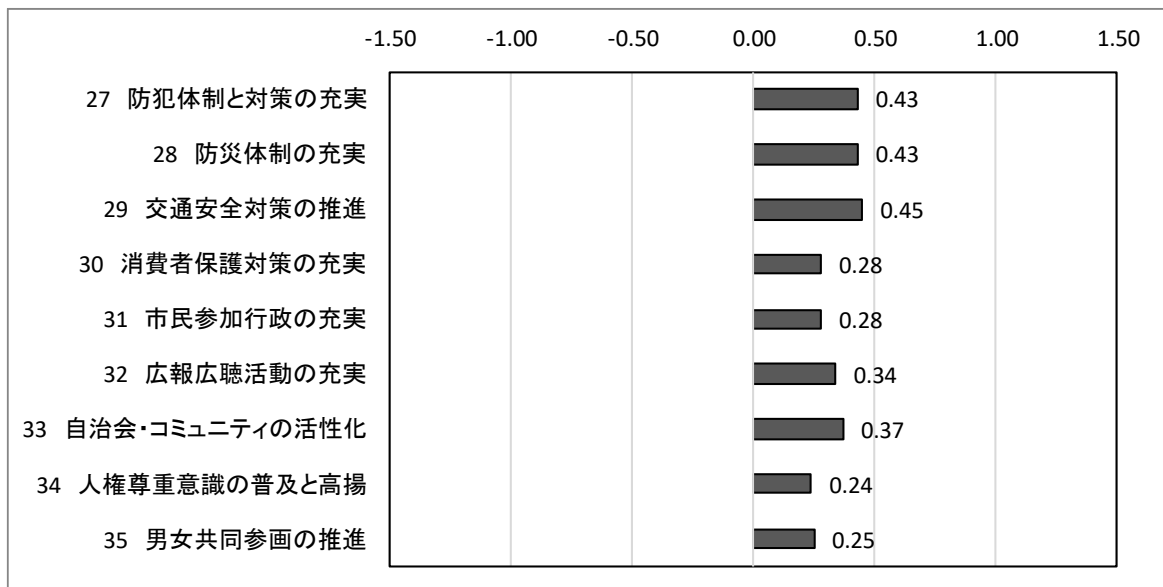
次いで「29 交通安全対策の推進」の24.9%、「27 防犯体制と対策の充実」の24.1%などとなっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「33 自治会・コミュニティの活性化」の10.9%で、次いで「29 交通安全対策の推進」の10.6%、「27 防犯体制と対策の充実」の10.2%となっています。

満足度



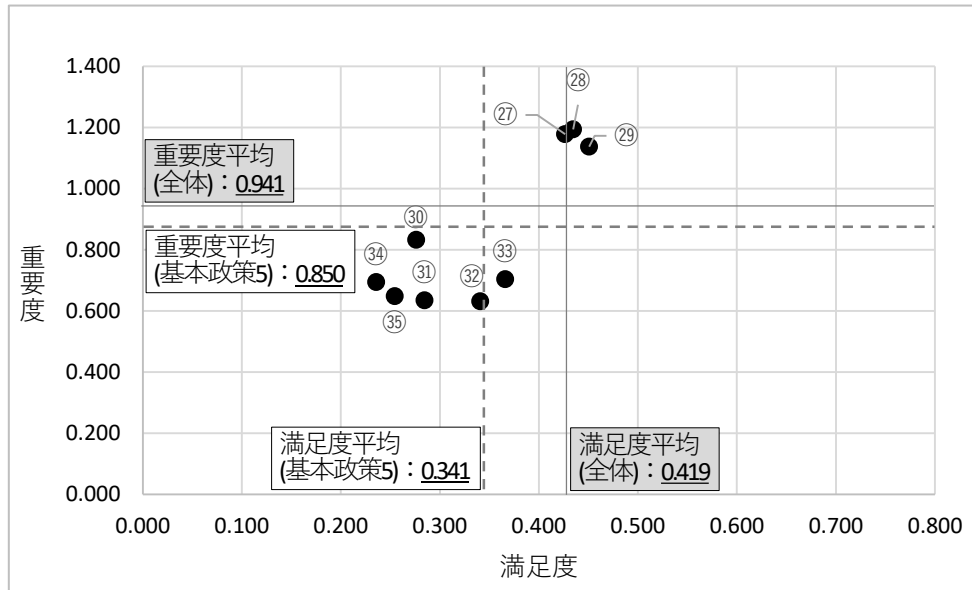
〔加重平均〕



■ 基本施策 5 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 5 を比較すると、重要度と満足度がともに平均よりも下回っている。

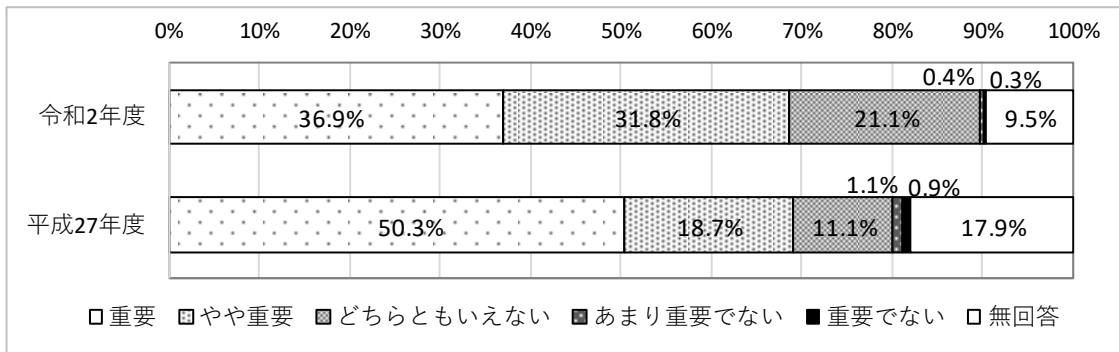
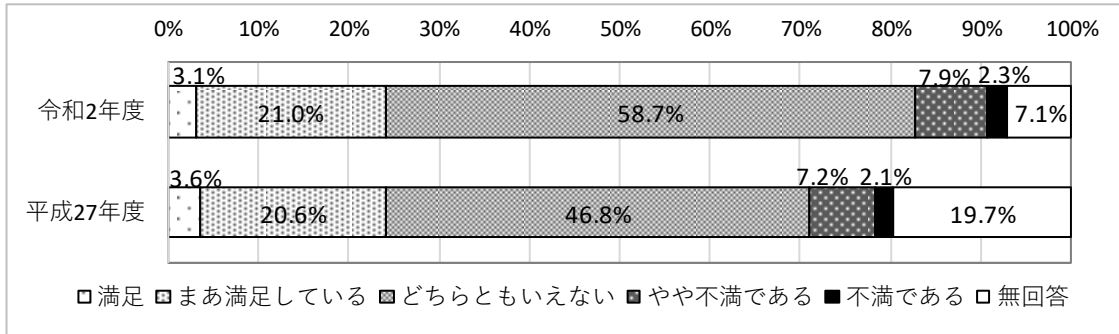
基本政策 5 における「重要度」と「満足度」の関係をみると、「⑲防犯体制と対策の充実」と「⑳防災体制の充実」と「㉑交通安全対策の推進」は重要度と満足度がともに平均よりも大きく上回っている。「㉒消費者保護対策の充実」、「㉓市民参加行政の充実」、「㉔人権尊重意識の普及と高揚」、「㉕男女共同参画の推進」は重要度と満足度がともに平均よりも下回っている。「㉖広報広聴活動の充実」、「㉗自治会・コミュニティの活性化」は重要度が平均以下となっているが、満足度は平均となっている。



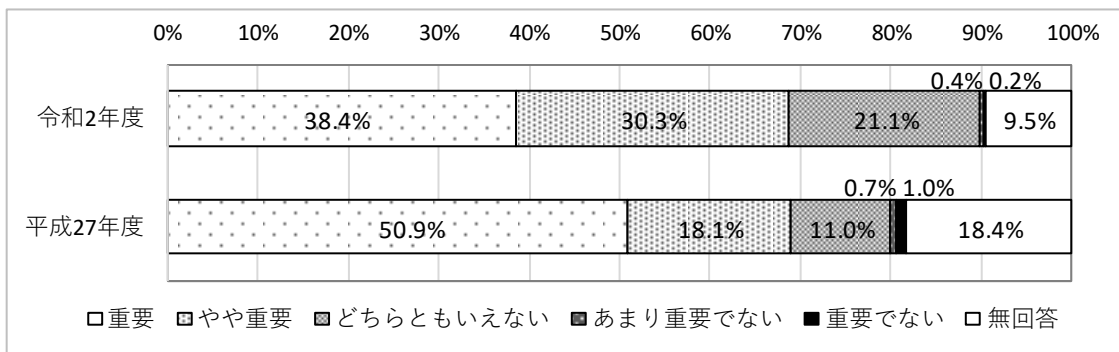
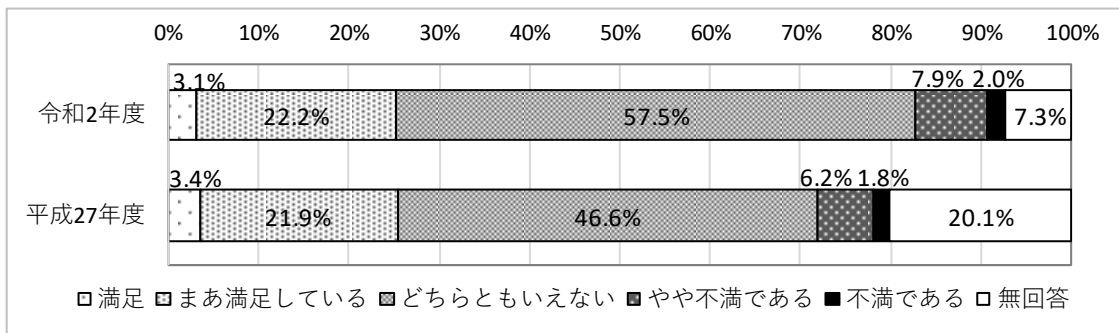
基本政策5	
⑲	防犯体制と対策の充実
⑳	防災体制の充実
㉑	交通安全対策の推進
㉒	消費者保護対策の充実
㉓	市民参加行政の充実
㉔	広報広聴活動の充実の充実
㉕	自治会・コミュニティの活性化
㉖	人権尊重意識の普及と高揚
㉗	男女共同参画の推進

〔前回調査結果との比較〕

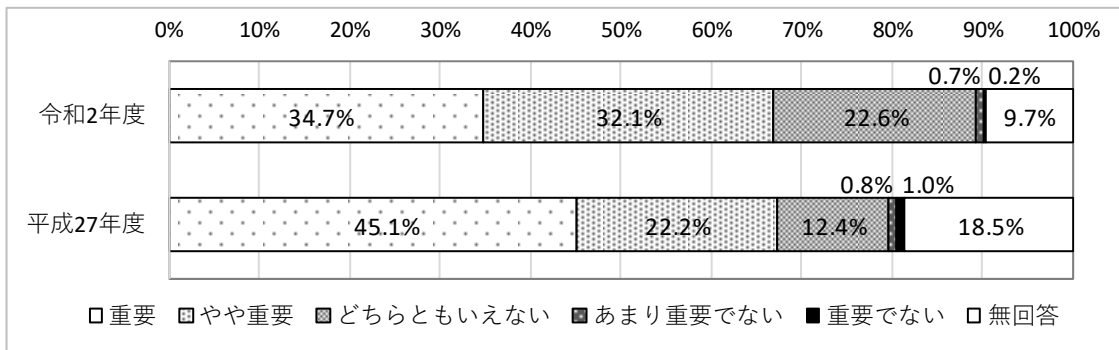
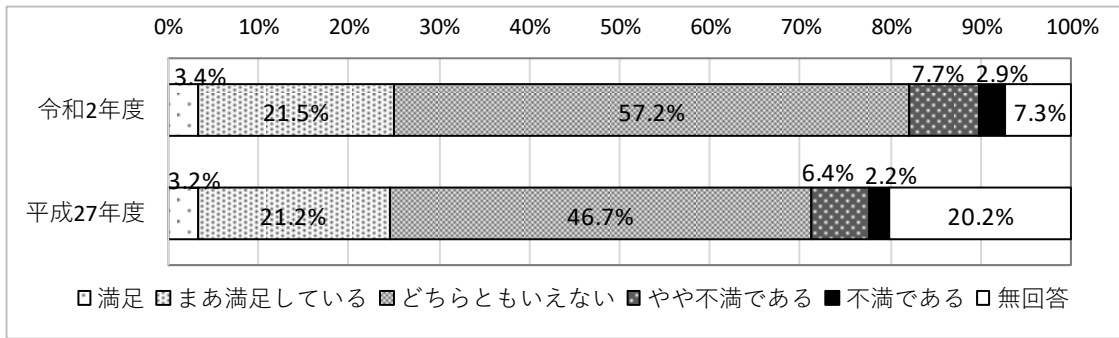
## 27 防犯体制と対策の充実



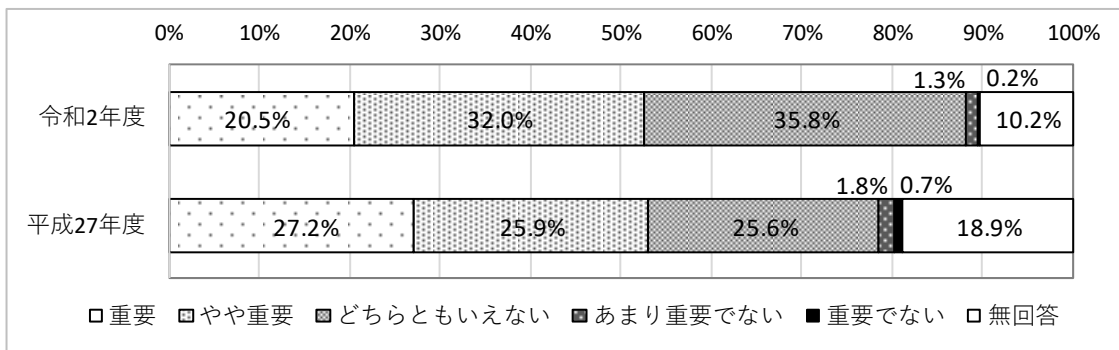
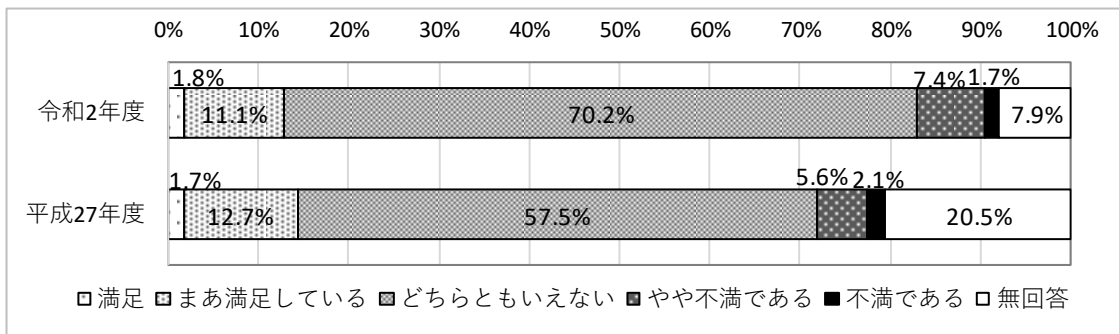
## 28 防災体制の充実



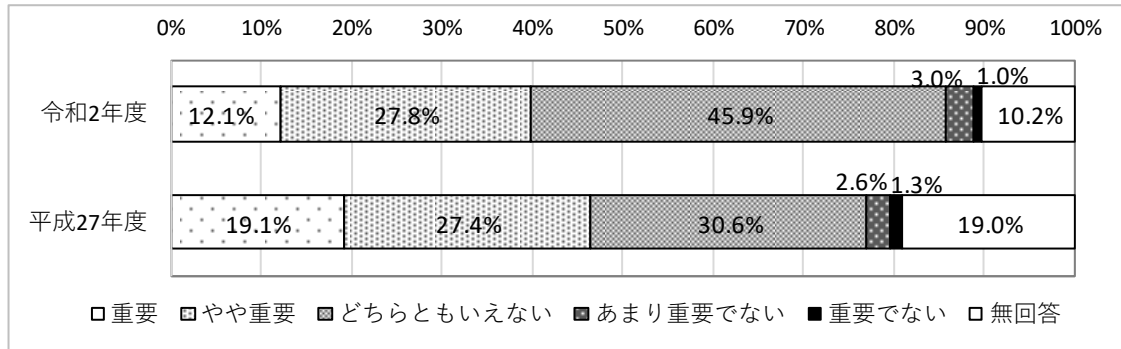
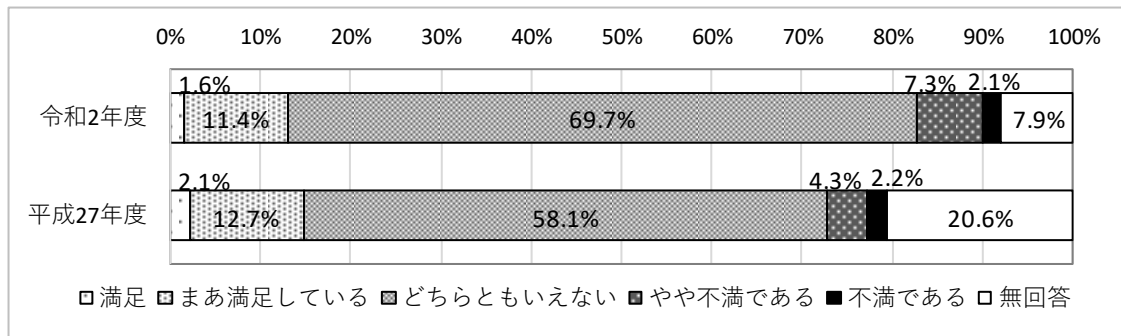
## 29 交通安全対策の推進



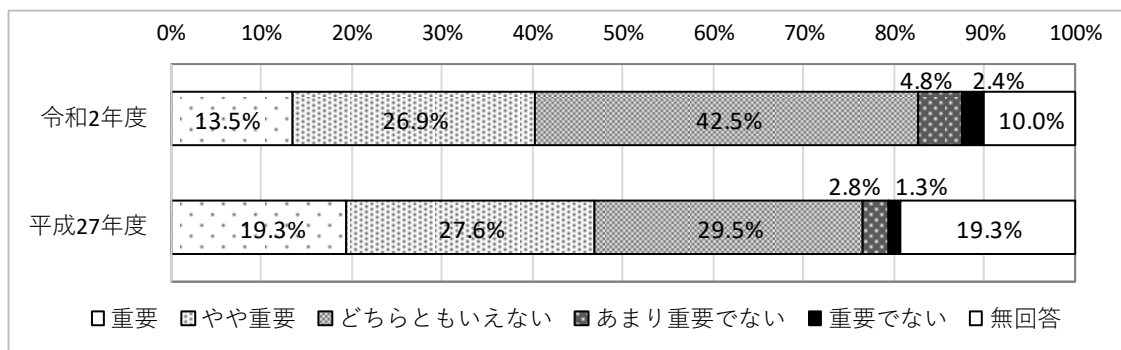
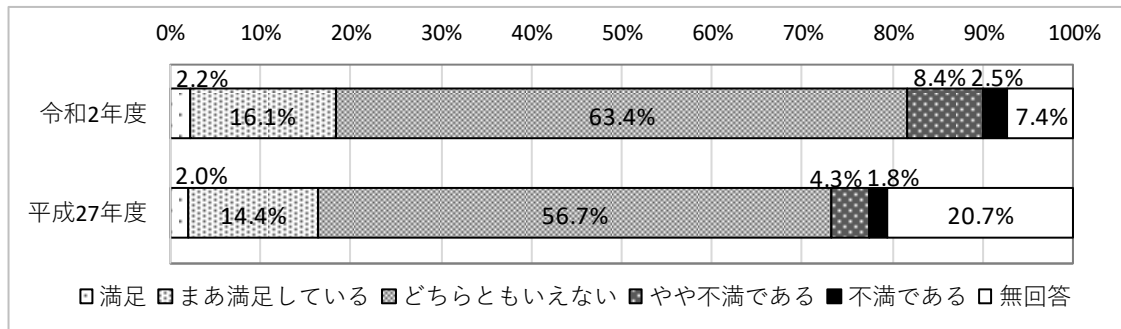
## 30 消費者保護対策の充実



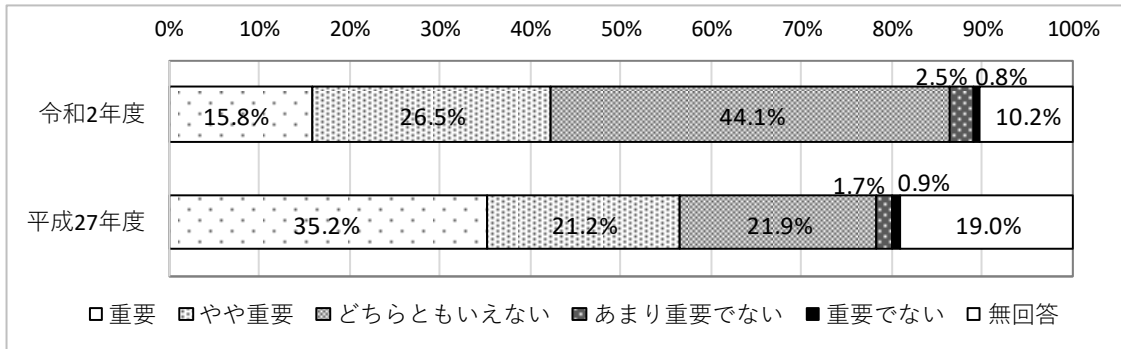
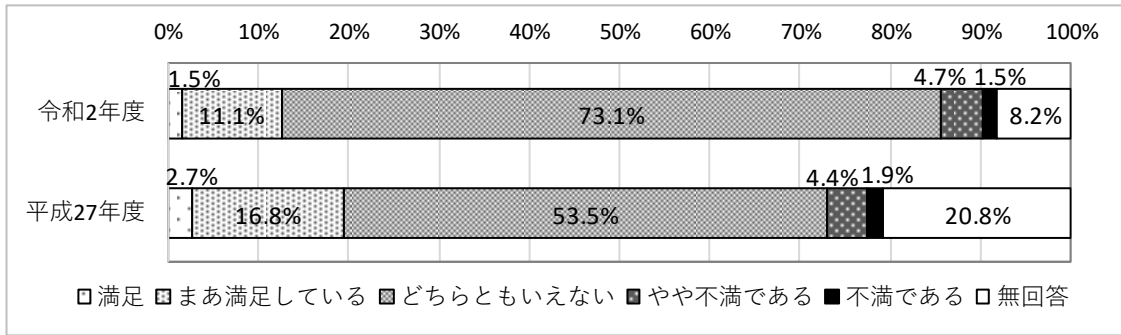
### 31 市民参加行政の充実



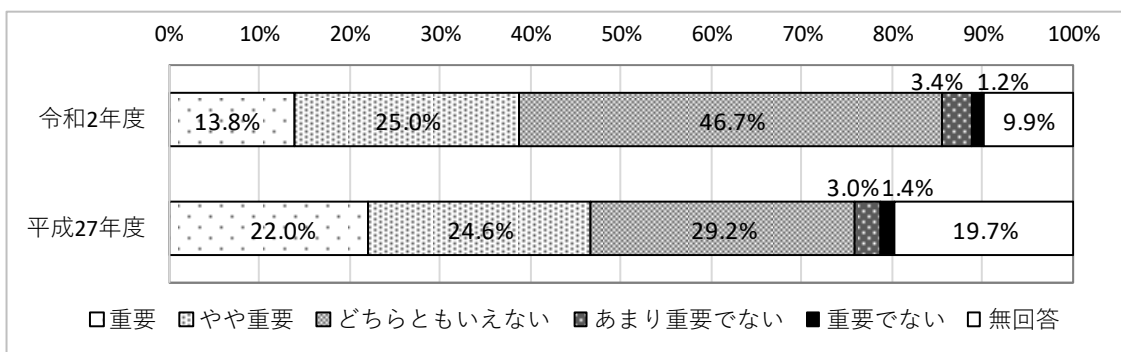
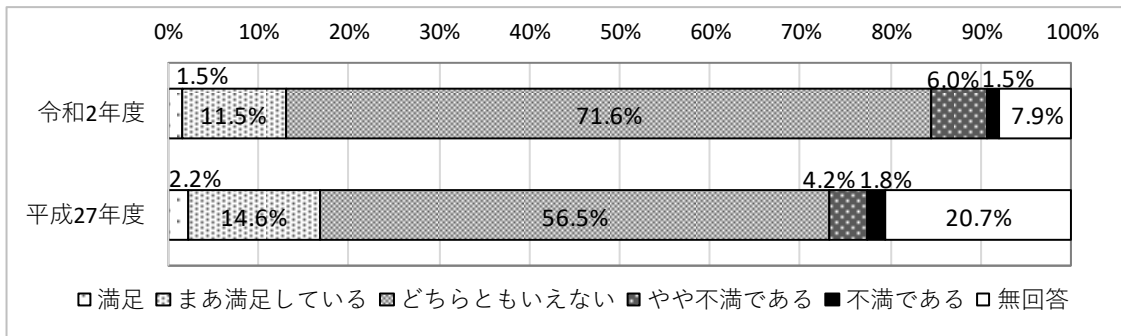
### 33 自治会・コミュニティの活性化



### 34 人権尊重意識の普及と高揚



### 35 男女共同参画の推進





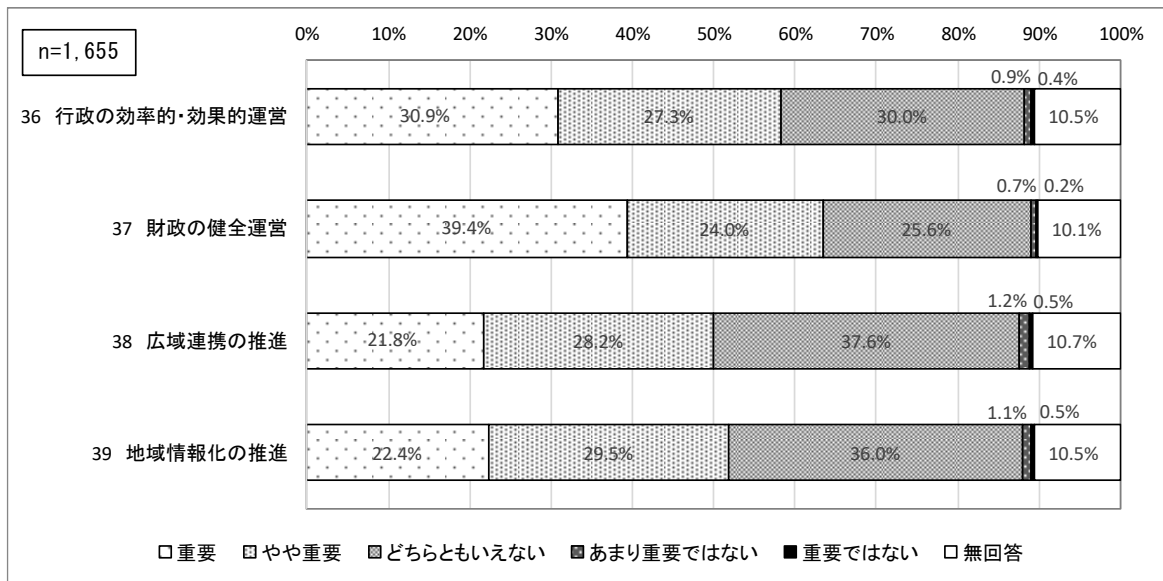
基本政策 6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり (SA)

基本政策 6 において、「重要」、「やや重要」をあわせて、重要と思われることが最も多い施策は「37 財政の健全運営」の 63.4%となっています。

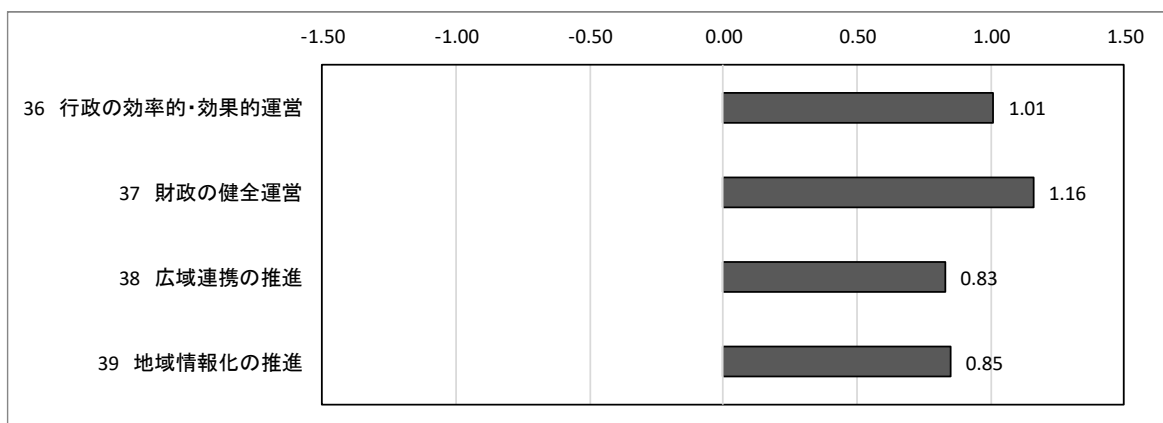
次いで「36 行政の効率的・効果的運営」の 58.2%、「39 地域情報化の推進」の 51.9%となっています。

また、「重要でない」、「あまり重要でない」をあわせて、重要でないと思われることは全ての項目で 2%未満となっています。

重要度



〔加重平均〕

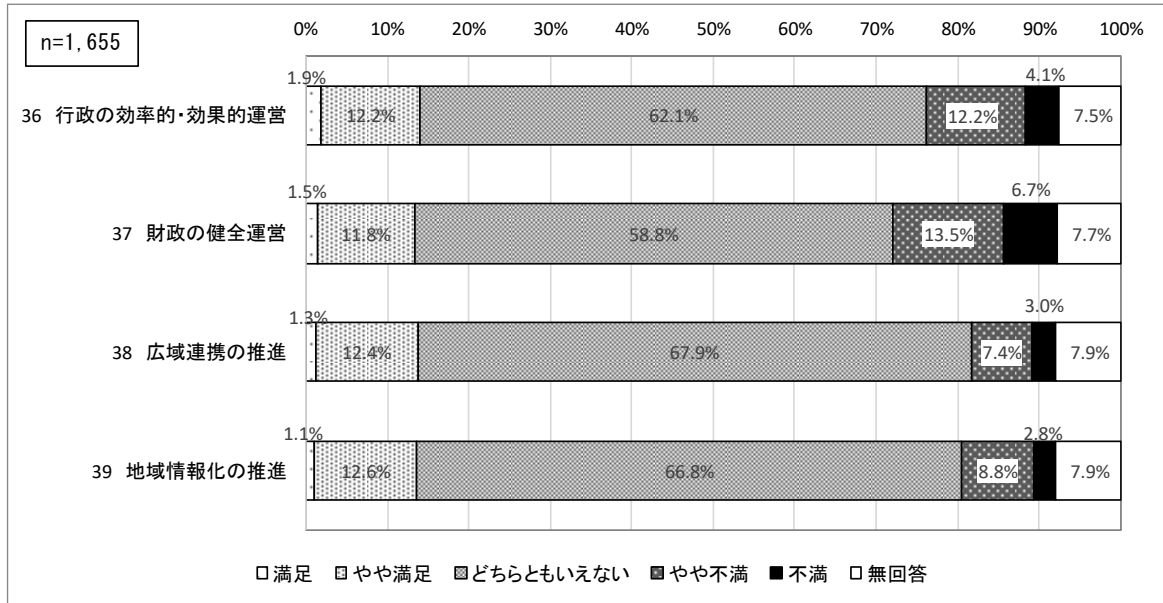


一方、「満足」、「まあ満足している」をあわせて、満足度の最も高い施策は「36 行政の効率的・効果的運営」の14.1%となっていますが、ほかの項目も含め15%に届かない結果となっています。

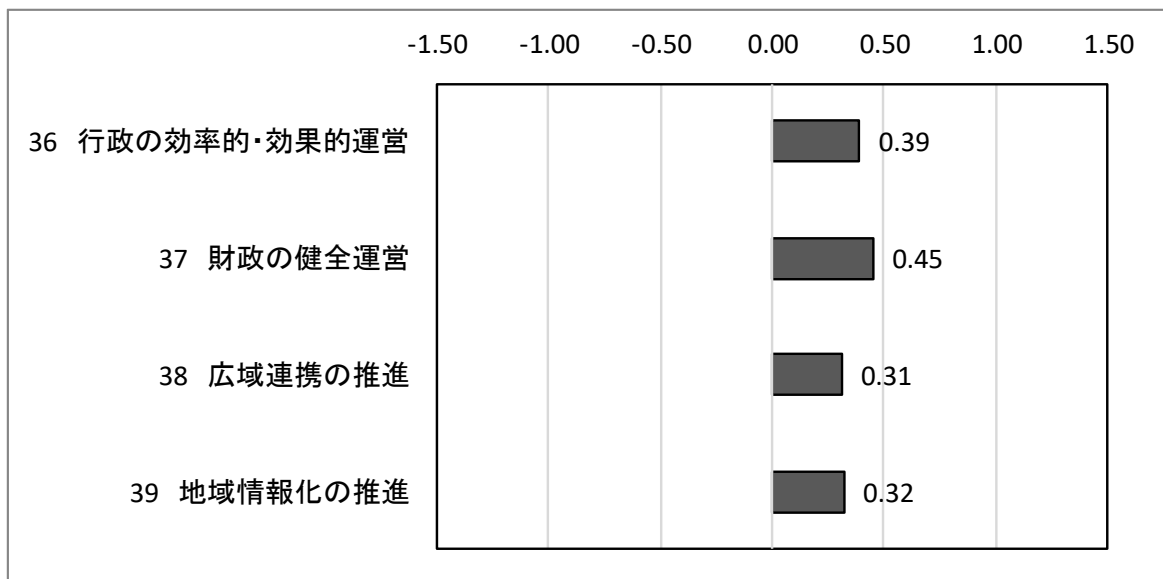
次いで「38 広域連携の推進」及び「39 地域情報化の推進」の13.7%となっています。

また、「不満である」、「やや不満である」をあわせて、満足度の低い施策は「37 財政の健全運営」の20.2%で、次いで「36 行政の効率的・効果的運営」の16.3%、「39 地域情報化の推進」の11.6%となっています。

満足度



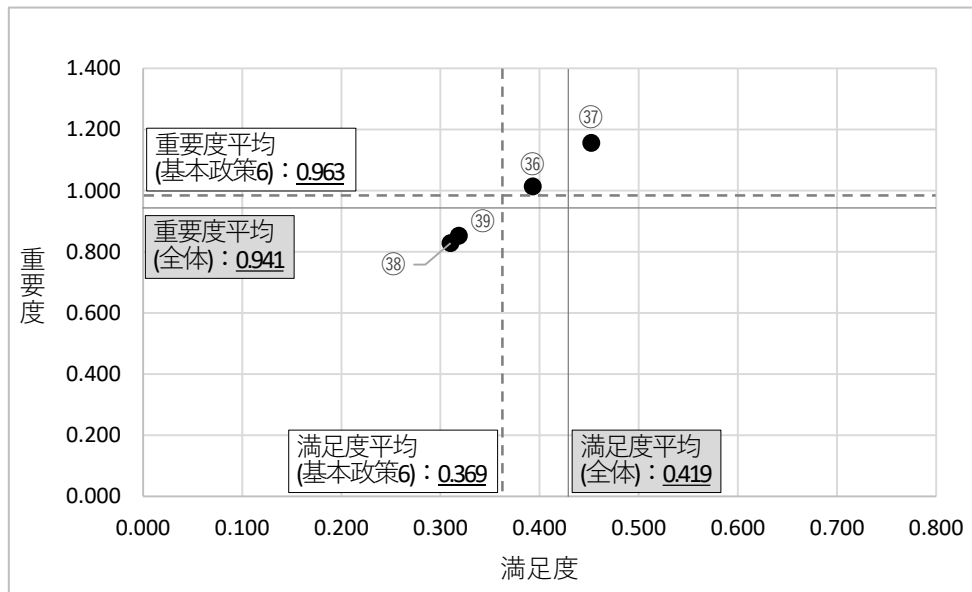
〔加重平均〕



■ 基本施策 6 の重要度・満足度の分布

全体と基本政策 6 を比較すると、満足度が低い水準となっており、重要度については平均以上となっている。

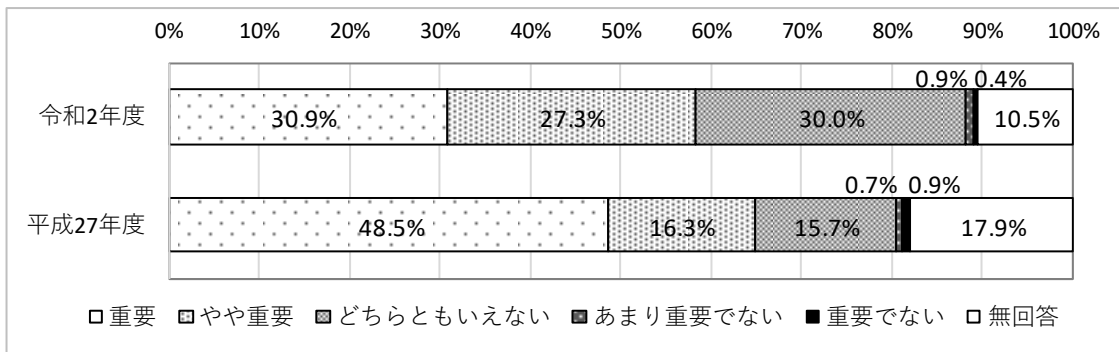
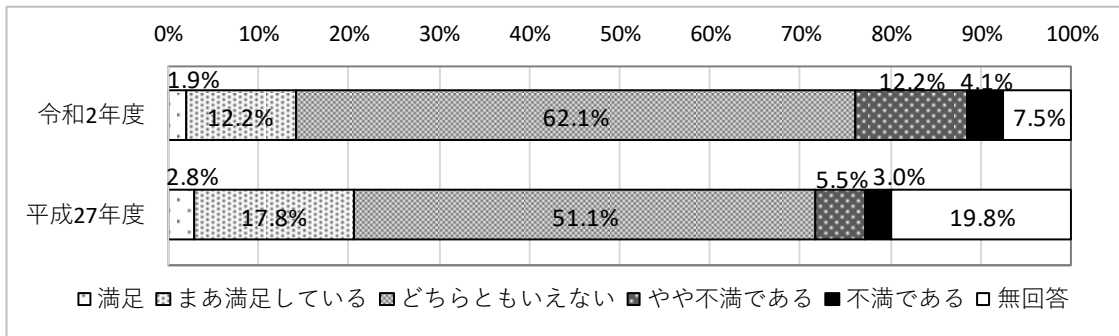
基本政策 6 における「重要度」と「満足度」の関係をみると、「③⑦行政の健全運営」は重要と感じている比率が高く、満足度も高くなっている。「③⑧広域連携の推進」と「③⑨地域情報化の推進」は重要度と満足度がともに平均を下回っている。「③⑥行政の効率的・効果的運営」は重要度と満足度がともに平均値となっている。



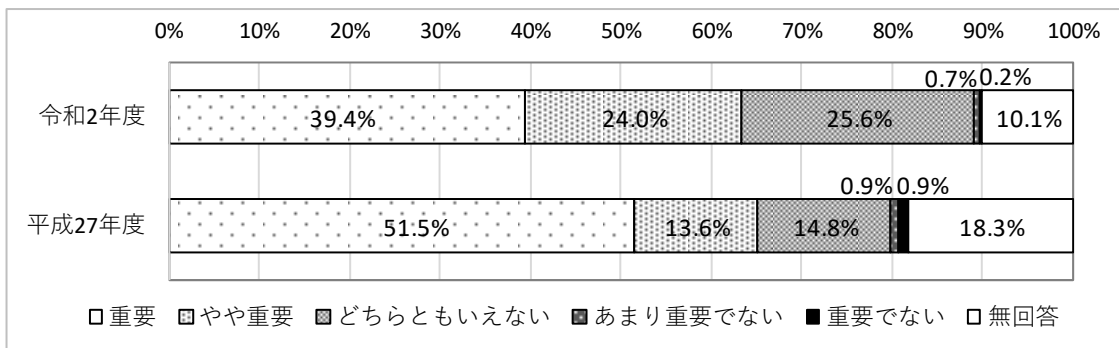
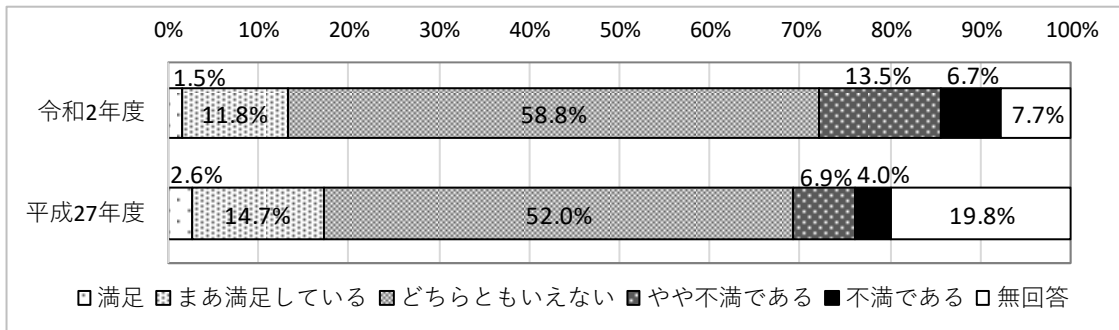
基本政策6	
③⑥	行政の効率的・効果的運営
③⑦	財政の健全運営
③⑧	広域連携の推進
③⑨	地域情報化の推進

〔前回調査結果との比較〕

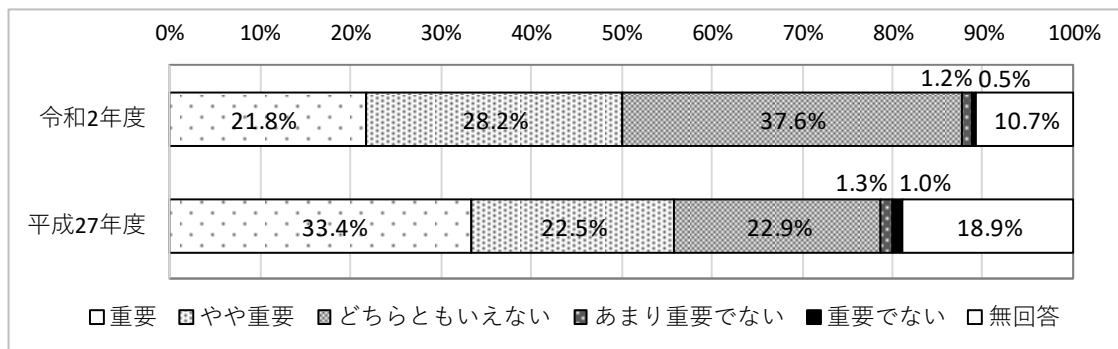
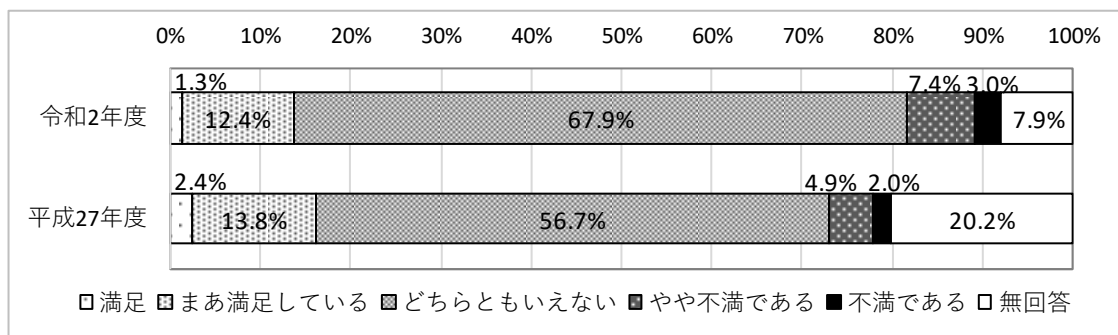
### 36 行政の効率的・効果的運営



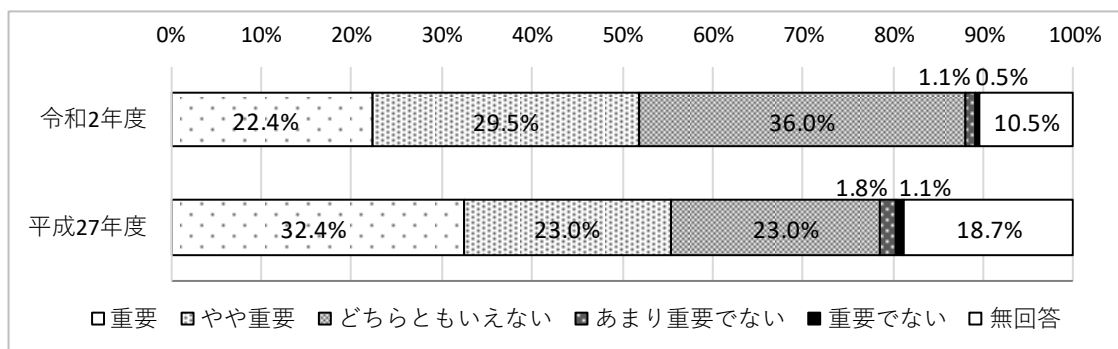
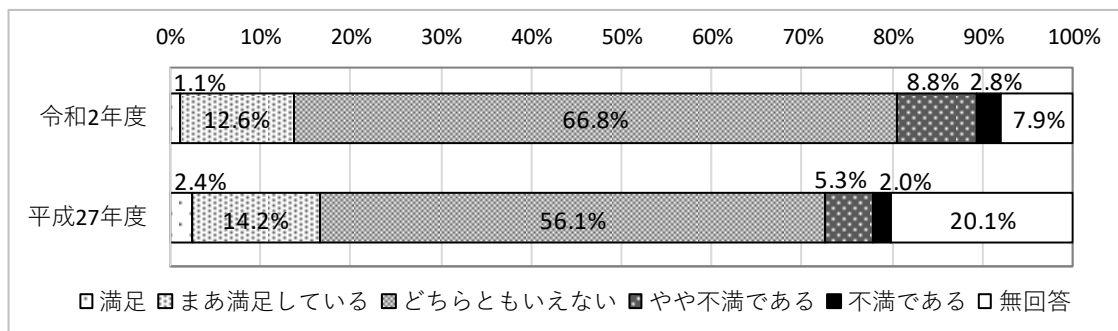
### 37 財政の健全運営



### 38 広域連携の推進



### 39 地域情報化の推進

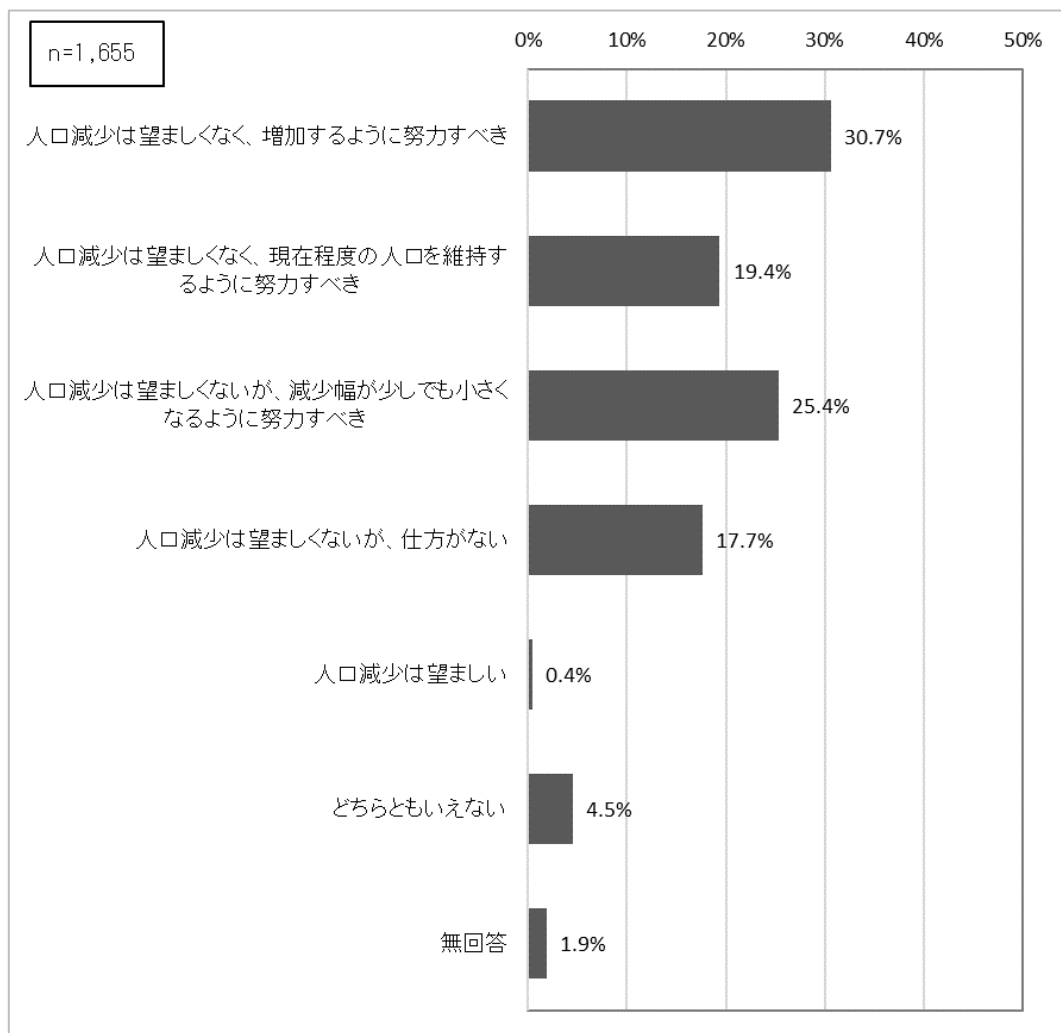


## 少子高齢化について

問 20 あなたは、大田原市の人口が減少していくことについて、どう思いますか。  
あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

大田原市の人口が減少していくことについて回答者は、「人口減少は望ましくなく、増加するように努力すべき」が30.7%と最も高くなっています。

次いで、「人口減少は望ましくないが、減少幅が少しでも小さくなるように努力すべき」が25.4%、「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持するように努力すべき」が19.4%と続いています。



## 【性別】

(単位：%)

	人口減少は望ましくなく、 増加するように努力すべき	人口減少は望ましくなく、 現在程度の人口を維持するように努力すべき	人口減少は望ましくなくが、 減少幅が少しでも小さくなるように努力すべき	人口減少は望ましくないが、 仕方がない	人口減少は望ましい	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,655)	30.7	19.4	25.4	17.7	0.4	4.5	1.9
男性 (n=717)	36.8	19.4	21.5	16.9	0.8	3.6	1.0
女性 (n=909)	26.0	19.4	28.9	18.6	0.0	5.4	1.8
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	28.6	21.4	10.7	7.1	3.6	0.0	28.6

## 【年齢別】

(単位：%)

	人口減少は望ましくなく、 増加するように努力すべき	人口減少は望ましくなく、 現在程度の人口を維持するように努力すべき	人口減少は望ましくないが、 減少幅が少しでも小さくなるように努力すべき	人口減少は望ましくないが、 仕方がない	人口減少は望ましい	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,655)	30.7	19.4	25.4	17.7	0.4	4.5	1.9
18～19歳 (n=23)	17.4	26.1	30.4	26.1	0.0	0.0	0.0
20～24歳 (n=47)	21.3	17.0	27.7	25.5	0.0	6.4	2.1
25～29歳 (n=50)	20.0	20.0	38.0	16.0	2.0	2.0	2.0
30～34歳 (n=70)	35.7	20.0	24.3	12.9	0.0	7.1	0.0
35～39歳 (n=98)	20.4	22.4	29.6	24.5	0.0	2.0	1.0
40～44歳 (n=120)	30.8	22.5	23.3	15.0	1.7	5.8	0.8
45～49歳 (n=116)	23.3	23.3	24.1	22.4	0.0	6.9	0.0
50～54歳 (n=116)	31.9	20.7	22.4	15.5	0.0	9.5	0.0
55～59歳 (n=136)	28.7	15.4	28.7	25.0	0.0	1.5	0.7
60～64歳 (n=160)	27.5	22.5	28.8	18.8	0.0	1.9	0.6
65～69歳 (n=216)	34.7	19.0	25.9	15.7	0.5	3.2	0.9
70～74歳 (n=219)	35.6	18.7	24.2	15.5	0.9	3.7	1.4
75～79歳 (n=111)	31.5	17.1	20.7	19.8	0.0	4.5	6.3
80歳以上 (n=168)	39.3	14.9	20.8	10.7	0.6	7.7	6.0
無回答 (n=5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0



## 【居住地区別】

(単位：%)

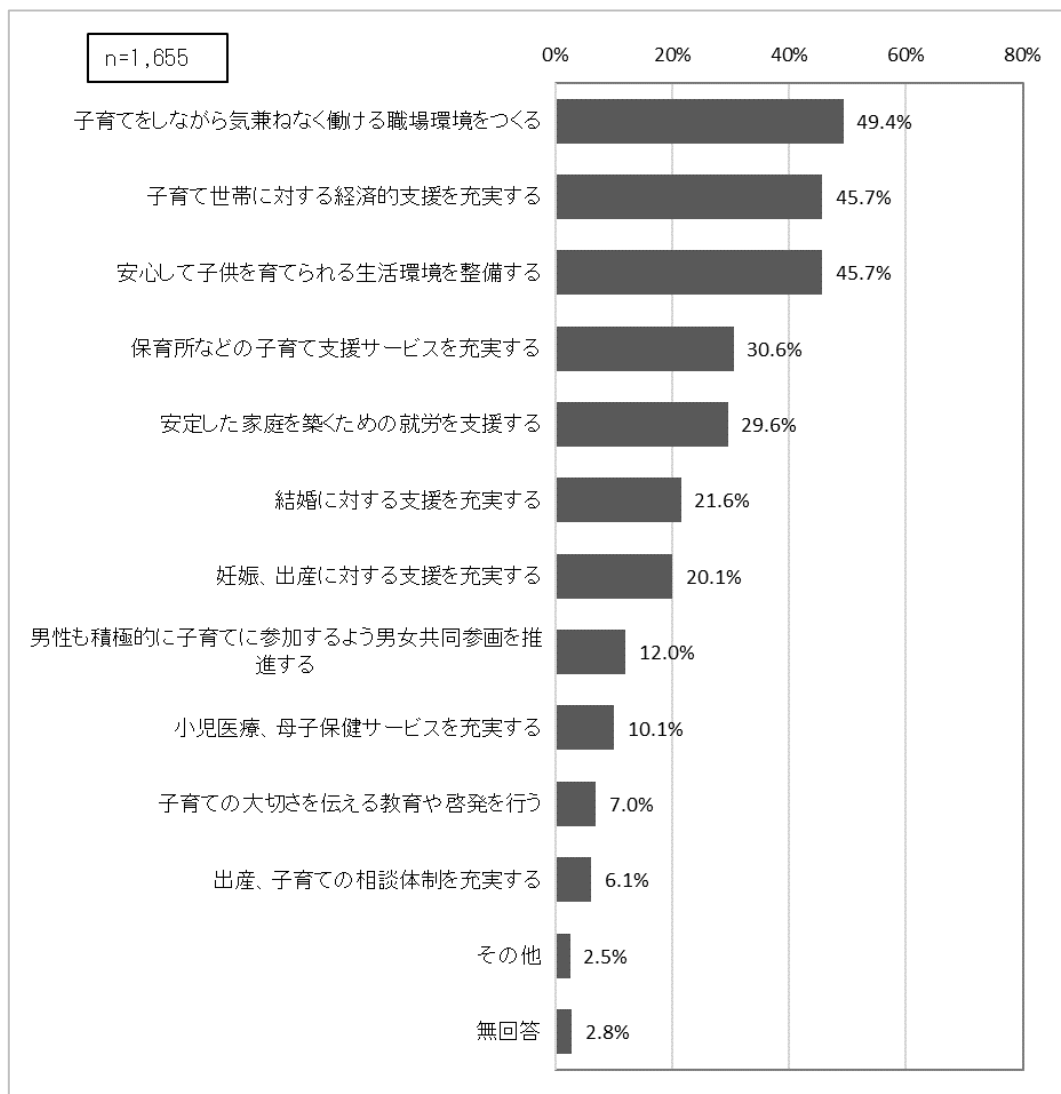
	人口減少は望ましくなく、 増加するように努力すべき	人口減少は望ましくなく、 現在程度の人口を維持するように努力すべき	人口減少は望ましくなくが、 減少幅が少しでも小さくなるように努力すべき	人口減少は望ましくないが、 仕方がない	人口減少は望ましい	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,655)	30.7	19.4	25.4	17.7	0.4	4.5	1.9
大田原地区 (n=740)	28.2	21.2	23.9	19.1	0.3	5.5	1.8
金田地区 (n=229)	30.6	19.7	25.8	15.7	0.4	4.8	3.1
親園地区 (n=92)	28.3	22.8	23.9	21.7	0.0	3.3	0.0
野崎地区 (n=148)	30.4	19.6	31.8	10.8	2.0	4.7	0.7
佐久山地区 (n=60)	38.3	18.3	20.0	18.3	1.7	1.7	1.7
湯津上地区 (n=105)	35.2	14.3	24.8	22.9	0.0	1.0	1.9
黒羽地区 (n=131)	38.2	14.5	22.9	17.6	0.0	4.6	2.3
川西地区 (n=64)	31.3	15.6	37.5	9.4	0.0	6.3	0.0
両郷地区 (n=42)	28.6	16.7	31.0	16.7	0.0	2.4	4.8
須賀川地区 (n=35)	40.0	20.0	25.7	14.3	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=9)	22.2	0.0	11.1	44.4	0.0	0.0	22.2

問 21 少子化に歯止めをかけるためには、どのような対策が必要だと思いますか。  
 あてはまる番号に 3 つまで丸をつけてください。(3LA)

少子化に歯止めをかけるために必要な対策として、「子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる」が 49.4%と最も高くなっています。

次いで、「子育て世帯に対する経済的支援を充実する」が 45.7%、「安心して子供を育てられる生活環境を整備する」が 45.7%、「保育所などの子育て支援サービスを充実する」が 30.6%、「安定した家庭を築くための就労を支援する」が 29.6%と続いています。

経済的な基盤の安定を確保することや、そのための生活環境の整備を求めていることがうかがえる結果となっています。



## 【性別】

(単位：%)

	子育て世帯に対する経済的支援を充実する	安心して子供を育てられる生活環境を整備する	保育所などの子育て支援サービスを充実する	妊娠、出産に対する支援を充実する	子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる	子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる	小児医療、母子保健サービスを充実する	男性も積極的に子育てに参加するよう男女共同参画を推進する	子育ての大切さを伝える教育や啓発を行う	安定した家庭を築くための就労を支援する	出産、子育ての相談体制を充実する	結婚に対する支援を充実する	その他	無回答
全体 (n=1,655)	45.7	45.7	30.6	20.1	49.4	10.1	12.0	7.0	29.6	6.1	21.6	2.5	2.8	
男性 (n=717)	50.1	48.5	28.6	21.2	44.2	8.1	10.5	6.6	31.8	6.7	24.3	2.1	2.1	
女性 (n=909)	42.6	44.0	32.3	18.9	54.1	11.7	13.4	7.5	28.3	5.8	19.5	3.0	2.6	
その他 (n=1)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	39.3	28.6	21.4	25.0	25.0	10.7	7.1	3.6	17.9	0.0	21.4	0.0	28.6	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	子育て世帯に対する経済的支援を充実する	安心して子供を育てられる生活環境を整備する	保育所などの子育て支援サービスを充実する	妊娠、出産に対する支援を充実する	子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる	子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる	小児医療、母子保健サービスを充実する	男性も積極的に子育てに参加するよう男女共同参画を推進する	子育ての大切さを伝える教育や啓発を行う	安定した家庭を築くための就労を支援する	出産、子育ての相談体制を充実する	結婚に対する支援を充実する	その他	無回答
全体 (n=1,655)	45.7	45.7	30.6	20.1	49.4	10.1	12.0	7.0	29.6	6.1	21.6	2.5	2.8	
18～19歳 (n=23)	65.2	30.4	39.1	52.2	30.4	13.0	17.4	8.7	8.7	13.0	17.4	0.0	0.0	
20～24歳 (n=47)	53.2	44.7	25.5	29.8	46.8	10.6	10.6	4.3	21.3	0.0	21.3	2.1	2.1	
25～29歳 (n=50)	64.0	30.0	34.0	34.0	52.0	4.0	12.0	6.0	28.0	4.0	18.0	0.0	2.0	
30～34歳 (n=70)	71.4	44.3	32.9	24.3	48.6	8.6	18.6	2.9	18.6	5.7	8.6	2.9	1.4	
35～39歳 (n=98)	63.3	34.7	30.6	23.5	50.0	13.3	20.4	2.0	27.6	5.1	14.3	3.1	1.0	
40～44歳 (n=120)	56.7	44.2	30.8	20.8	49.2	14.2	10.8	5.0	34.2	3.3	14.2	2.5	0.8	
45～49歳 (n=116)	50.0	41.4	31.9	15.5	48.3	12.1	17.2	8.6	36.2	6.9	12.9	4.3	0.9	
50～54歳 (n=116)	44.8	44.0	31.0	16.4	50.0	10.3	11.2	3.4	36.2	10.3	18.1	1.7	1.7	
55～59歳 (n=136)	42.6	49.3	36.0	16.9	52.9	12.5	10.3	5.9	35.3	8.8	22.1	2.2	0.0	
60～64歳 (n=160)	46.3	45.6	29.4	22.5	56.9	7.5	8.8	6.3	30.6	7.5	25.0	1.9	1.3	
65～69歳 (n=216)	38.0	52.8	29.2	17.6	52.3	9.3	12.0	7.9	28.2	6.5	25.9	4.6	1.9	
70～74歳 (n=219)	38.8	51.6	34.7	17.4	47.0	11.4	7.8	9.1	30.6	6.4	28.3	1.8	2.7	
75～79歳 (n=111)	27.9	42.3	23.4	16.2	56.8	7.2	10.8	7.2	30.6	2.7	28.8	3.6	7.2	
80歳以上 (n=168)	38.7	48.2	26.2	20.2	37.5	7.7	13.1	13.1	23.2	4.8	23.8	1.2	9.5	
無回答 (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

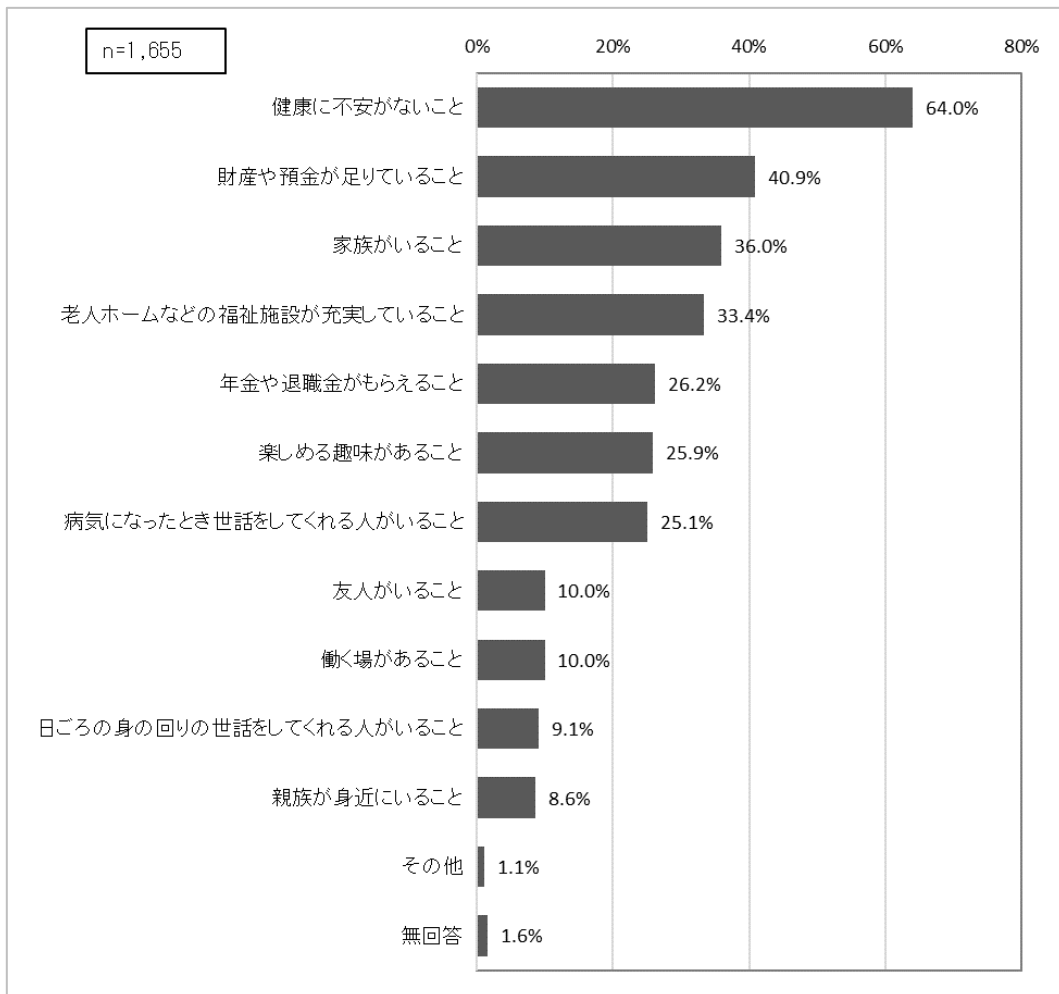
	子育て世帯に対する経済的支援を充実する	安心して子供を育てられる生活環境を整備する	保育所などの子育て支援サービスを充実する	妊娠、出産に対する支援を充実する	子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる	小児医療、母子保健サービスを充実する	男性も積極的に子育てに参加するよう男女共同参画を推進する	子育ての大切さを伝える教育や啓発を行う	安定した家庭を築くための就労を支援する	出産、子育ての相談体制を充実する	結婚に対する支援を充実する	その他	無回答
全体 (n=1,655)	45.7	45.7	30.6	20.1	49.4	10.1	12.0	7.0	29.6	6.1	21.6	2.5	2.8
大田原地区 (n=740)	48.2	45.7	33.8	20.3	49.9	11.5	11.8	6.6	29.5	6.9	15.8	2.7	2.3
金田地区 (n=229)	43.2	51.1	30.6	21.0	45.9	7.9	12.2	6.1	25.8	5.2	24.9	2.2	3.9
親園地区 (n=92)	43.5	45.7	34.8	19.6	50.0	13.0	13.0	10.9	26.1	7.6	22.8	1.1	0.0
野崎地区 (n=148)	37.2	47.3	32.4	16.2	56.8	6.8	15.5	4.1	32.4	6.1	26.4	4.1	1.4
佐久山地区 (n=60)	43.3	51.7	28.3	21.7	45.0	6.7	1.7	10.0	26.7	5.0	26.7	3.3	3.3
湯津上地区 (n=105)	45.7	37.1	21.9	24.8	44.8	8.6	12.4	4.8	31.4	1.9	35.2	2.9	4.8
黒羽地区 (n=131)	45.0	42.0	20.6	16.0	50.4	11.5	15.3	7.6	32.1	7.6	28.2	1.5	4.6
川西地区 (n=64)	48.4	42.2	26.6	25.0	53.1	10.9	9.4	12.5	37.5	4.7	18.8	0.0	0.0
両郷地区 (n=42)	42.9	45.2	28.6	23.8	42.9	7.1	16.7	11.9	26.2	7.1	19.0	0.0	7.1
須賀川地区 (n=35)	60.0	51.4	28.6	14.3	48.6	8.6	5.7	5.7	31.4	2.9	31.4	5.7	0.0
無回答 (n=9)	33.3	0.0	0.0	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	44.4	0.0	22.2	11.1	33.3

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

問 22 あなたは、ゆたかな老後を送るためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
次の中から3つまで丸をつけてください。(3LA)

豊かな老後を送るために必要なこととして、「健康に不安がないこと」が64.0%と最も高くなっています。

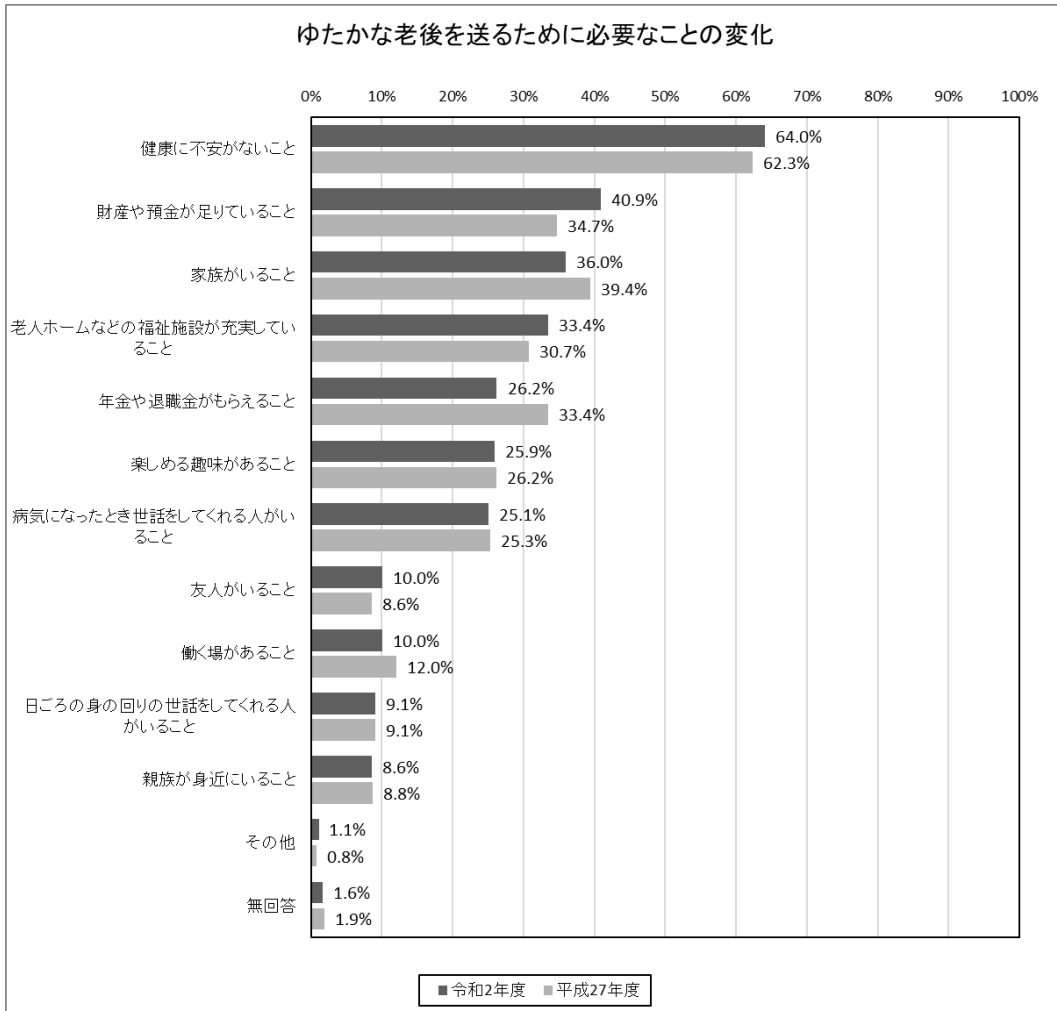
次いで、「財産や預金が足りていること」が40.9%、「家族がいること」が36.0%、「老人ホームなどの福祉施設が充実していること」が33.4%、「年金や退職金がもらえること」が26.2%、「楽しめる趣味があること」が25.9%、「病気になったとき世話をしてくれる人がいること」が25.1%と続いています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、「財産や預金が足りていること」及び「老人ホームなどの福祉施設が充実していること」への回答割合の増加が比較的顕著となっています。

一方、「年金や退職金がもらえること」や「家族がいること」は回答割合の減少が他の項目と比べ多くなっています。



## 【性別】

(単位：%)

	健康に不安がないこと	病気になる人があるとき世話をしてくれる人がいること	日ごろの身の回りの世話をしてくれる人がいること	家族がいること	親族が身近にいること	友人がいること	充実していること	老人ホームなどの福祉施設が	楽しめる趣味があること	財産や預金が足りていること	働く場があること	年金や退職金がもらえること	その他	無回答
全体 (n=1,655)	64.0	25.1	9.1	36.0	8.6	10.0	33.4	25.9	40.9	10.0	26.2	1.1	1.6	
男性 (n=717)	67.5	24.7	9.6	37.5	8.8	9.9	31.1	25.7	41.1	11.6	24.3	0.7	1.0	
女性 (n=909)	61.9	25.1	8.5	34.7	8.6	10.0	35.5	26.4	41.6	8.9	28.5	1.4	1.5	
その他 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	46.4	32.1	17.9	39.3	7.1	14.3	21.4	14.3	10.7	7.1	3.6	0.0	21.4	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	健康に不安がないこと	病気になる人があるとき世話をしてくれる人がいること	日ごろの身の回りの世話をしてくれる人がいること	家族がいること	親族が身近にいること	友人がいること	充実していること	老人ホームなどの福祉施設が	楽しめる趣味があること	財産や預金が足りていること	働く場があること	年金や退職金がもらえること	その他	無回答
全体 (n=1,655)	64.0	25.1	9.1	36.0	8.6	10.0	33.4	25.9	40.9	10.0	26.2	1.1	1.6	
18～19歳 (n=23)	65.2	30.4	8.7	34.8	8.7	13.0	21.7	26.1	39.1	13.0	39.1	0.0	0.0	
20～24歳 (n=47)	46.8	21.3	10.6	34.0	6.4	14.9	21.3	34.0	46.8	6.4	31.9	2.1	2.1	
25～29歳 (n=50)	38.0	18.0	6.0	34.0	6.0	18.0	24.0	32.0	58.0	4.0	46.0	2.0	2.0	
30～34歳 (n=70)	52.9	20.0	8.6	21.4	2.9	10.0	24.3	40.0	71.4	10.0	32.9	0.0	1.4	
35～39歳 (n=98)	58.2	14.3	2.0	39.8	6.1	7.1	32.7	22.4	63.3	11.2	32.7	1.0	1.0	
40～44歳 (n=120)	61.7	18.3	7.5	36.7	5.8	10.8	24.2	23.3	53.3	16.7	36.7	1.7	0.0	
45～49歳 (n=116)	56.9	21.6	5.2	29.3	7.8	8.6	26.7	19.8	53.4	19.8	44.8	0.0	0.9	
50～54歳 (n=116)	72.4	21.6	5.2	29.3	5.2	7.8	34.5	21.6	45.7	16.4	31.0	1.7	0.0	
55～59歳 (n=136)	68.4	19.9	9.6	27.2	5.9	6.6	29.4	30.9	48.5	15.4	35.3	1.5	0.0	
60～64歳 (n=160)	68.8	29.4	5.6	30.0	6.3	10.0	38.8	27.5	41.3	11.9	22.5	2.5	1.3	
65～69歳 (n=216)	71.3	24.5	10.2	43.5	7.9	10.6	38.0	28.2	37.0	8.3	13.9	0.9	1.4	
70～74歳 (n=219)	69.9	29.2	11.0	40.6	12.3	11.4	43.4	24.7	27.4	5.0	15.5	0.5	2.3	
75～79歳 (n=111)	59.5	34.2	7.2	43.2	12.6	17.1	34.2	25.2	23.4	6.3	18.0	0.9	2.7	
80歳以上 (n=168)	64.9	35.7	21.4	42.9	16.1	5.4	35.7	20.8	16.1	1.2	19.0	0.6	3.6	
無回答 (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

	健康に不安がないこと	病気になったとき世話をしてくれる人がいること	日ごろの身の回りの世話をしてくれる人がいること	家族がいること	親族が身近にいること	友人がいること	老人ホームなどの福祉施設が充実していること	楽しめる趣味があること	財産や預金が足りていること	働く場があること	年金や退職金がもらえること	その他	無回答
全体 (n=1,655)	64.0	25.1	9.1	36.0	8.6	10.0	33.4	25.9	40.9	10.0	26.2	1.1	1.6
大田原地区 (n=740)	65.8	23.8	8.0	32.2	7.2	9.9	29.7	28.4	44.9	10.7	29.3	1.2	1.4
金田地区 (n=229)	62.0	27.5	11.4	39.3	8.3	10.0	36.7	19.7	36.7	9.6	24.5	1.7	1.7
親園地区 (n=92)	66.3	23.9	9.8	30.4	5.4	12.0	32.6	21.7	50.0	13.0	30.4	0.0	1.1
野崎地区 (n=148)	64.2	26.4	8.8	33.8	10.1	9.5	42.6	23.0	39.9	9.5	27.0	1.4	0.7
佐久山地区 (n=60)	71.7	23.3	8.3	36.7	18.3	11.7	31.7	26.7	30.0	11.7	25.0	0.0	0.0
湯津上地区 (n=105)	61.0	26.7	8.6	41.0	12.4	8.6	41.0	26.7	34.3	5.7	22.9	0.0	1.9
黒羽地区 (n=131)	64.1	22.1	6.9	40.5	12.2	10.7	39.7	26.7	35.9	9.2	19.8	0.8	3.1
川西地区 (n=64)	56.3	25.0	14.1	48.4	10.9	10.9	23.4	28.1	40.6	14.1	18.8	1.6	0.0
両郷地区 (n=42)	57.1	33.3	14.3	45.2	7.1	7.1	21.4	35.7	38.1	4.8	16.7	0.0	4.8
須賀川地区 (n=35)	60.0	34.3	11.4	54.3	2.9	11.4	45.7	14.3	28.6	5.7	17.1	2.9	2.9
無回答 (n=9)	33.3	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	33.3	0.0	22.2

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。



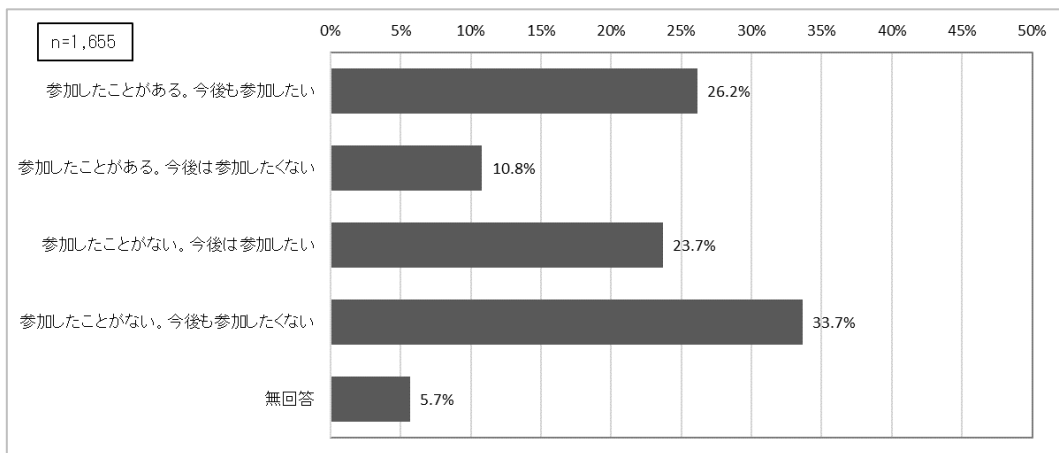
## 今後のまちづくりについてお伺いします。

問 23 市政における様々な場面で、市民参加が重要となります。あなたは、市活動への参加経験がありますか。

次の中から 1 つ丸をつけてください。(SA)

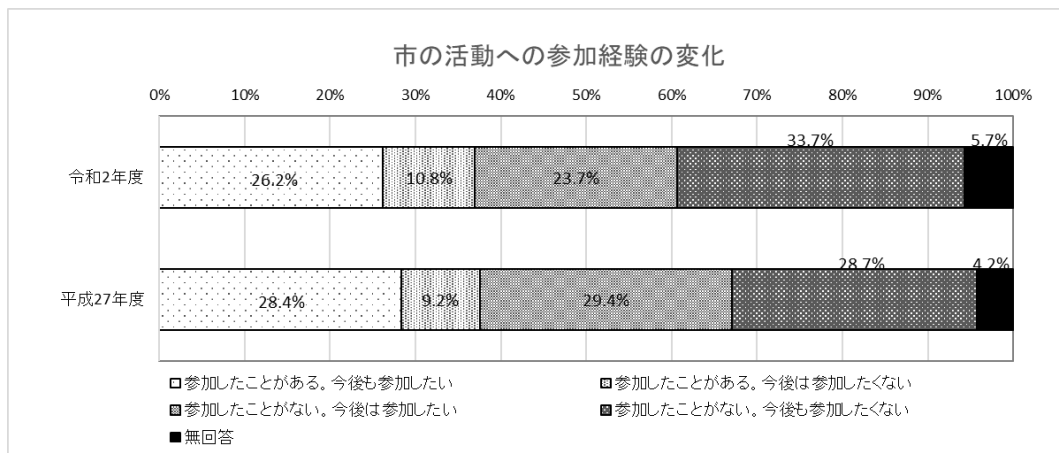
市民活動への参加経験について、「参加したことがない。今後も参加したくない」が 33.7%と最も高くなっています。

次いで、「今後も参加したい」が 26.2%、「参加したことがない。今後は参加したい」が 23.7%、「参加したことがある。今後は参加したくない」は 10.8%と続いています。



### 〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、今回調査結果はほぼ同じ回答傾向となっていますが、「参加したことがない。今後も参加したくない」への回答割合が多少増加し、「参加したことがない。今後は参加したい」への回答割合が多少減少しています。



## 【性別】

(単位：%)

	参加したことがある。 今後も参加したい	参加したことがある。 今後は参加したくない	参加したくない。 今後は参加したい	参加したくない。 今後も参加したくない	無回答
全体 (n=1,655)	26.2	10.8	23.7	33.7	5.7
男性 (n=717)	28.2	12.4	24.1	30.4	4.9
女性 (n=909)	24.8	9.8	23.4	36.6	5.4
その他 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
無回答 (n=28)	21.4	3.6	17.9	21.4	35.7

## 【年齢別】

(単位：%)

	参加したことがある。 今後も参加したい	参加したことがある。 今後は参加したくない	参加したくない。 今後は参加したい	参加したくない。 今後も参加したくない	無回答
全体 (n=1,655)	26.2	10.8	23.7	33.7	5.7
18～19歳 (n=23)	26.1	8.7	30.4	30.4	4.3
20～24歳 (n=47)	10.6	8.5	25.5	51.1	4.3
25～29歳 (n=50)	12.0	4.0	36.0	46.0	2.0
30～34歳 (n=70)	14.3	1.4	30.0	52.9	1.4
35～39歳 (n=98)	15.3	4.1	38.8	38.8	3.1
40～44歳 (n=120)	22.5	10.0	31.7	33.3	2.5
45～49歳 (n=116)	23.3	7.8	27.6	39.7	1.7
50～54歳 (n=116)	25.0	10.3	22.4	37.1	5.2
55～59歳 (n=136)	32.4	14.0	27.9	23.5	2.2
60～64歳 (n=160)	30.6	11.3	23.1	30.6	4.4
65～69歳 (n=216)	30.6	11.6	22.7	31.9	3.2
70～74歳 (n=219)	37.0	11.4	14.2	29.2	8.2
75～79歳 (n=111)	27.9	18.0	17.1	24.3	12.6
80歳以上 (n=168)	22.0	15.5	15.5	33.9	13.1
無回答 (n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

## 【居住地区別】

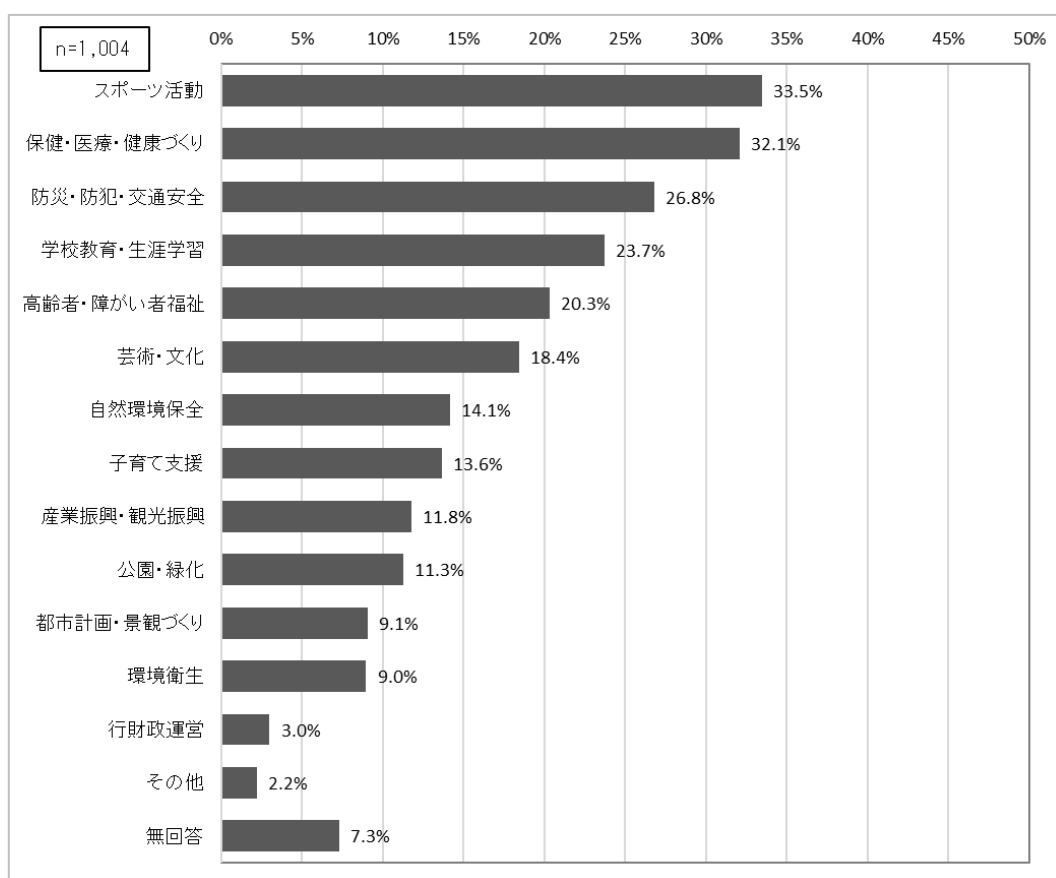
(単位：%)

	参加したことがある。 今後は参加したい	参加したことがある。 今後は参加したくない	参加したことがない。 今後は参加したい	参加したことがない。 今後も参加したくない	無回答
全体 (n=1,655)	26.2	10.8	23.7	33.7	5.7
大田原地区 (n=740)	25.1	8.4	24.7	37.2	4.6
金田地区 (n=229)	27.9	12.7	19.2	33.2	7.0
親園地区 (n=92)	27.2	17.4	18.5	35.9	1.1
野崎地区 (n=148)	25.0	8.1	29.1	32.4	5.4
佐久山地区 (n=60)	43.3	8.3	21.7	23.3	3.3
湯津上地区 (n=105)	32.4	11.4	20.0	29.5	6.7
黒羽地区 (n=131)	20.6	15.3	24.4	32.1	7.6
川西地区 (n=64)	29.7	12.5	21.9	26.6	9.4
両郷地区 (n=42)	16.7	19.0	31.0	26.2	7.1
須賀川地区 (n=35)	22.9	17.1	31.4	20.0	8.6
無回答 (n=9)	0.0	11.1	11.1	33.3	44.4

問 23-1 問 23 で「1.参加したことがある。今後も参加したい」、「2.参加したことがある。今後は参加したくない」、「3.参加したことがない。今後は参加したい」と回答した方のみ参加したことがある市民活動は何ですか。また、今後参加したい活動は何ですか。あてはまる番号に 3 つまで丸をつけてください。(3LA)

参加したことがある市民活動または今後参加したい市民活動は、「スポーツ活動」が 33.5%と最も高くなっています。

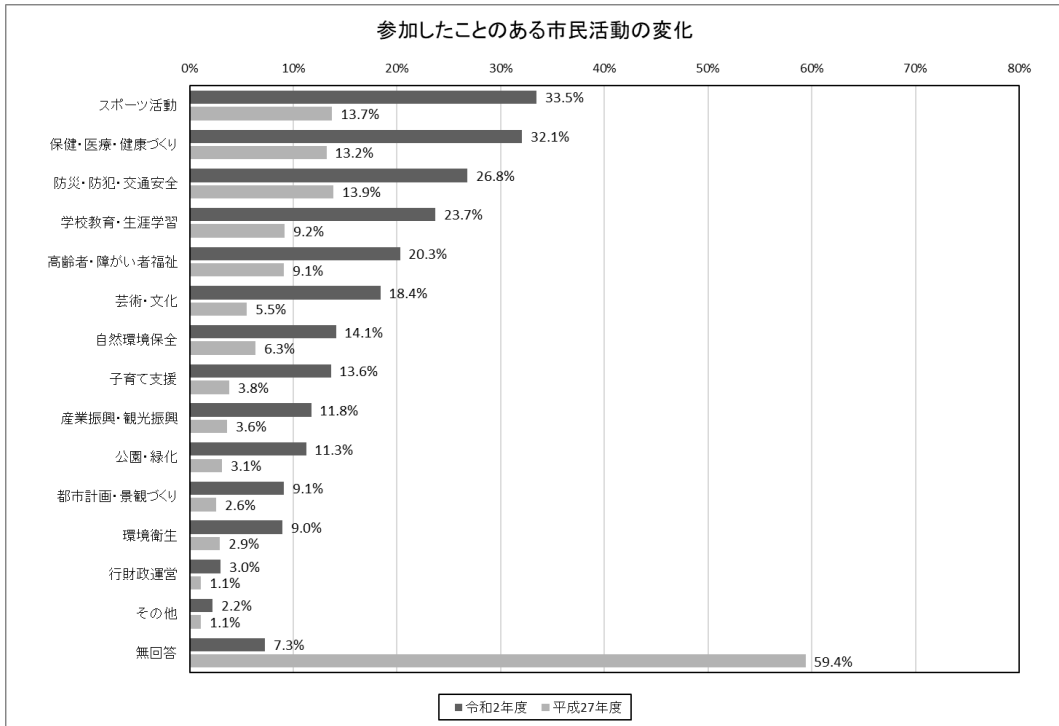
次いで、「保健・医療・健康づくり」が 32.1%、「防災・防犯・交通安全」が 26.8%、「学校教育・生涯学習」が 23.7%、「高齢者・障がい者福祉」が 20.3%と続いています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、「スポーツ活動」、「保険・医療・健康づくり」及び「学校教育・生涯学習」への回答割合の減少が比較的顕著となっています。

また、「無回答」が7.3%と前回調査に比べ大幅に減少しています。



## 【性別】

(単位：%)

	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,004)	9.1	26.8	32.1	33.5	9.0	13.6	20.3	14.1	11.3	23.7	18.4	11.8	3.0	2.2	7.3
男性 (n=464)	13.8	33.0	23.5	37.9	12.1	7.1	14.9	20.7	13.1	18.1	15.7	16.4	4.5	1.7	7.8
女性 (n=527)	5.1	21.1	39.8	29.4	6.5	19.2	25.4	8.0	9.7	29.2	21.3	8.0	1.7	2.5	6.5
その他 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=12)	0.0	33.3	25.0	41.7	0.0	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,004)	9.1	26.8	32.1	33.5	9.0	13.6	20.3	14.1	11.3	23.7	18.4	11.8	3.0	2.2	7.3
18～19歳 (n=15)	13.3	13.3	13.3	33.3	20.0	13.3	26.7	26.7	13.3	20.0	33.3	13.3	0.0	0.0	6.7
20～24歳 (n=21)	14.3	23.8	23.8	52.4	0.0	9.5	19.0	9.5	4.8	19.0	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8
25～29歳 (n=26)	23.1	15.4	15.4	26.9	7.7	34.6	7.7	3.8	23.1	3.8	42.3	30.8	3.8	3.8	3.8
30～34歳 (n=32)	3.1	31.3	25.0	25.0	3.1	37.5	9.4	12.5	15.6	28.1	25.0	18.8	3.1	3.1	6.3
35～39歳 (n=57)	12.3	29.8	24.6	38.6	1.8	36.8	8.8	8.8	26.3	24.6	21.1	15.8	0.0	0.0	1.8
40～44歳 (n=77)	9.1	20.8	26.0	42.9	6.5	29.9	7.8	7.8	11.7	28.6	14.3	22.1	1.3	2.6	3.9
45～49歳 (n=68)	11.8	32.4	26.5	35.3	11.8	23.5	14.7	10.3	14.7	25.0	19.1	10.3	2.9	0.0	2.9
50～54歳 (n=67)	6.0	26.9	22.4	43.3	13.4	11.9	29.9	14.9	11.9	17.9	11.9	10.4	4.5	1.5	3.0
55～59歳 (n=101)	11.9	33.7	30.7	40.6	9.9	10.9	7.9	7.9	5.9	35.6	16.8	15.8	4.0	3.0	5.9
60～64歳 (n=104)	12.5	22.1	35.6	35.6	12.5	10.6	24.0	20.2	7.7	19.2	17.3	13.5	3.8	1.0	3.8
65～69歳 (n=140)	6.4	32.1	39.3	29.3	12.9	5.7	21.4	18.6	12.1	22.9	22.9	13.6	3.6	0.7	8.6
70～74歳 (n=137)	5.8	29.9	38.7	32.8	6.6	3.6	27.7	18.2	11.7	28.5	19.0	4.4	2.9	2.2	6.6
75～79歳 (n=70)	7.1	24.3	37.1	22.9	5.7	7.1	22.9	15.7	5.7	22.9	15.7	4.3	4.3	4.3	15.7
80歳以上 (n=89)	6.7	16.9	38.2	19.1	7.9	4.5	37.1	13.5	6.7	14.6	12.4	2.2	2.2	6.7	20.2
無回答 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

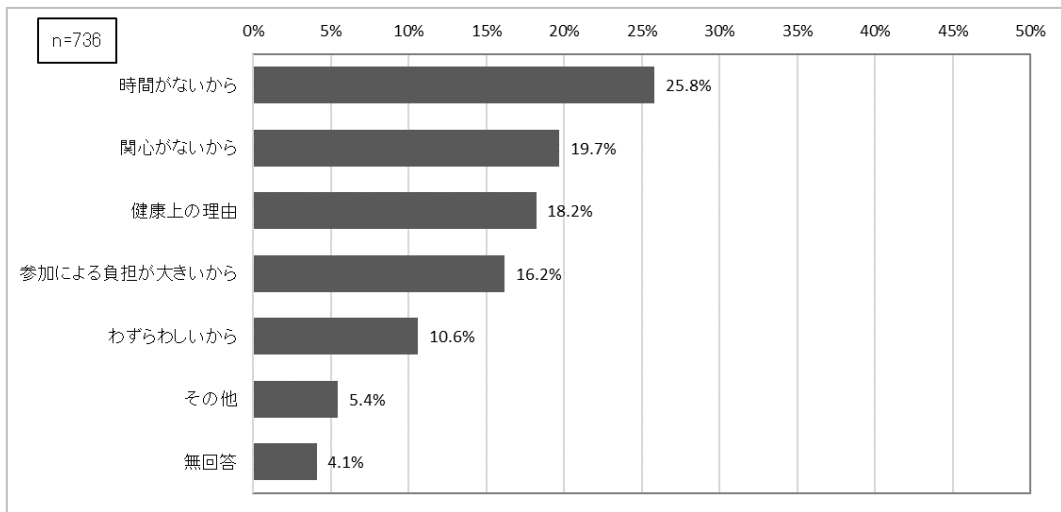
	都市計画・景観づくり	防災・防犯・交通安全	保健・医療・健康づくり	スポーツ活動	環境衛生	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	自然環境保全	公園・緑化	学校教育・生涯学習	芸術・文化	産業振興・観光振興	行財政運営	その他	無回答
全体 (n=1,004)	9.1	26.8	32.1	33.5	9.0	13.6	20.3	14.1	11.3	23.7	18.4	11.8	3.0	2.2	7.3
大田原地区 (n=431)	9.7	22.5	32.7	33.9	7.0	14.6	20.2	9.7	13.5	23.2	22.5	12.8	3.9	3.5	6.7
金田地区 (n=137)	5.8	24.8	32.1	35.8	12.4	16.8	13.9	21.9	13.1	24.1	12.4	11.7	5.1	1.5	7.3
親園地区 (n=58)	6.9	41.4	19.0	37.9	6.9	8.6	15.5	19.0	12.1	22.4	22.4	5.2	3.4	0.0	6.9
野崎地区 (n=92)	13.0	27.2	37.0	32.6	9.8	16.3	19.6	10.9	15.2	26.1	9.8	12.0	0.0	1.1	5.4
佐久山地区 (n=44)	4.5	40.9	50.0	50.0	11.4	6.8	20.5	15.9	4.5	34.1	18.2	11.4	0.0	0.0	2.3
湯津上地区 (n=67)	10.4	38.8	19.4	31.3	13.4	10.4	28.4	23.9	6.0	14.9	14.9	13.4	1.5	0.0	7.5
黒羽地区 (n=79)	11.4	22.8	31.6	25.3	10.1	12.7	24.1	11.4	8.9	25.3	20.3	15.2	3.8	0.0	7.6
川西地区 (n=41)	7.3	29.3	36.6	34.1	9.8	9.8	19.5	17.1	2.4	22.0	12.2	9.8	0.0	4.9	17.1
両郷地区 (n=28)	3.6	17.9	39.3	17.9	0.0	14.3	35.7	10.7	3.6	32.1	10.7	7.1	0.0	3.6	17.9
須賀川地区 (n=25)	12.0	40.0	20.0	28.0	16.0	12.0	20.0	24.0	4.0	20.0	28.0	4.0	0.0	4.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

問 23-2 問 23 で「2.参加したことがある。今後は参加したくない」、「4.参加したことがない。今後も参加したくない」と回答した方のみ  
 市民活動に参加したくない理由は何ですか。  
 あてはまる番号に 1 つ丸をつけてください。(SA)

市民活動に参加したくない理由については、「時間がないから」が 25.8%と最も高くなっています。

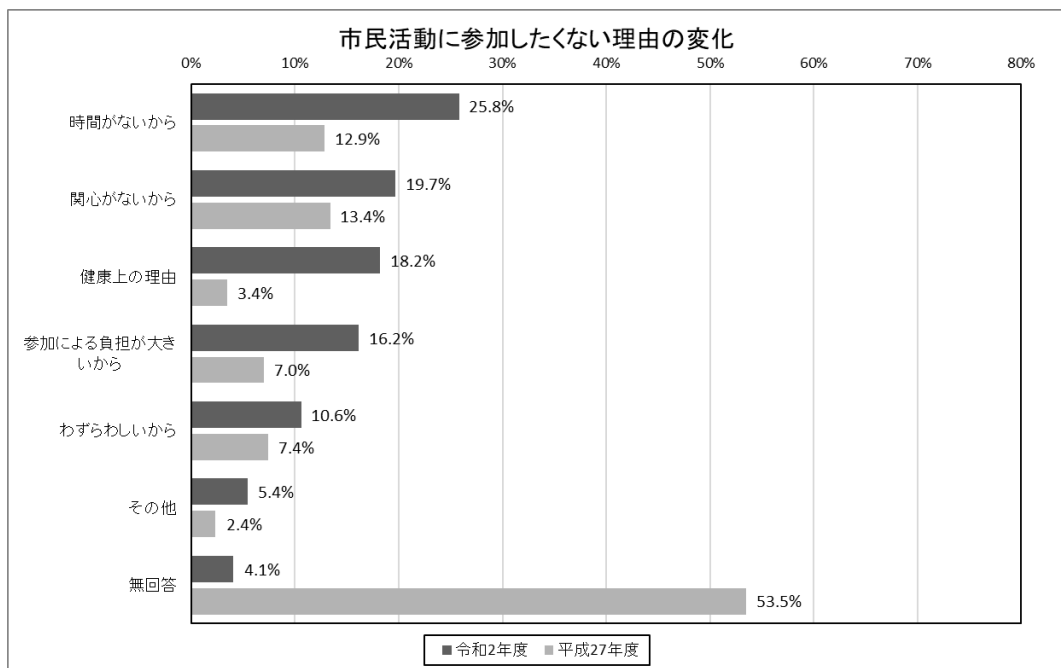
次いで、「関心がないから」が 19.7%、「健康上の理由」が 18.2%、「参加による負担が大き  
 いから」が 16.2%、「わずらわしいから」が 10.6%と続いています。



〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成 27 年度）結果と比較すると、各項目共に回答割合の増加が顕著となっていま  
 す。

また、「無回答」が 4.1%と前回調査に比べ大幅に減少しています。





## 【性別】

(単位：%)

	関心がないから	時間がないから	わずらわしいから	参加による負担が大きいから	健康上の理由	その他	無回答
全体 (n=736)	19.7	25.8	10.6	16.2	18.2	5.4	4.1
男性 (n=307)	22.1	25.1	13.0	17.9	15.0	3.3	3.6
女性 (n=422)	18.0	26.3	9.0	14.9	20.1	7.1	4.5
その他 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0

## 【年齢別】

(単位：%)

	関心がないから	時間がないから	わずらわしいから	参加による負担が大きいから	健康上の理由	その他	無回答
全体 (n=736)	19.7	25.8	10.6	16.2	18.2	5.4	4.1
18～19歳 (n=9)	22.2	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
20～24歳 (n=28)	14.3	53.6	10.7	10.7	3.6	7.1	0.0
25～29歳 (n=25)	28.0	28.0	8.0	20.0	12.0	4.0	0.0
30～34歳 (n=38)	34.2	21.1	21.1	13.2	2.6	2.6	5.3
35～39歳 (n=42)	19.0	47.6	9.5	19.0	0.0	2.4	2.4
40～44歳 (n=52)	23.1	46.2	9.6	15.4	3.8	1.9	0.0
45～49歳 (n=55)	20.0	41.8	7.3	23.6	3.6	1.8	1.8
50～54歳 (n=55)	23.6	30.9	10.9	21.8	9.1	1.8	1.8
55～59歳 (n=51)	19.6	25.5	5.9	23.5	15.7	5.9	3.9
60～64歳 (n=67)	20.9	20.9	13.4	20.9	14.9	3.0	6.0
65～69歳 (n=94)	22.3	24.5	9.6	16.0	19.1	3.2	5.3
70～74歳 (n=89)	13.5	18.0	18.0	7.9	25.8	11.2	5.6
75～79歳 (n=47)	14.9	8.5	2.1	14.9	40.4	14.9	4.3
80歳以上 (n=83)	13.3	2.4	7.2	10.8	50.6	7.2	8.4
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 【居住地区別】

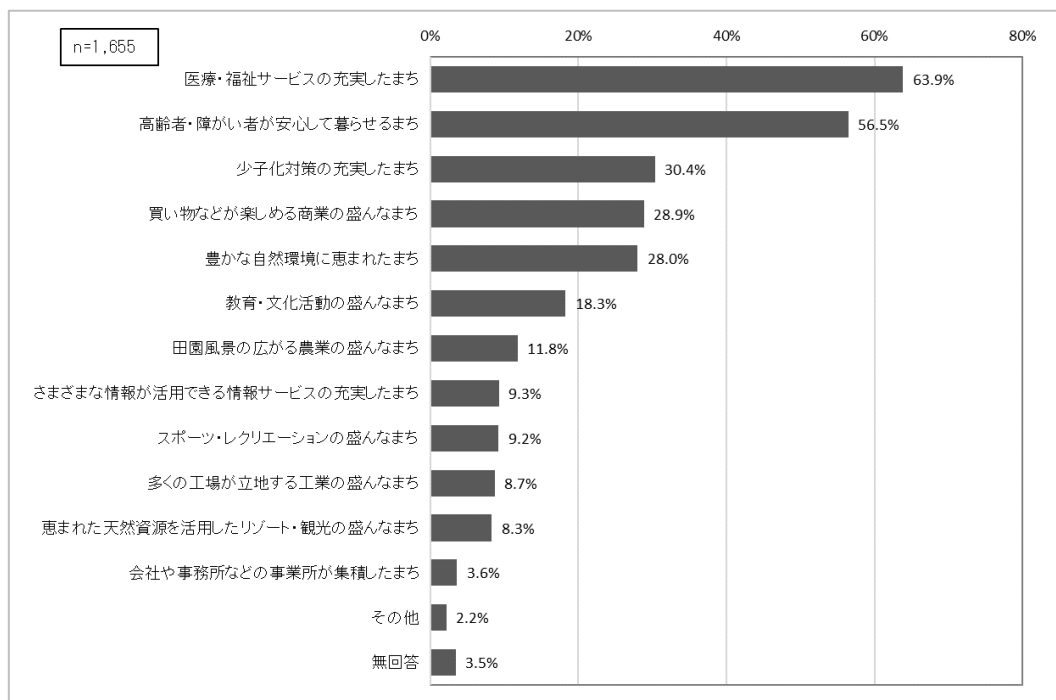
(単位：%)

	関心がないから	時間がないから	わずらわしいから	参加による負担が大きいから	健康上の理由	その他	無回答
全体 (n=736)	19.7	25.8	10.6	16.2	18.2	5.4	4.1
大田原地区 (n=337)	20.5	28.8	11.3	13.1	16.6	5.3	4.5
金田地区 (n=105)	28.6	14.3	7.6	15.2	22.9	7.6	3.8
親園地区 (n=49)	14.3	22.4	10.2	24.5	20.4	6.1	2.0
野崎地区 (n=60)	15.0	20.0	15.0	23.3	21.7	3.3	1.7
佐久山地区 (n=19)	15.8	21.1	10.5	36.8	10.5	5.3	0.0
湯津上地区 (n=43)	11.6	34.9	9.3	11.6	20.9	2.3	9.3
黒羽地区 (n=62)	24.2	25.8	12.9	16.1	14.5	1.6	4.8
川西地区 (n=25)	16.0	36.0	4.0	16.0	16.0	8.0	4.0
両郷地区 (n=19)	0.0	36.8	10.5	10.5	21.1	15.8	5.3
須賀川地区 (n=13)	15.4	23.1	7.7	30.8	15.4	7.7	0.0
無回答 (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

問 24 あなたは、今後、大田原市がどのようなまちになればいいと思いますか。  
あてはまる番号に 3 つまで丸をつけてください。(3LA)

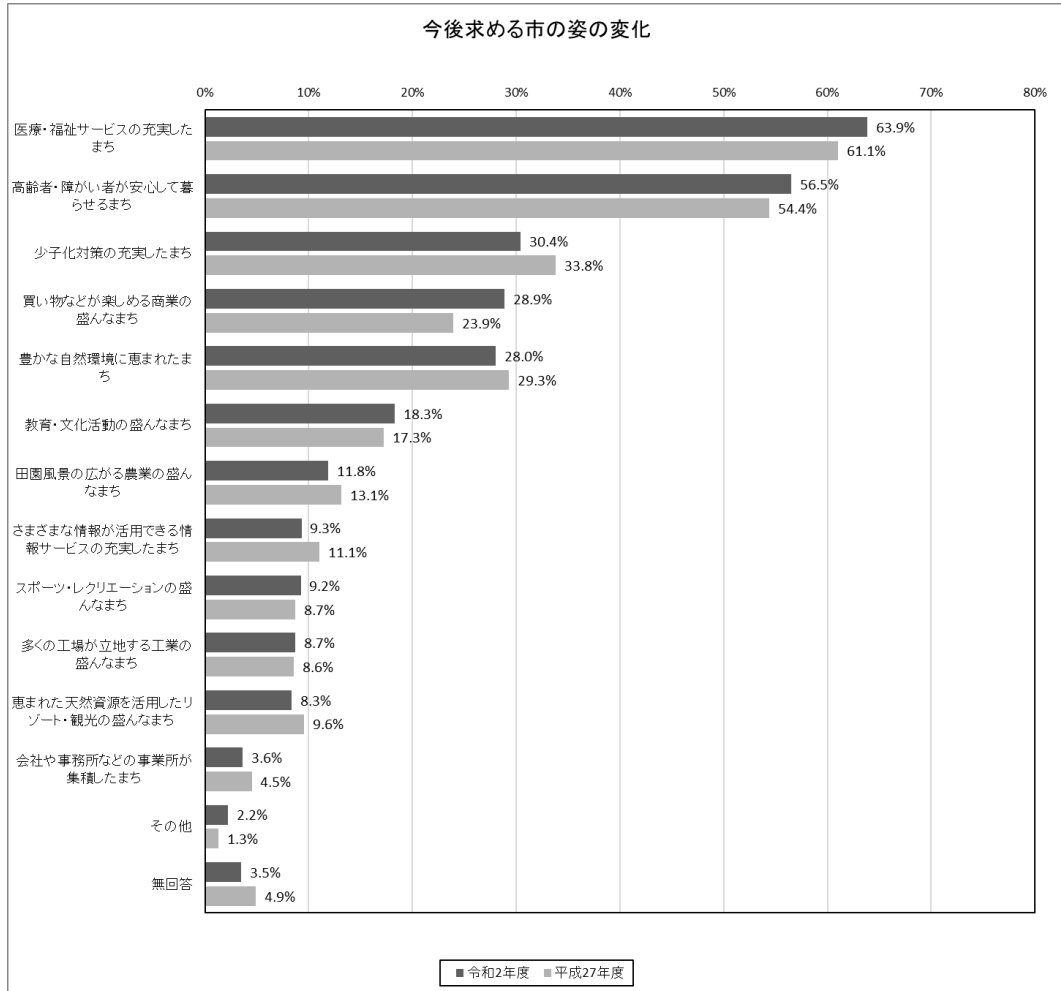
今後求める市の姿については、「医療・福祉サービスの充実したまち」が 63.9%と最も高くなっています。

次いで、「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」が 56.5%、「少子化対策の充実したまち」が 30.4%、「買い物などが楽しめる商業の盛んなまち」が 28.9%、「豊かな自然環境に恵まれたまち」が 28.0%と続いています。



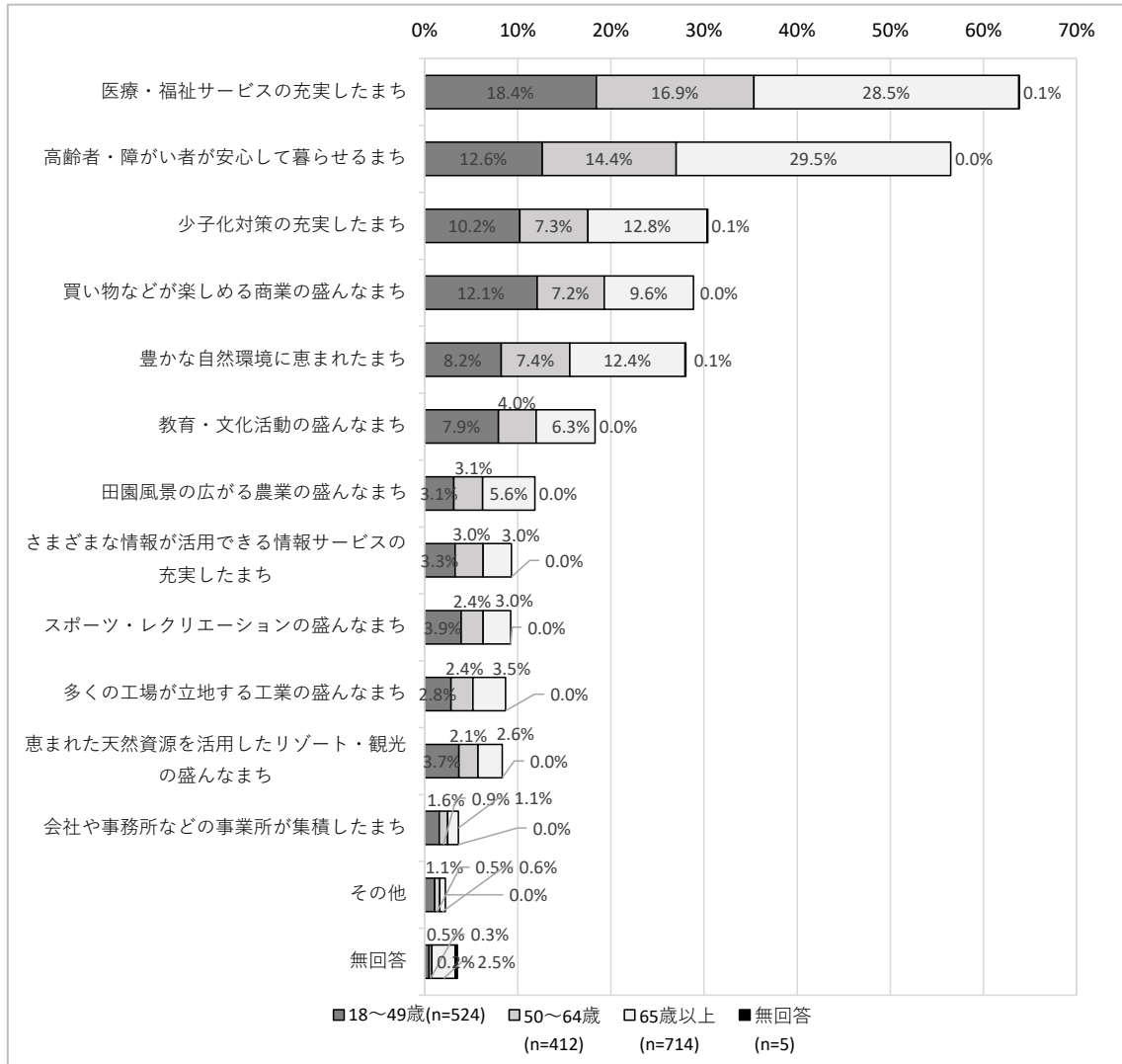
〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、「医療・福祉サービスの充実したまち」及び「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」の項目順位には変わりありませんが、いずれも回答割合は増加しています。



〔年代別調査結果〕

年代別に「今後求める市の姿」をみると、『18～49歳』では、「買い物などが楽しめる商業の盛んなまち」が他世代と比較して多くなっている。『50～64歳』では、概ね全体と同様の結果になっているが「豊かな自然環境に恵まれたまち」が若干多くなっている。『65歳以上』では、「医療・福祉サービスの充実したまち」、「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」が他世代と比較して多くなっている。



## 【性別】

(単位：%)

	少子化対策の充実したまち	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	医療・福祉サービスの充実したまち	教育・文化活動の盛んなまち	スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	豊かな自然環境に恵まれたまち	田園風景の広がる農業の盛んなまち	買い物などが楽しめる商業の盛んなまち	多くの工場が立地する工業の盛んなまち	恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち	集積したまち	会社や事務所などの事業所が集積したまち	さまざまな情報が活用できる情報サービスの充実したまち	その他	無回答
全体 (n=1,655)	30.4	56.5	63.9	18.3	9.2	28.0	11.8	28.9	8.7	8.3	3.6	9.3	2.2	3.5	
男性 (n=717)	33.6	52.9	58.9	15.8	11.9	28.6	13.4	26.5	12.6	10.2	5.9	9.5	1.8	2.9	
女性 (n=909)	28.3	59.5	68.8	20.9	7.3	27.6	10.7	31.2	5.6	6.9	2.0	9.2	2.6	3.0	
その他 (n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答 (n=28)	17.9	50.0	32.1	0.0	7.1	25.0	10.7	14.3	10.7	7.1	0.0	7.1	0.0	35.7	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	少子化対策の充実したまち	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	医療・福祉サービスの充実したまち	教育・文化活動の盛んなまち	スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	豊かな自然環境に恵まれたまち	田園風景の広がる農業の盛んなまち	買い物などが楽しめる商業の盛んなまち	多くの工場が立地する工業の盛んなまち	恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち	集積したまち	会社や事務所などの事業所が集積したまち	さまざまな情報が活用できる情報サービスの充実したまち	その他	無回答
全体 (n=1,655)	30.4	56.5	63.9	18.3	9.2	28.0	11.8	28.9	8.7	8.3	3.6	9.3	2.2	3.5	
18～19歳 (n=23)	34.8	43.5	34.8	43.5	4.3	39.1	8.7	26.1	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	0.0	
20～24歳 (n=47)	25.5	36.2	46.8	21.3	19.1	21.3	17.0	46.8	6.4	12.8	8.5	10.6	6.4	0.0	
25～29歳 (n=50)	42.0	42.0	60.0	18.0	6.0	30.0	4.0	46.0	4.0	12.0	4.0	16.0	0.0	0.0	
30～34歳 (n=70)	42.9	24.3	58.6	30.0	10.0	15.7	7.1	50.0	10.0	8.6	5.7	11.4	1.4	2.9	
35～39歳 (n=98)	35.7	34.7	56.1	24.5	12.2	33.7	11.2	31.6	11.2	11.2	2.0	8.2	5.1	3.1	
40～44歳 (n=120)	27.5	40.0	60.8	25.0	15.8	29.2	11.7	31.7	10.8	15.0	6.7	10.0	2.5	2.5	
45～49歳 (n=116)	25.9	53.4	65.5	23.3	12.1	19.8	8.6	38.8	7.8	10.3	3.4	9.5	5.2	0.0	
50～54歳 (n=116)	24.1	59.5	62.9	19.8	12.1	24.1	11.2	33.6	11.2	7.8	4.3	8.6	2.6	0.9	
55～59歳 (n=136)	30.9	52.9	65.4	16.9	8.8	34.6	11.0	30.9	10.3	8.1	2.9	16.2	2.2	0.7	
60～64歳 (n=160)	31.9	60.6	73.8	13.1	8.1	29.4	14.4	23.8	7.5	8.8	3.8	11.3	1.9	1.9	
65～69歳 (n=216)	35.2	71.3	72.2	15.7	6.0	28.7	8.8	24.1	9.3	6.0	3.2	9.3	0.5	1.9	
70～74歳 (n=219)	27.9	65.3	71.2	16.0	7.3	33.8	15.1	21.9	7.8	5.5	3.2	6.8	0.9	3.7	
75～79歳 (n=111)	26.1	66.7	55.9	12.6	10.8	25.2	16.2	18.9	5.4	7.2	1.8	5.4	2.7	10.8	
80歳以上 (n=168)	27.4	69.6	57.7	13.1	4.8	24.4	13.7	22.6	8.9	6.0	1.8	5.4	2.4	10.1	
無回答 (n=5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

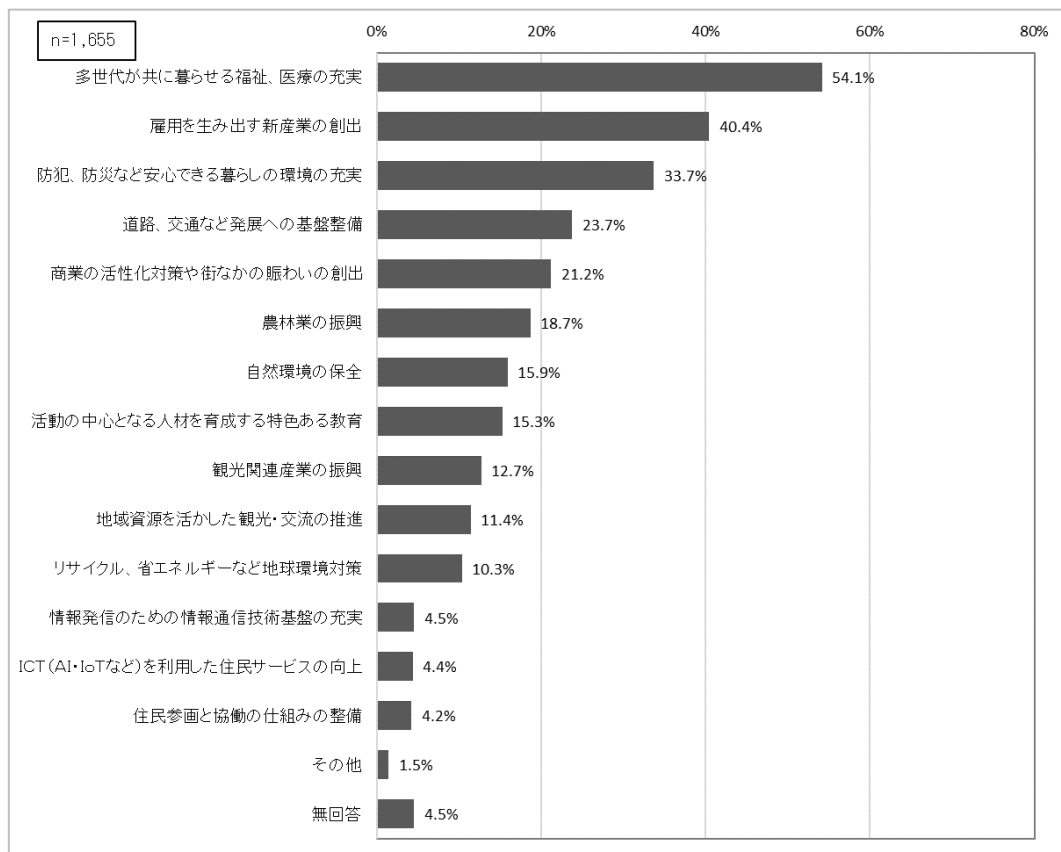
	少子化対策の充実したまち	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	医療・福祉サービスの充実したまち	教育・文化活動の盛んなまち	スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	豊かな自然環境に恵まれたまち	田園風景の広がる農業の盛んなまち	買い物などが楽しめる商業の盛んなまち	多くの工場が立地する工業の盛んなまち	恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち	会社や事務所などの事業所が集積したまち	さまざまな情報が活用できる情報サービスの充実したまち	その他	無回答
全体 (n=1,655)	30.4	56.5	63.9	18.3	9.2	28.0	11.8	28.9	8.7	8.3	3.6	9.3	2.2	3.5
大田原地区 (n=740)	26.9	56.2	64.2	20.8	9.7	27.4	7.2	33.5	8.4	9.1	3.8	10.5	2.4	2.8
金田地区 (n=229)	29.7	64.2	64.2	14.0	10.5	29.7	18.3	21.4	10.5	6.6	2.6	9.2	1.7	3.5
親園地区 (n=92)	26.1	54.3	72.8	18.5	15.2	29.3	19.6	26.1	4.3	6.5	4.3	4.3	2.2	1.1
野崎地区 (n=148)	29.1	57.4	66.2	22.3	8.8	27.0	9.5	29.1	10.8	6.8	4.1	11.5	2.7	2.0
佐久山地区 (n=60)	28.3	53.3	68.3	20.0	16.7	31.7	11.7	21.7	8.3	13.3	3.3	11.7	0.0	1.7
湯津上地区 (n=105)	44.8	52.4	62.9	14.3	7.6	28.6	21.9	25.7	7.6	8.6	1.9	3.8	1.9	2.9
黒羽地区 (n=131)	38.9	52.7	56.5	14.5	4.6	26.7	16.8	26.7	8.4	11.5	4.6	6.1	3.1	6.9
川西地区 (n=64)	29.7	50.0	56.3	15.6	7.8	34.4	7.8	28.1	10.9	4.7	3.1	7.8	1.6	9.4
両郷地区 (n=42)	38.1	61.9	66.7	9.5	0.0	16.7	21.4	21.4	9.5	9.5	7.1	14.3	2.4	4.8
須賀川地区 (n=35)	51.4	57.1	60.0	11.4	2.9	28.6	2.9	31.4	8.6	2.9	2.9	8.6	0.0	5.7
無回答 (n=9)	11.1	33.3	44.4	33.3	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

問 25 あなたは、大田原市を活性化していくために、特に期待される政策はどのような分野だと考えますか。  
 あてはまる番号に 3 つまで丸をつけてください。 (3LA)

市の活性化のために期待される政策としては、「多世代が共に暮らせる福祉、医療の充実」が 54.1%と最も高くなっています。

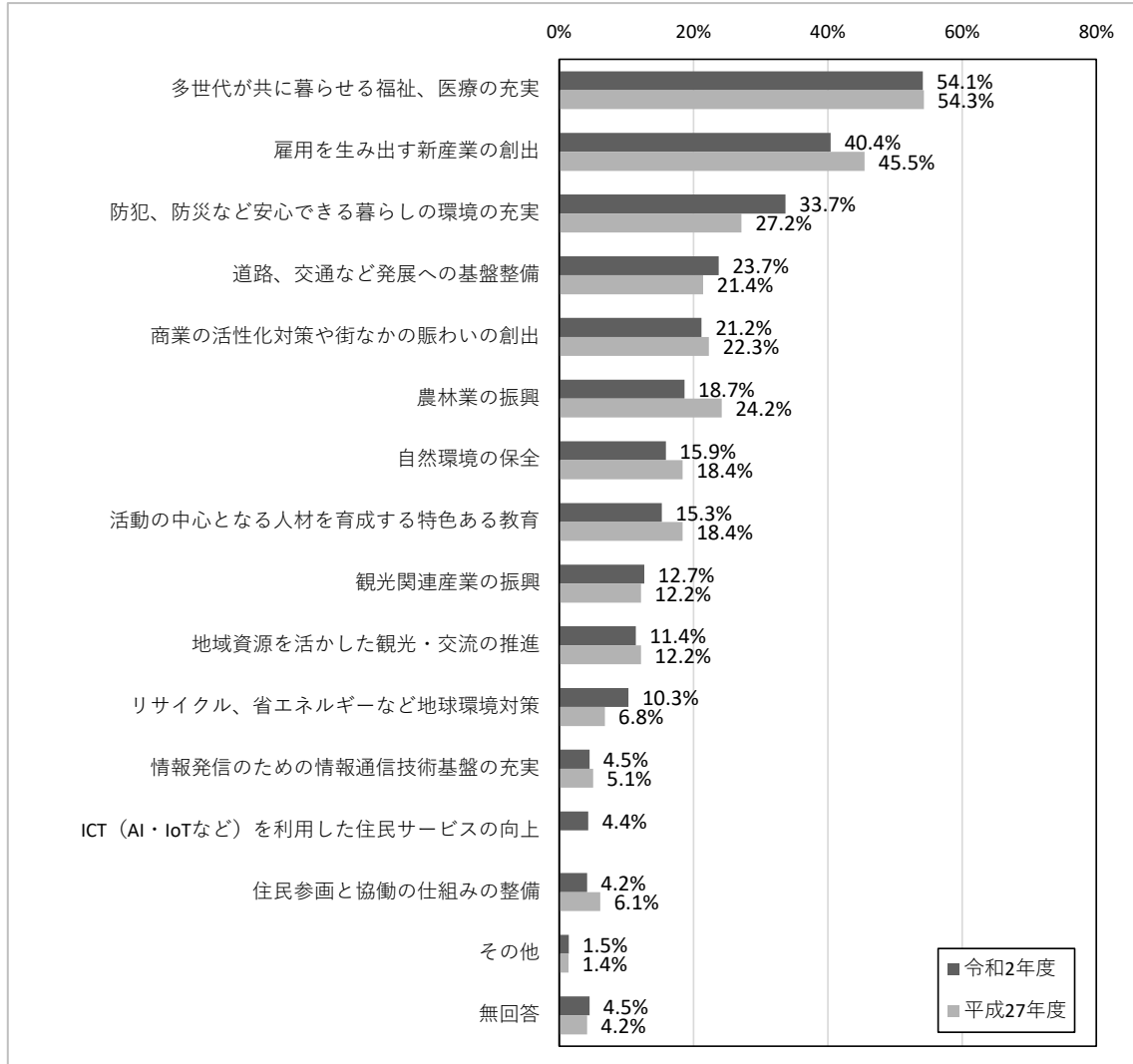
次いで、「雇用を生み出す新産業の創出」が 40.4%、「防犯、防災など安心できる暮らしの環境の充実」が 33.7%、「道路、交通など発展への基盤整備」が 23.7%、「商業の活性化対策や街なかの賑わいの創出」が 21.2%、「農林業の振興」が 18.7%と続いています。





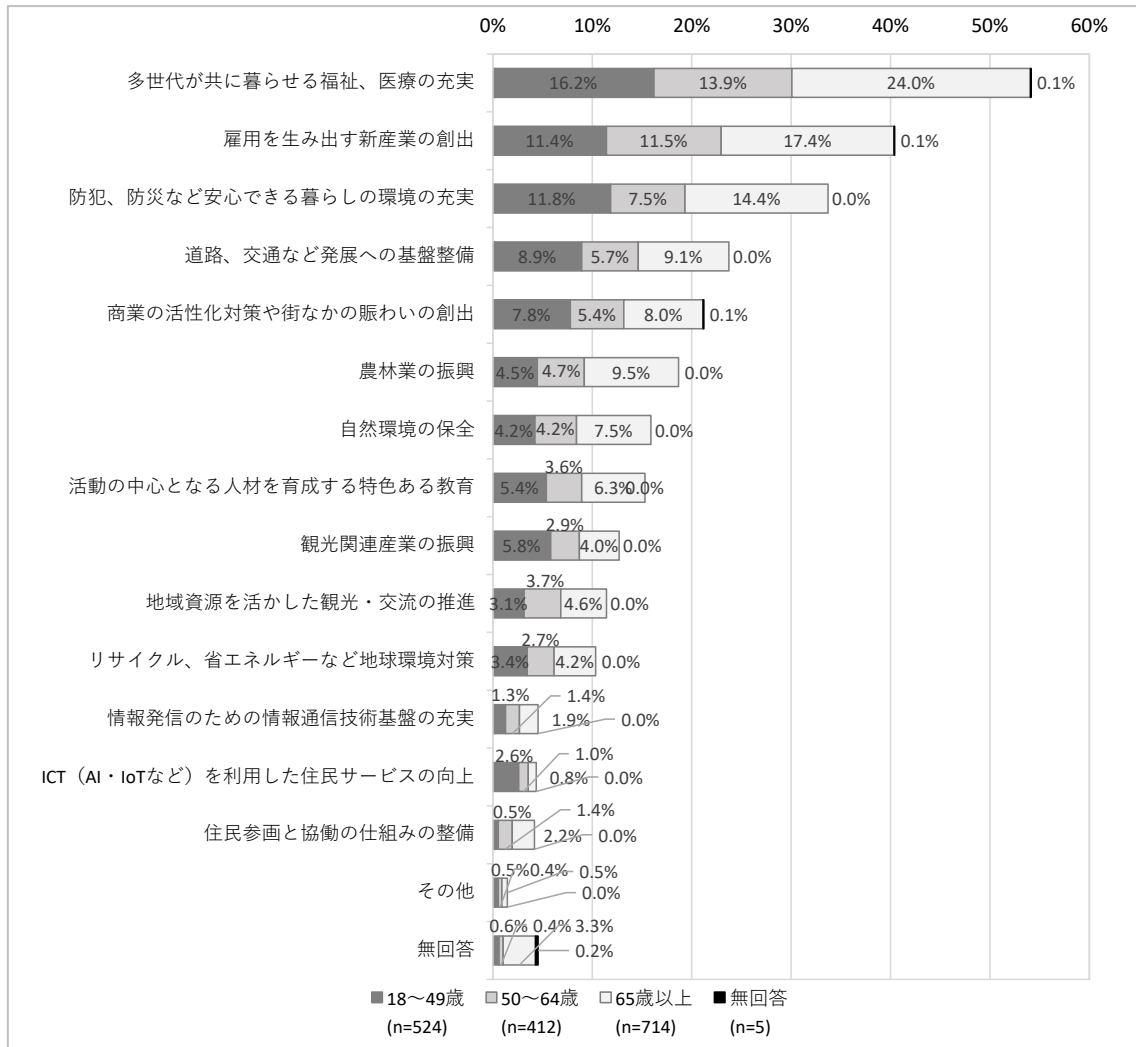
〔前回調査結果との比較〕

前回調査（平成27年度）結果と比較すると、概ね同様の傾向となっている。「防犯、防災など安心できるくらしの環境の充実」と「リサイクル、省エネルギーなど地球環境対策」については増加傾向にある。



〔年代別調査結果〕

年代別に「市の活性化のために期待される政策」をみると、『18～49歳』、『50～64歳』では、概ね全体と同様の傾向となっている。『65歳以上』では、「多世代が共に暮らせる福祉、医療の充実」への関心が他世代と比較して大きくなっていった。



## 【性別】

(単位：%)

	農林業の振興	観光関連産業の振興	雇用を生み出す新産業の創出	活動の中心となる人材を育成する特色ある教育	福祉、医療の充実	多世代が共に暮らせる安心できる暮らしの環境の充実	防犯、防災など	発展への基盤整備	道路、交通など	観光・交流の推進	地域資源を活かした地球環境対策	リサイクル、省エネルギーなど	自然環境の保全	情報通信技術基盤の充実	情報発信のための街なかの賑わいの創出	商業の活性化対策や	住民参画と協働の仕組みの整備	ICT(AI・IoTなど)を利用した住民サービスの向上	その他	無回答
全体 (n=1,655)	18.7	12.7	40.4	15.3	54.1	33.7	23.7	11.4	10.3	15.9	4.5	21.2	4.2	4.4	1.5	4.5				
男性 (n=717)	22.9	14.6	43.2	14.8	48.5	30.0	27.6	12.0	10.0	15.9	4.6	20.8	5.4	5.7	1.8	3.2				
女性 (n=909)	15.4	11.3	38.7	16.0	59.0	37.1	20.7	11.1	10.7	15.6	4.5	21.9	3.3	3.4	1.2	4.7				
その他 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
無回答 (n=28)	17.9	3.6	25.0	7.1	39.3	21.4	25.0	7.1	7.1	21.4	3.6	10.7	0.0	0.0	0.0	32.1				

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【年齢別】

(単位：%)

	農林業の振興	観光関連産業の振興	雇用を生み出す新産業の創出	活動の中心となる人材を育成する特色ある教育	福祉、医療の充実	多世代が共に暮らせる安心できる暮らしの環境の充実	防犯、防災など	発展への基盤整備	道路、交通など	観光・交流の推進	地域資源を活かした地球環境対策	リサイクル、省エネルギーなど	自然環境の保全	情報通信技術基盤の充実	情報発信のための街なかの賑わいの創出	商業の活性化対策や	住民参画と協働の仕組みの整備	ICT(AI・IoTなど)を利用した住民サービスの向上	その他	無回答
全体 (n=1,655)	18.7	12.7	40.4	15.3	54.1	33.7	23.7	11.4	10.3	15.9	4.5	21.2	4.2	4.4	1.5	4.5				
18~19歳 (n=23)	8.7	21.7	21.7	17.4	34.8	43.5	47.8	17.4	13.0	8.7	4.3	21.7	0.0	4.3	0.0	0.0				
20~24歳 (n=47)	14.9	21.3	36.2	6.4	42.6	31.9	38.3	10.6	12.8	12.8	6.4	23.4	0.0	8.5	4.3	0.0				
25~29歳 (n=50)	14.0	20.0	46.0	14.0	52.0	32.0	28.0	2.0	10.0	12.0	6.0	28.0	0.0	4.0	0.0	2.0				
30~34歳 (n=70)	14.3	12.9	41.4	15.7	50.0	40.0	18.6	11.4	4.3	18.6	7.1	31.4	1.4	8.6	0.0	5.7				
35~39歳 (n=98)	19.4	29.6	34.7	15.3	50.0	29.6	24.5	12.2	16.3	19.4	1.0	21.4	2.0	7.1	1.0	2.0				
40~44歳 (n=120)	15.8	15.8	37.5	25.8	49.2	46.7	22.5	10.0	12.5	8.3	1.7	23.3	2.5	10.0	0.8	0.8				
45~49歳 (n=116)	8.6	12.1	31.0	15.5	61.2	36.2	35.3	8.6	7.8	12.1	5.2	24.1	2.6	9.5	4.3	1.7				
50~54歳 (n=116)	10.3	12.1	45.7	12.1	49.1	31.0	24.1	15.5	10.3	13.8	6.9	26.7	6.9	4.3	1.7	1.7				
55~59歳 (n=136)	22.1	11.0	47.8	15.4	52.9	32.4	21.3	14.0	9.6	16.2	7.4	20.6	5.1	3.7	0.7	2.2				
60~64歳 (n=160)	22.5	11.9	45.6	15.0	63.1	27.5	23.1	15.0	12.5	19.4	3.1	18.8	5.0	3.8	1.9	1.3				
65~69歳 (n=216)	20.8	10.2	46.3	15.3	56.0	38.4	23.6	9.7	7.4	19.9	5.1	19.9	2.3	2.3	0.5	3.2				
70~74歳 (n=219)	25.1	11.0	42.0	11.4	57.1	30.1	19.6	12.8	12.8	19.6	5.5	18.7	5.9	2.3	1.4	5.0				
75~79歳 (n=111)	18.9	4.5	30.6	16.2	50.5	28.8	21.6	11.7	9.9	16.2	2.7	16.2	6.3	1.8	2.7	15.3				
80歳以上 (n=168)	21.4	8.9	36.9	17.3	56.5	33.9	19.6	8.3	8.3	11.9	3.0	17.9	7.1	0.6	1.2	11.3				
無回答 (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0				

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

## 【居住地区別】

(単位：%)

	農林業の振興	観光関連産業の振興	雇用を生み出す新産業の創出	活動の中心となる人材を育成する特色ある教育	多世代が共に暮らせる福祉、医療の充実	安心できる暮らしの環境の充実	防犯、防災など	発展への基盤整備	道路、交通など	観光・交流の推進	地域資源を活かした	地球環境対策	リサイクル、省エネルギーなど	自然環境の保全	情報発信のための情報通信技術基盤の充実	街なかの賑わいの創出	商業の活性化対策や	住民参画と協働の仕組みの整備	ICT(AI・IoTなど)を利用した住民サービスの向上	その他	無回答
全体 (n=1,655)	18.7	12.7	40.4	15.3	54.1	33.7	23.7	11.4	10.3	15.9	4.5	21.2	4.2	4.4	1.5	4.5					
大田原地区 (n=740)	11.5	15.8	39.5	15.4	54.9	34.6	22.4	10.3	10.8	14.6	5.1	26.9	4.5	5.4	1.5	3.8					
金田地区 (n=229)	25.8	6.1	37.1	17.9	57.2	32.8	27.1	8.3	10.0	19.7	6.1	18.3	3.9	1.7	2.6	3.9					
親園地区 (n=92)	28.3	7.6	41.3	17.4	57.6	40.2	21.7	7.6	13.0	15.2	2.2	13.0	3.3	4.3	2.2	3.3					
野崎地区 (n=148)	14.2	11.5	37.8	12.8	58.1	39.9	28.4	11.5	12.2	20.9	4.1	20.9	3.4	1.4	0.7	2.7					
佐久山地区 (n=60)	28.3	6.7	40.0	10.0	58.3	28.3	28.3	16.7	13.3	20.0	0.0	18.3	5.0	5.0	1.7	5.0					
湯津上地区 (n=105)	32.4	10.5	44.8	13.3	46.7	38.1	19.0	15.2	8.6	16.2	3.8	13.3	6.7	3.8	1.0	4.8					
黒羽地区 (n=131)	27.5	17.6	38.2	16.8	47.3	26.0	19.1	18.3	11.5	11.5	5.3	13.7	4.6	6.9	0.8	6.9					
川西地区 (n=64)	20.3	12.5	50.0	6.3	46.9	32.8	28.1	14.1	4.7	14.1	0.0	15.6	3.1	4.7	1.6	9.4					
両郷地区 (n=42)	21.4	7.1	64.3	28.6	47.6	23.8	19.0	14.3	4.8	9.5	7.1	16.7	0.0	2.4	0.0	7.1					
須賀川地区 (n=35)	25.7	17.1	40.0	11.4	57.1	25.7	34.3	14.3	0.0	17.1	0.0	17.1	2.9	2.9	0.0	5.7					
無回答 (n=9)	0.0	0.0	44.4	11.1	44.4	0.0	33.3	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3					

注) 表中の構成比は、各行(横方向)の総数に対する比率を示す。本設問は複数選択回答のため、横方向に合計した比率は100%にならない。

### Ⅲ. 資料

新たなまちづくり計画の策定に向けた

# 大田原市 市民意識調査

皆さまの声を計画に反映します！

## 《アンケート調査ご協力をお願い》

日頃から、市民の皆様におかれましては、市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大田原市では、令和8(2026)年度を目標年度とした「おおたわら 国造りプラン」のまちの将来像として掲げる「知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら」の実現に向け、さまざまな施策・事業に取り組んでいます。

このたび、「おおたわら 国造りプラン」の実効性を確保するため、将来のまちづくりの方向性についてのお考えや市政についてのご意見・ご要望を市民の皆様にお伺いし、令和4(2022)年度から5年間の市政運営の羅針盤となる「おおたわら 国造りプラン 基本計画【後期】」の基礎資料とするために、「新たなまちづくり計画の策定に向けた大田原市 市民意識調査」を実施することとしました。

この調査票は、令和2年10月1日現在の住民基本台帳から市内にお住いの18歳以上の方3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、本調査は無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。また、ご回答は全て統計的に処理し、目的以外には使用することはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

令和2年11月

大田原市長 **律久井 富雄**



## ご回答にあたって

- 封筒のあて名となっているご本人がお答えください。
- このアンケートは無記名で、かつ、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしません。あなた自身のご意見をありのままご記入ください。
- このアンケートは、郵送・インターネットどちらからでも回答することができます。

### 【郵送で回答いただく場合】

- この調査票に直接ご記入いただき、終わりましたら同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れて、12月16日（水）までに郵便ポストに投函願います。
- 切手を貼っていただく必要はありません。

### 【インターネットで回答いただく場合】（この調査票への記入・返送は不要です。）

- 次の手順で回答フォームを開いてご回答願います。
  - ①大田原市ホームページ  
(<https://www.city.ohatawara.tochigi.jp/top.html>) を開いてください。
  - ②「トピックス」内の『「大田原市 市民意識調査票」が届いたみなさまへ』を開いてください。
  - ③ページ内にあるリンク  
(<https://rsch.jp/ee5919315dbde6fb/login.php>) をクリックしてください。
  - ④次のパスワード『<sup>オー・エス・ニ・ゼロ・ニ・ゼロ</sup>os2020』(半角英数) を入力し、回答フォームにログインして12月16日（水）までにご回答願います。

○スマートフォンからアンケートに回答する場合は、以下のQRコードにアクセスして、回答ができます。



◎この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

### 【お問い合わせ先】

#### 〔設問内容について〕

大田原市 総合政策部 政策推進課 政策企画係  
TEL : 0287-23-8701 FAX : 0287-23-8748

#### 〔回答方法について〕

株式会社総合環境計画 技術部 担当：永井、板谷  
〒135-0046 東京都江東区牡丹一丁目14番1号 KDX 門前仲町ビル5階  
TEL : 03-5639-1951 FAX : 03-5639-1540  
URL : <http://www.sg-kankyo.co.jp/>

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19歳  | 2. 20～24歳  | 3. 25～29歳  |
| 4. 30～34歳  | 5. 35～39歳  | 6. 40～44歳  |
| 7. 45～49歳  | 8. 50～54歳  | 9. 55～59歳  |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75～79歳 | 14. 80歳以上  |            |

問3 あなたのお住まいの地区をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. 大田原地区  | 2. 金田地区  | 3. 親園地区  |
| 4. 野崎地区   | 5. 佐久山地区 | 6. 湯津上地区 |
| 7. 黒羽地区   | 8. 川西地区  | 9. 両郷地区  |
| 10. 須賀川地区 |          |          |

問4 あなたは大田原市に住んでから何年になりますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |             |          |            |
|-------------|----------|------------|
| 1. 生まれたときから | 2. 5年未満  | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～20年未満 | 5. 20年以上 |            |

問5 あなたの職業はどれですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

(2つ以上の職業に該当する方は主たる職業を選んでください。)

- |        |              |            |
|--------|--------------|------------|
| 1. 農林業 | 2. 自営業       | 3. 会社員     |
| 4. 公務員 | 5. アルバイト・パート | 6. 主婦・主夫   |
| 7. 学生  | 8. 無職        | 9. その他 ( ) |

問6 あなたの主な勤務先、通学先はどちらですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

(2. 栃木県内、3. 県外と回答した方は市町村名を記載してください。)

- |               |             |           |
|---------------|-------------|-----------|
| 1. 大田原市内      | 2. 栃木県内 ( ) | 3. 県外 ( ) |
| 4. 通勤・通学していない |             |           |

問7 あなたの家族構成についておたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |           |                  |                |
|-----------|------------------|----------------|
| 1. 単身     | 2. 夫婦のみ世帯        | 3. 二世帯同居 (親と子) |
| 4. ひとり親家庭 | 5. 三世帯同居 (親と子と孫) | 6. その他 ( )     |



問8 あなたを含め、現在同居している家族についておたずねします。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- |              |          |            |
|--------------|----------|------------|
| 1. 就学前       | 2. 小学生   | 3. 中学生     |
| 4. 高校生・大学生   | 5. 65歳以上 | 6. 介護が必要な人 |
| 7. 1～6に該当しない |          |            |

問9 あなたを含めた世帯の総収入（令和元年の1年間）についておたずねします。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |                |                |                  |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. 収入はなかった     | 2. 100万円未満     | 3. 100～300万円未満   |
| 4. 300～500万円未満 | 5. 500～700万円未満 | 6. 700～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上   |                |                  |

問10 5年前と比べて、あなたの暮らし向きはどう変わったと感じますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. ゆとりが出てきた  | 2. どちらかといえばゆとりが出てきた  |
| 3. 変わらない     | 4. どちらかといえばゆとりがなくなった |
| 5. ゆとりがなくなった |                      |

問11 前問（問10）で回答された理由はどれがあてはまりますか。

あてはまる番号に2つ丸をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. あなたご自身または配偶者の収入が増えた（または収入が減った）から     |
| 2. 共働きを始めた（またはあなたご自身または配偶者が離職、退職した）から   |
| 3. 不動産の売却などの収入（または不動産の購入などの支出）があったから    |
| 4. 節約して支出を減らした（または支出を増やした）から            |
| 5. 物価が下がった（または物価が上がった）から                |
| 6. 子育てが終わった（または子どもが生まれた）から              |
| 7. 扶養家族が減った（または扶養家族が増えた）から              |
| 8. 住宅などのローンの支払いが終わった（またはローンの支払いが始まった）から |
| 9. その他（ ）                               |

問12 今後5年間、あなたの暮らし向きで特に不安に思うことはありますか。

あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. あなたご自身または配偶者の収入    | 2. あなたご自身または配偶者の雇用            |
| 3. 不動産の下落             | 4. 物価の上昇                      |
| 5. 消費税率の引き上げ          | 6. 医療費の増加                     |
| 7. 教育費の増加             | 8. 介護費の増加                     |
| 9. 年金の受取              | 10. 預貯金                       |
| 11. 新型コロナウイルス等への感染症対策 | 12. 新しい生活様式 <sup>※</sup> への対応 |
| 13. その他（ ）            |                               |

※新しい生活様式…新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための生活指針のこと。「マスクを着用する」「距離をあげる」といった一人ひとりの対策、「咳エチケット」等の日常生活での対策、「買い物」「公共交通機関」等の日常生活の各場面での対策、「テレワーク」や「時差出勤」等の働き方の新しいスタイルへの対応があります。

問13 あなたは、大田原市の住み心地についてどのように感じていますか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい     | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい     |                  |

問13-1 問13で「4. どちらかといえば住みにくい」、「5. 住みにくい」と回答した方のみ  
大田原市に住みにくい理由は何ですか。あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 交通が不便だから      | 2. 買い物が不便だから        |
| 3. 生活・住宅環境が悪いから  | 4. 自然災害などが不安だから     |
| 5. 医療や福祉面が不安だから  | 6. 進学など教育上の問題があるから  |
| 7. 娯楽や余暇の場が少ないから | 8. 新しい物や情報が不足しているから |
| 9. 人が少なくさみしいから   | 10. 近所づきあいがわずらわしいから |
| 11. 自然環境が厳しいから   | 12. その他 ( )         |

問14 あなたは、今後、大田原市にずっと住み続けたいと思いますか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば転出したい  |
| 5. 早急に転出したい  |                   |

問15 あなたは、大田原市に「わがまち」といった愛着をおもちですか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 強くもっている   | 2. ある程度もっている |
| 3. あまりもっていない | 4. 全くもっていない  |
| 5. わからない     |              |

問16 あなたは、市の行政にどの程度関心をおもちですか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 関心がある    | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない   |

問17 あなたは、市の行政に関する情報を主に何から知ることが多いですか。  
あてはまる番号に2つ丸をつけてください。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 市広報、市議会だより          | 2. 新聞、テレビ、ラジオ        |
| 3. 市のホームページ            | 4. 市の窓口、担当課          |
| 5. 掲示板、回覧板             | 6. 知人からの口コミ          |
| 7. SNS(フェイスブック、ツイッター)等 | 8. メール配信サービス(よいちメール) |
| 9. 大田原市公式のLINEアカウント    | 10. その他 ( )          |
| 11. 行政に関する情報は得ていない     |                      |

問18 あなたは、市のどのような情報が主に必要ですか。  
 あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

1. 都市計画・景観づくり	2. 防災・防犯・交通安全	3. 保健・医療・健康づくり
4. スポーツ活動	5. 環境衛生	6. 子育て支援
7. 高齢者・障がい者福祉	8. 自然環境保全	9. 公園・緑化
10. 学校教育・生涯学習	11. 芸術・文化	12. 産業振興・観光振興
13. 行財政運営	14. その他（                    ）	

問19 以下に示す分野ごとの施策について、どのように感じますか。  
 次の項目（満足度・重要度）ごとに、あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策1 豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり										
1 生活環境の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 自然環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 廃棄物対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 土地利用対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 都市基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 道路・河川の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 上水道の健全な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策 2 歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり										
1 1 生涯学習社会づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 2 生きる力を育む学校教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 3 文化・芸術の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 4 スポーツ・レクリエーションの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 5 国際化への対応と国内交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策 3 次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり										
1 6 農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 7 林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 8 商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 9 工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 0 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策 4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり										
2 1 健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 2 結婚支援と子育て支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 3 高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 4 障害者にやさしいまちづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 5 地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 6 社会保障の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策 5 市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をと もにつくるまちづくり										
27 防犯体制と対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 防災体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 消費者保護対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 市民参加行政の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32 広報広聴活動の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33 自治会・コミュニティの活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34 人権尊重意識の普及と高揚	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策 6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政 運営のまちづくり										
36 行政の効率的・効果的運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37 財政の健全運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38 広域連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39 地域情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問20 あなたは、大田原市の人口が減少していくことについて、どう思いますか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

1. 人口減少は望ましくなく、増加するように努力すべき
2. 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持するように努力すべき
3. 人口減少は望ましくないが、減少幅が少しでも小さくなるように努力すべき
4. 人口減少は望ましくないが、仕方がない
5. 人口減少は望ましい
6. どちらともいえない

問21 あなたは、少子化に歯止めをかけるためには、どのような対策が必要だと思えますか。  
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

1. 子育て世帯に対する経済的支援を充実する
2. 安心して子供を育てられる生活環境を整備する
3. 保育所などの子育て支援サービスを充実する
4. 妊娠、出産に対する支援を充実する
5. 子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる
6. 小児医療、母子保健サービスを充実する
7. 男性も積極的に子育てに参加するよう男女共同参画を推進する
8. 子育ての大切さを伝える教育や啓発を行う
9. 安定した家庭を築くための就労を支援する
10. 出産、子育ての相談体制を充実する
11. 結婚に対する支援を充実する
12. その他 ( )

問22 あなたは、ゆたかな老後を送るためにはどのようなことが必要だと思えますか。  
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

1. 健康に不安がないこと
2. 病気になったとき世話をしてくれる人がいること
3. 日ごろの身の回りの世話をしてくれる人がいること
4. 家族がいること
5. 親族が身近にいること
6. 友人がいること
7. 老人ホームなどの福祉施設が充実していること
8. 楽しめる趣味があること
9. 財産や預金が足りていること
10. 働く場があること
11. 年金や退職金がもらえること
12. その他 ( )

問23 市政における様々な場面で、市民参加が重要となります。あなたは、市活動への参加経験がありますか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 参加したことがある。今後も参加したい   | ⇒問23-1へ進む       |
| 2. 参加したことがある。今後は参加したくない | ⇒問23-1・問23-2へ進む |
| 3. 参加したことがない。今後は参加したい   | ⇒問23-1へ進む       |
| 4. 参加したことがない。今後も参加したくない | ⇒問23-2へ進む       |

問23-1 問23で「1. 参加したことがある。今後も参加したい」、「2. 参加したことがある。今後は参加したくない」、「3. 参加したことがない。今後は参加したい」と回答した方のみ

参加したことがある市民活動は何ですか。また、今後参加したい活動は何ですか。  
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

- |               |               |                |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 都市計画・景観づくり | 2. 防災・防犯・交通安全 | 3. 保健・医療・健康づくり |
| 4. スポーツ活動     | 5. 環境衛生       | 6. 子育て支援       |
| 7. 高齢者・障がい者福祉 | 8. 自然環境保全     | 9. 公園・緑化       |
| 10. 学校教育・生涯学習 | 11. 芸術・文化     | 12. 産業振興・観光振興  |
| 13. 行財政運営     | 14. その他 ( )   |                |

問23-2 問23で「2. 参加したことがある。今後は参加したくない」、「4. 参加したことがない。今後も参加したくない」と回答した方のみ

市民活動に参加したくない理由は何ですか。  
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 関心がないから  | 2. 時間がないから       |
| 3. わずらわしいから | 4. 参加による負担が大きいため |
| 5. 健康上の理由   | 6. その他 ( )       |

問24 あなたは、今後、大田原市がどのようなまちになればいいと思いますか。  
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 少子化対策の充実したまち                |
| 2. 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち         |
| 3. 医療・福祉サービスの充実したまち            |
| 4. 教育・文化活動の盛んなまち               |
| 5. スポーツ・レクリエーションの盛んなまち         |
| 6. 豊かな自然環境に恵まれたまち              |
| 7. 田園風景の広がる農業の盛んなまち            |
| 8. 買い物などが楽しめる商業の盛んなまち          |
| 9. 多くの工場が立地する工業の盛んなまち          |
| 10. 恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち |
| 11. 会社や事務所などの事業所が集積したまち        |
| 12. さまざまな情報が活用できる情報サービスの充実したまち |
| 13. その他 ( )                    |

